

# 日野市ひきこもり等実態調査結果

令和3年10月

日野市健康福祉部

セーフティネットコールセンター

# 1 目次

---

I 調査概要 .....	3
1 調査目的 .....	3
2 調査対象・方法・回収 .....	4
3 調査期間 .....	5
4 調査内容・定義 .....	5
5 資料編に関する留意事項.....	6
5-1 図表における「n」の考え方.....	6
5-2 不明・未回答の処理.....	6
5-3 数値の見方 .....	6
5-4 その他の回答の処理.....	6
5-5 回答の重複 .....	6
5-6 自由記述.....	6
II 調査結果.....	7
1 概要 .....	7
2 傾向と考察 .....	9
2-1 集計から見える傾向.....	9
2-2 自由意見から見える傾向と求められていること .....	37

3 まとめ.....	38
Ⅲ資料編.....	44
1 集計結果.....	44
1-1 当事者・家族等調査.....	44
1-2 民生・児童委員調査.....	62
1-3 庁内職員調査.....	77
1-4 関係機関調査.....	92
1-5 相談機関調査.....	108
2 調査票.....	127
2-1 当事者・家族調査票.....	127
2-2 民生・児童委員調査票.....	131
2-3 庁内職員調査票.....	134
2-4 関係機関調査票.....	137
2-5 相談機関調査票.....	140

# I 調査概要

---

## 1 調査目的

厚生労働省の定義では、ひきこもりは単一の疾患や障害の概念ではなく、「さまざまな要因によって社会的な参加の場面が狭まり、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態」とされている。内閣府は平成31年3月に「生活状況に関する調査報告書」にて、ひきこもりの40～64歳が全国で推計61万3千人いるとの調査結果を公表した。この結果は平成28年9月の「若者の生活に関する調査報告書」で公表された、15～39歳の推計54万1千人を上回り、ひきこもりの高齢化、長期化が明らかとなった。

この数字を日野市の人口に割り当ててみると、約1,800人の「ひきこもり」の方が在住していると推測される。

「ひきこもり」は本人や家族にとって大きな負担になるだけでなく、その増加は労働力の減少や社会的負担の増大も懸念され、社会全体で対応すべき重大な課題となっている。

そのため、本市においてもひきこもり状態を防ぐための施策やひきこもりの長期化を防ぐための適切な支援を検討するため、基礎データを得ることを目的としてひきこもり調査を実施した。

今回の調査では、インターネットなどの調査ツールを取り入れることで、より多くの当事者や家族の声を直接受け止める機会とし、ひきこもりの実態を把握することで、当事者に寄り添った支援とは何であるかを問い、一人ひとりのニーズや状況に応じて柔軟に対応した支援の提供ができる仕組みづくりについて検討していく資料とする。

生きづらさを抱えている方々が相談しやすい体制を整備し、安心して社会とのつながりを回復するための適切な支援のあり方を目指して取り組む。

---

## 2 調査対象・方法・回収

以下の5つのカテゴリーごとに、それぞれ調査を行った。以下詳細。

### ① 当事者・家族等

東京共同電子申請・届出サービスを利用し、インターネット調査を実施。インターネットを使うことができない方に対応するため、紙媒体での調査も行った。

➡38名から回収（当事者:11名、その他家族等:27名）

### ② 民生・児童委員

各地区会で126名に調査票を配布。

➡108名から回収

### ③ 庁内職員

生活福祉課、障害福祉課、健康課、子ども家庭支援センター、高齢福祉課、発達・教育支援課、在宅療養支援課、子育て課へ庁内掲示板にて調査を依頼。エクセルの調査票で回答し、提出するよう求めた。

➡調査票53枚回収（※1枚の調査票につき複数回答者がいる場合があるため、枚数でのカウントとなる）

### ④ 関係機関

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等（14施設）へ共通掲示板やメールにて調査を依頼。エクセルの調査票で回答し、提出するよう求めた。

➡調査票26枚回収（※1枚の調査票につき複数回答者がいる場合があるため、枚数でのカウントとなる）

### ⑤ 相談機関

みらいと多摩平、日野市社会福祉協議会、南多摩保健所へ調査票を郵送し、調査を依頼。返信用封筒にて回答した調査票を返送するよう求めた。

➡調査票を3機関から回収

### 3 調査期間

以下の5つのカテゴリーごとに、それぞれ調査を行った。以下詳細。

① 当事者事者・家族等

令和2年12月28日（月）～令和3年1月31日（日）

② 民生・児童委員

12月の各地域の地区会で配布、令和3年1月31日（日）まで

③ 庁内職員

令和3年2月9日（火）～令和3年3月1日（月）

④ 関係機関

令和3年3月5日（金）～令和3年3月18日（月）

⑤ 相談機関

令和3年3月29日（月）～令和3年4月15日（木）

### 4 調査内容・定義

厚生労働省はひきこもりについて、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6か月以上続けて自宅に引きこもっている状態」と定義しているが、本調査においては、より多くの回答や多様な意見を得るために、上記の定義にとらわれず、各回答者において「ひきこもりと思われる人」を「ひきこもり状態にある人」として回答を募った。

---

## 5 資料編に関する留意事項

### 5-1 図表における「n」の考え方

- 各設問における集計母数（=サンプル数）を表しており、実際の回答者数ではない。
- パーセント（%）表記によって割合を表している。

### 5-2 不明・未回答の処理

- 単独回答の設問に関しては、nの中には不明・未回答の数値が含まれており、（=サンプル数）「未回答」として表記されている。
- 複数回答の設問に関しては、nの中に不明者または未回答者の数値は含まれていない。

### 5-3 数値の見方

- 割合は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- グラフ及び集計表における選択肢の文章は、一部省略している場合がある。

### 5-4 その他の回答の処理

- 「その他」回答におけるテキストの自由回答の内容については、各設問に直接関連するものを掲出している。また、テキスト文末の（）内の数値は、該当テキストと同様の内容の件数を表している。
- 「特になし」「なし」「やっていない」等は削除している。

### 5-5 回答の重複

- 本調査は複数の関係機関や所属する課の異なる市職員に対して実施しているため、同じ当事者について回答している可能性がある。

### 5-6 自由記述

- 自由記述の中から、代表的なものを抜粋し掲載している。文章は原文を基本としているが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは一部省略している。

## II 調査結果

### 1 概要

調査により把握できた当事者は、当事者・家族調査 38 名（当事者 11 名、その他家族等 27 名）、民生・児童委員調査 40 名、庁内調査 196 名、関係機関調査 129 名、相談機関調査 158 名、延べ 561 名（重複の可能性あり）であった。

#### 各調査項目で最も多かった回答

- 当事者の年齢：40～49 歳
- 当事者の性別：男性
- 同居人の有無：同居者あり
- ひきこもり等の状態の期間：1～5 年
- 問題点をあげるとしたら：親族の高齢化
- ひきこもり等の状態になったきっかけ：疾病（精神疾患等）

項目		当事者 家族	民生・児 童 委員	庁内 職員	関係 機関	相談 機関	合計	
当事者の 年齢	6歳未満	0	0	0	0	0	0	0.0%
	6～12歳	1	1	16	0	4	22	3.9%
	13～15歳	1	0	37	0	9	47	8.4%
	16～19歳	3	0	17	1	8※	29	5.2%
	20～29歳	5	3	31	4	44※	87	15.5%
	30～39歳	9	9	23	9	24	74	13.2%
	40～49歳	10	12	23	28	43	116	20.7%
	50～59歳	4	4	28	28	18	82	14.6%
	60～64歳	2	3	6	6	4	21	3.7%
	65～69歳	1	1	1	8	1	12	2.1%
	70～79歳	2	2	7	8	1	20	3.6%
	80歳以上	0	1	6	21	0	28	5.0%
	わからない	0	4	1	16	2	23	4.1%
合計	38	40	196	129	158	561	100.0%	
性別	男性	23	25	111	73	112	344	61.3%
	女性	14	14	84	47	46	205	36.5%
	その他	1	0	0	0	0	1	0.2%
	わからない	0	1	1	9	0	11	2.0%
	合計	38	40	196	129	158	561	100.0%
同居人	同居者あり	31	34	132	128	100	425	75.8%
	一人暮らし	7	1	57	20	22	107	19.1%
	わからない	0	5	7	10	7	29	5.2%
	合計	38	40	196	158	129	561	100.0%

項目		当事者 家族	民生・児童 委員	庁内 職員	関係 機関	相談 機関	合計	
期間	1年未満	8	0	21	7	8	44	7.8%
	1～5年	9	2	97	23	47	178	31.7%
	6～9年	8	4	23	7	23	65	11.6%
	10～20年	8	7	22	16	32	85	15.2%
	21年以上	2	10	10	30	34	86	15.3%
	わからない	3	17	23	46	14	103	18.4%
	合計	38	40	196	129	158	561	100.0%
きっかけ※ <sub>2</sub>	不登校(小学校)	1	4	33	4	14	56	
	不登校(中学校)	5	2	43	8	18	76	
	不登校(高等学校)	4	0	12	5	19	40	
	いじめ	2	1	9	9	5	26	
	学業不振	3	0	7	2	5	17	
	友人関係	3	2	18	3	4	30	
	家族関係	7	3	32	6	57	105	
	高校・大学受験	3	1	3	0	8	15	
	就職活動の挫折	7	4	15	5	17	48	
	職場関係	3	3	12	9	16	43	
	失業・退職	9	0	15	12	31	67	
	疾病(けが等)	2	1	10	13	9	35	
	疾病(精神疾患等)	18	2	76	33	50	179	
	個性	4	1	11	5	3	24	
	事故や犯罪被害	0	0	1	1	1	3	
	わからない	5	22	18	47	10	102	
その他	6	4	23	14	5	52		
問題点※ <sub>2</sub>	親族の高齢化		21	45	63	56	185	
	経済的困窮		1	45	31	27	104	
	就労先がない		7	49	18	32	106	
	家庭内暴力等が心配		4	11	7	8	30	
	徘徊・騒音等不審な行動		1	8	8	5	22	
	その他		10	106	33	19	168	

※設問項目が他調査と異なるため、おおよその数字となる。

「16～19歳」→「16～18歳(高校生相当)」を回答した数

「20～29歳」→「19～22歳(大学生相当)」「23～24歳」「25～29歳」を回答した数

※2 複数回答有り

## 2 傾向と考察

### 2-1 集計から見える傾向

それぞれの調査の結果別に各設問のクロス集計・分析を行った。「相談機関（みらいと・南多摩保健所・日野市社会福祉協議会）調査」については、調査方法が他調査と異なりクロス集計ができないため、「当事者・家族調査」「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の4つの調査において結果を掲載している。

#### (1) 「年齢」×「性別」

男性は「40～49歳」が最も多く、次いで「50～59歳」「30～39歳」となった。女性においても「40～49歳」が最も多く、次いで「20～29歳」、「30～39歳」「50～59歳」という結果となった。

男女ともに30代～50代が多く合計184人と全体の45.7%となり、働き盛りの世代の当事者が多いことが浮き彫りとなった。また、「70～79歳」「80歳以上」が47人（11.7%）と1割以上を占め、「ひきこもり」の高齢化も窺える結果となった。

#### ● まとめ（「当事者・家族調査」「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

年齢 性別	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
男性	0 -	11 2.7%	25 6.2%	9 2.2%	21 5.2%	31 7.7%	47 11.7%	44 10.9%	7 1.7%	9 2.2%	9 2.2%	11 2.7%	9 2.2%	233 57.8%
女性	0 -	6 1.5%	13 3.2%	12 3.0%	22 5.5%	18 4.5%	26 6.5%	18 4.5%	10 2.5%	2 0.5%	10 2.5%	17 4.2%	4 1.0%	158 39.2%
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.2%
わからない	0 -	1 0.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 0.5%	0 -	0 -	0 -	0 -	8 2.0%	11 2.7%
計	0 0.0%	18 4.5%	38 9.4%	21 5.2%	43 10.7%	50 12.4%	73 18.1%	64 15.9%	17 4.2%	11 2.7%	19 4.7%	28 6.9%	21 5.2%	403 100.0%

以下、各調査の集計結果。

● 当事者・家族調査

年齢 性別	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
男性	0 -	0 -	1 2.6%	1 2.6%	2 5.3%	7 18.4%	5 13.2%	4 10.5%	1 2.6%	1 2.6%	1 2.6%	0 -	0 -	23 60.5%
女性	0 -	1 2.6%	0 -	2 5.3%	3 7.9%	1 2.6%	5 13.2%	0 -	1 2.6%	0 -	1 2.6%	0 -	0 -	14 36.8%
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.6%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.6%
わからない	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
計	0 0.0%	1 2.6%	1 2.6%	3 7.9%	5 13.2%	9 23.7%	10 26.3%	4 10.5%	2 5.3%	1 2.6%	2 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	38 100.0%

男性は「30～39歳」が18.4%と最も多く、次いで「40～49歳」（13.2%）、「50～59歳」（10.5%）と、中高年層が多い結果となった。女性は「40～49歳」が13.2%と最も多く、次に「20～29歳」（7.9%）、「16～19歳」（5.3%）の若年層が多い結果となった。

● 民生・児童委員調査

年齢 性別	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
男性	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.5%	5 12.5%	9 22.5%	3 7.5%	1 2.5%	1 2.5%	2 5.0%	0 -	3 7.5%	25 62.5%
女性	0 -	0 -	0 -	0 -	2 5.0%	4 10.0%	3 7.5%	1 2.5%	2 5.0%	0 -	0 -	1 2.5%	1 2.5%	14 35.0%
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
わからない	0 -	1 2.5%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.5%
計	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.5%	9 22.5%	12 30.0%	4 10.0%	3 7.5%	1 2.5%	2 5.0%	1 2.5%	4 10.0%	40 100.0%

男性は、「40～49歳」（22.5%）が多く、次に「30～39歳」（12.5%）が多い。女性は「30～39歳」（10.0%）次に「40～49歳」（7.5%）が多い結果となった。民生・児童委員調査からは30～40代のひきこもりの状況を他の年齢層に比べて多く把握している。

## ● 庁内職員調査

年齢 性別	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
男性	0 -	11 5.6%	24 12.2%	7 3.6%	16 8.2%	13 6.6%	13 6.6%	16 8.2%	1 0.5%	1 0.5%	4 2.0%	5 2.6%	0 -	111 56.6%
女性	0 -	5 2.6%	13 6.6%	10 5.1%	15 7.7%	10 5.1%	10 5.1%	12 6.1%	5 2.6%	0 -	3 1.5%	1 0.5%	0 -	84 42.9%
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
わからない	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.5%	1 0.5%
計	0 0.0%	16 8.2%	37 18.9%	17 8.7%	31 15.8%	23 11.7%	23 11.7%	28 14.3%	6 3.1%	1 0.5%	7 3.6%	6 3.1%	1 0.5%	196 100.0%

男性は「13～15歳」が12.2%と最も多く、次いで「20～29歳」「50～59歳」（それぞれ8.2%）となった。また、女性は「20～29歳」が7.7%と最も多く、次いで「13～15歳」が6.6%と、他調査と比較すると若年層が多い結果となった。

このことから、若年層は他の年代に比べて行政の相談につながりやすいということが推測される。そのため、中高年層の相談にもつながりやすくする体制を整備する必要がある。

## ● 関係機関調査

年齢 性別	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
男性	0 -	0 -	0 -	1 0.8%	2 1.6%	6 4.7%	20 15.5%	21 16.3%	4 3.1%	6 4.7%	2 1.6%	6 4.7%	6 4.7%	74 57.4%
女性	0 -	0 -	0 -	0 -	2 1.6%	3 2.3%	8 6.2%	5 3.9%	2 1.6%	2 1.6%	2 4.7%	6 11.6%	15 2.3%	46 35.7%
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
わからない	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 1.6%	0 -	0 -	0 -	0 -	7 5.4%	9 7.0%
計	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	4 3.1%	9 7.0%	28 21.7%	28 21.7%	6 4.7%	8 6.2%	8 6.2%	21 16.3%	16 12.4%	129 100.0%

女性は「80歳以上」が最も多く、また、男女ともに「40～49歳」「50～59歳」が多い結果となった。ほとんどの世代において、男性の方が多い。

## (2) 「年齢」×「同居人の有無」

年齢層に関わらず全体的からみて「同居者あり」は72.7%で多い。その中でも特に「40～49歳」13.9%、「50～59歳」12.7%の「同居者あり」が多い。同居者が多いことから、同居している家族に配慮する必要がある。当事者の年齢による家族構成などの情報をさらに収集した上で、日常生活を共に過ごす家族への支援内容の構成を構築する体制の整備が求められる。

● まとめ（「当事者・家族調査」「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

同居の有無	年齢														計
	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない		
同居者あり	0	18	35	20	33	34	56	51	7	6	9	14	10	293	
	-	4.5%	8.7%	5.0%	8.2%	8.4%	13.9%	12.7%	1.7%	1.5%	2.2%	3.5%	2.5%	72.8%	
一人暮らし	0	0	0	0	10	13	16	12	9	5	9	14	3	91	
	-	-	-	-	2.5%	3.2%	4.0%	3.0%	2.2%	1.2%	2.2%	3.5%	0.7%	22.5%	
わからない	0	0	3	1	0	3	1	1	1	0	1	0	8	19	
	-	-	0.7%	0.2%	-	0.7%	0.2%	0.2%	0.2%	-	0.2%	-	2.0%	4.7%	
計	0	18	38	21	43	50	73	64	17	11	19	28	21	403	
	0.0%	4.5%	9.4%	5.2%	10.7%	12.4%	18.1%	15.9%	4.2%	2.7%	4.7%	6.9%	5.2%	100.0%	

以下、各調査の集計結果

● 当事者・家族

同居の有無	年齢													計
	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	
同居者あり	0	1	1	3	5	7	10	2	1	0	1	0	0	31
	-	2.6%	2.6%	7.9%	13.2%	18.4%	26.3%	5.3%	2.6%	0.0%	2.6%	-	-	81.6%
一人暮らし	0	0	0	0	0	2	0	2	1	1	1	0	0	7
	-	-	-	-	-	5.3%	-	5.3%	2.6%	2.6%	2.6%	-	-	18.4%
わからない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
計	0	1	1	3	5	9	10	4	2	1	2	0	0	38
	0.0%	2.6%	2.6%	7.9%	13.2%	23.7%	26.3%	10.5%	5.3%	2.6%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%

「同居者あり」は、全体の81.6%であり、「40～49歳」26.3%、「30～39歳」18.4%が多い。

● 民生・児童委員

同居の有無	年齢													計
	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	
同居者あり	0	1	0	0	3	7	10	4	1	0	1	1	2	30
	-	2.5%	-	-	7.5%	17.5%	25.0%	10.0%	2.5%	-	2.5%	2.5%	5.0%	75.0%
一人暮らし	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	5
	-	-	-	-	-	-	2.5%	-	2.5%	2.5%	-	-	5.0%	12.5%
わからない	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	5
	-	-	-	-	-	5.0%	2.5%	-	2.5%	-	2.5%	-	-	12.5%
計	0	1	0	0	3	9	12	4	3	1	2	1	4	40
	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	7.5%	22.5%	30.0%	10.0%	7.5%	2.5%	5.0%	2.5%	10.0%	100.0%

「同居者あり」は、「30～39歳」17.5%、「40～49歳」25.0%が多い。

## ● 庁内職員

同居の有無	年齢	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	計
	同居者あり	0	16	34	16	21	11	10	18	1	0	3	2	0	132
	-	8.2%	17.3%	8.2%	10.7%	5.6%	5.1%	9.2%	0.5%	-	1.5%	1.0%	-	67.3%	
一人暮らし	0	0	0	0	10	11	13	9	5	1	4	4	0	57	
	-	-	-	-	5.1%	5.6%	6.6%	4.6%	2.6%	0.5%	2.0%	2.0%	-	29.1%	
わからない	0	0	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	7	
	-	-	1.5%	0.5%	-	0.5%	-	0.5%	-	-	-	-	0.5%	3.6%	
計	0	16	37	17	31	23	23	28	6	1	7	6	1	196	
	0.0%	8.2%	17.3%	8.2%	10.7%	5.6%	5.1%	9.2%	0.5%	0.0%	1.5%	1.0%	0.0%	67.3%	

「同居者あり」は、「13～15歳」17.3%が多く、若年層の割合が多い。20歳未満はほぼ同居している。

## ● 関係機関

同居の有無	年齢	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	計
	同居者あり	0	0	0	1	4	9	26	27	4	6	4	11	8	100
	-	-	-	0.8%	3.1%	7.0%	20.2%	20.9%	3.1%	4.7%	3.1%	8.5%	6.2%	77.5%	
一人暮らし	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	4	10	1	22	
	-	-	-	-	-	-	1.6%	0.8%	1.6%	1.6%	3.1%	7.8%	0.8%	17.1%	
わからない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4%	5.4%	
計	0	0	0	1	4	9	28	28	6	8	8	21	16	129	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	3.1%	7.0%	21.7%	21.7%	4.7%	6.2%	6.2%	16.3%	12.4%	100.0%	

「同居者あり」は、「40～49歳」20.2%、「50～59歳」20.9%が多い。「80歳以上」の同居者あり8.5%であり、一人暮らしも7.8%が多い。

## (3) 「年齢」×「ひきこもり等の状態の期間」

6年未満のひきこもり等の状態の期間は全体の41.4%で、そのうち30代未満の年齢での割合は58%となる。6年以上21年未満の期間は、全体の23.6%であり、30歳以上が77.3%を占める。20代までのひきこもり期間は約6割が5年以内であるが、6年以上のひきこもり等の状態の期間のある方は、30代以上が9割である。

若年層のひきこもりは、5年以内での早期解決ができれば、長期化を防ぐことができる可能性が高いと考えられる。

期間が「1～5年」では「13～15歳」6.5%が多く、「21年以上」では「50～59歳」5.0%が多い。ひきこもり等の状態の期間の短い若年層への対策と中長期にわたる中高年層への対策など、期間や年齢に合わせた内容の対応が必要である。

● まとめ（「当事者・家族調査」「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

年齢 期間	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
1年未満	0	5	8	6	2	2	1	0	0	2	0	10	0	36
	-	1.2%	2.0%	1.5%	0.5%	0.5%	0.2%	-	-	0.5%	-	2.5%	-	8.9%
1～5年	0	11	26	12	24	11	11	9	2	2	8	12	3	131
	-	2.7%	6.5%	3.0%	6.0%	2.7%	2.7%	2.2%	0.5%	0.5%	2.0%	3.0%	0.7%	32.5%
6～9年	0	1	2	3	6	6	10	6	3	0	4	0	1	42
	-	0.2%	0.5%	0.7%	1.5%	1.5%	2.5%	1.5%	0.7%	-	1.0%	-	0.2%	10.4%
10～20年	0	0	1	0	4	13	15	12	0	3	1	2	2	53
	-	-	0.2%	-	1.0%	3.2%	3.7%	3.0%	-	0.7%	0.2%	0.5%	0.5%	13.2%
21年以上	0	0	0	0	0	3	14	20	6	4	1	2	2	52
	-	-	-	-	-	0.7%	3.5%	5.0%	1.5%	1.0%	0.2%	0.5%	0.5%	12.9%
わからない	0	1	1	0	7	15	22	17	6	0	5	2	13	89
	-	0.2%	0.2%	-	1.7%	3.7%	5.5%	4.2%	1.5%	-	1.2%	0.5%	3.2%	22.1%
計	0	18	38	21	43	50	73	64	17	11	19	28	21	403
	0.0%	4.5%	9.4%	5.2%	10.7%	12.4%	18.1%	15.9%	4.2%	2.7%	4.7%	6.9%	5.2%	100.0%

以下、各調査の集計結果。

● 当事者・家族

期間	年齢													計
	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	
1年未満	0	1	1	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	8
	-	2.6%	2.6%	7.9%	2.6%	2.6%	-	-	-	2.6%	-	-	-	21.1%
1～5年	0	0	0	0	2	2	2	1	1	0	1	0	0	9
	-	-	-	-	5.3%	5.3%	5.3%	2.6%	2.6%	-	2.6%	-	-	23.7%
6～9年	0	0	0	0	2	1	2	2	0	0	1	0	0	8
	-	-	-	-	5.3%	2.6%	5.3%	5.3%	-	-	2.6%	-	-	21.1%
10～20年	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	0	0	0	8
	-	-	-	-	-	7.9%	10.5%	2.6%	-	-	-	-	-	21.1%
21年以上	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	-	-	-	-	-	2.6%	-	-	2.6%	-	-	-	-	5.3%
わからない	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	-	-	-	-	-	2.6%	5.3%	-	-	-	-	-	-	7.9%
計	0	1	1	3	5	9	10	4	2	1	2	0	0	38
	0.0%	2.6%	2.6%	7.9%	13.2%	23.7%	26.3%	10.5%	5.3%	2.6%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%

中高年層である「40～49歳」の期間は「10～20年」（10.5%）が多い。中高年層の期間の長期化が窺える。

● 民生・児童委員

期間	年齢													計
	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	
1年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
1～5年	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	-	2.5%	-	-	-	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	5.0%
6～9年	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	4
	-	-	-	-	2.5%	-	5.0%	-	-	-	-	-	2.5%	10.0%
10～20年	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0	1	0	7
	-	-	-	-	-	7.5%	5.0%	2.5%	-	-	-	2.5%	-	17.5%
21年以上	0	0	0	0	0	0	4	3	2	1	0	0	0	10
	-	-	-	-	-	-	10.0%	7.5%	5.0%	2.5%	-	-	-	25.0%
わからない	0	0	0	0	2	5	4	0	1	0	2	0	3	17
	-	-	-	-	5.0%	12.5%	10.0%	-	2.5%	-	5.0%	-	7.5%	42.5%
計	0	1	0	0	3	9	12	4	3	1	2	1	4	40
	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	7.5%	22.5%	30.0%	10.0%	7.5%	2.5%	5.0%	2.5%	10.0%	100.0%

「30～39歳」の「わからない」12.5%が一番多く、次に「40～49歳」の「21年以上」10.0%が多い。地域では、個人の状況がわかりにくい環境となっている。

## ● 庁内職員

年齢 期間	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
1年未満	0 -	4 2.0%	7 3.6%	3 1.5%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	0 -	0 -	0 -	0 -	4 2.0%	0 -	21 10.7%
1～5年	0 -	10 5.1%	26 13.3%	11 5.6%	21 10.7%	7 3.6%	9 4.6%	6 3.1%	0 -	1 0.5%	3 1.5%	2 1.0%	1 0.5%	97 49.5%
6～9年	0 -	1 0.5%	2 1.0%	3 1.5%	2 1.0%	4 2.0%	4 2.0%	4 2.0%	2 1.0%	0 -	1 0.5%	0 -	0 -	23 11.7%
10～20年	0 -	0 -	1 0.5%	0 -	4 2.0%	7 3.6%	4 2.0%	6 3.1%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	22 11.2%
21年以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.5%	1 0.5%	7 3.6%	1 0.5%	0 -	0 -	0 -	0 -	10 5.1%
わからない	0 -	1 0.5%	1 0.5%	0 -	3 1.5%	3 1.5%	4 2.0%	5 2.6%	3 1.5%	0 -	3 1.5%	0 -	0 -	23 11.7%
計	0 0.0%	16 8.2%	37 18.9%	17 8.7%	31 15.8%	23 11.7%	23 11.7%	28 14.3%	6 3.1%	1 0.5%	7 3.6%	6 3.1%	1 0.5%	196 100.0%

ひきこもり期間が「1～5年」の「13～15歳」13.3%が多く、行政では、若年層のひきこもりの状態を他機関に比べ把握している。

## ● 関係機関

年齢 期間	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
1年未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.8%	0 -	6 4.7%	0 -	7 5.4%
1～5年	0 -	0 -	0 -	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	0 -	2 1.6%	1 0.8%	1 0.8%	4 3.1%	10 7.8%	2 1.6%	23 17.8%
6～9年	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.8%	1 0.8%	2 1.6%	0 -	1 0.8%	0 -	2 1.6%	0 -	0 -	7 5.4%
10～20年	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	5 3.9%	4 3.1%	0 -	3 2.3%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.6%	16 12.4%
21年以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.8%	9 7.0%	10 7.8%	2 1.6%	3 2.3%	1 0.8%	2 1.6%	2 1.6%	30 23.3%
わからない	0 -	0 -	0 -	0 -	2 1.6%	6 4.7%	12 9.3%	12 9.3%	2 1.6%	0 -	0 -	2 1.6%	10 7.8%	46 35.7%
計	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	4 3.1%	9 7.0%	28 21.7%	28 21.7%	6 4.7%	8 6.2%	8 6.2%	21 16.3%	16 12.4%	129 100.0%

ひきこもり期間「21年以上」の「50～59歳」7.8%とひきこもり期間「1～5年」の「80歳以上」7.8%が多い。中高年のひきこもり期間の長期化、高齢者のひきこもりの始まり時期にも支援が必要となっている。

---

#### (4) 「年齢」×「ひきこもり等の状態になったきっかけ」

※複数回答のため、票の計数は調査対象人数とは一致しない。

年代別にみると「6～19歳」のきっかけは「不登校」「学業不振」「家庭関係」「友人関係」「疾病（精神疾患等）」などであり、学校生活・家庭生活での環境からの要因が考えられる。

「20～39歳」のきっかけは「不登校」「学業不振」「友人関係」「高校・大学受験」「就職活動の挫折」「失業・退職」「疾病（精神疾患等）」などであり、人生の転機と重なる要因が多い。

「30～49歳」のきっかけで多いのは「疾病（精神疾患等）」であるが、「疾病（精神疾患等）」を発症する前に、「20～39歳」からの様々な要因が積み上がり、「疾病（精神疾患等）」へ追い込まれていく構図も予想される。

「80歳以上」のきっかけとしては、「疾病（精神疾患等）」「疾病（けが等）」「家族関係」であり、若年層の発現状態とは異なっている。

全体からみると、きっかけは「疾病（精神疾患等）」が20.0%を占めているが、各年代で「わからない」や「その他」のところについても21.5%あるため、個々に抱えている問題の要因についても今後調査していく必要がある。

※その後、きっかけが「その他」であると回答した庁内職員について確認を行なったところ、「知的による障害のこだわりにより、社会とのつながりが薄い」「自閉症で他者とのかかわりを拒む」「他者がいるとパニックを起こすため、人とつながりにくい」「個性かもしれないが、人との付き合い方が苦手」「通院はしていないので明確ではないが、精神障害または発達障害の可能性があるとされる人」等、何らかの障害を抱え、自らを守るために社会との交わりを絶っていると思われる方であった。

このことから、医療機関との連携により、身体的、精神的障害などから社会参加が難しい方への施策も重要な課題である。

● まとめ（「当事者・家族調査」「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

年齢 きっかけ	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
不登校(小学校)	0	18	9	5	2	0	4	2	0	1	0	0	1	42
	-	2.8%	1.4%	0.8%	0.3%	-	0.6%	0.3%	-	0.2%	-	-	0.2%	6.5%
不登校(中学校)	0	0	32	9	6	4	4	2	0	1	0	0	0	58
	-	-	5.0%	1.4%	0.9%	0.6%	0.6%	0.3%	-	0.2%	-	-	-	9.0%
不登校(高等学校)	0	0	1	5	6	3	1	5	0	0	0	0	0	21
	-	-	0.2%	0.8%	0.9%	0.5%	0.2%	0.8%	-	-	-	-	-	3.3%
いじめ	0	0	1	1	3	3	5	5	1	1	1	0	0	21
	-	-	0.2%	0.2%	0.5%	0.5%	0.8%	0.8%	0.2%	0.2%	0.2%	-	-	3.3%
学業不振	0	1	3	4	0	2	0	1	0	1	0	0	0	12
	-	0.2%	0.5%	0.6%	-	0.3%	-	0.2%	-	0.2%	-	-	-	1.9%
友人関係	0	3	9	4	2	2	1	4	1	0	0	0	0	26
	-	0.5%	1.4%	0.6%	0.3%	0.3%	0.2%	0.6%	0.2%	-	-	-	-	4.0%
家族関係	0	5	5	2	11	8	5	6	2	0	2	2	0	48
	-	0.8%	0.8%	0.3%	1.7%	1.2%	0.8%	0.9%	0.3%	-	0.3%	0.3%	-	7.4%
高校・大学受験	0	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	7
	-	-	-	-	0.2%	0.8%	0.2%	-	-	-	-	-	-	1.1%
就職活動の挫折	0	0	0	2	8	11	6	3	0	1	0	0	0	31
	-	-	-	0.3%	1.2%	1.7%	0.9%	0.5%	-	0.2%	-	-	-	4.8%
職場関係	0	0	0	0	5	5	5	9	1	1	1	0	0	27
	-	-	-	-	0.8%	0.8%	0.8%	1.4%	0.2%	0.2%	0.2%	-	-	4.2%
失業・退職	0	0	0	0	3	7	7	13	1	1	3	0	1	36
	-	-	-	-	0.5%	1.1%	1.1%	2.0%	0.2%	0.2%	0.5%	-	0.2%	5.6%
疾病(けが等)	0	1	0	0	0	0	4	3	3	1	7	6	1	26
	-	0.2%	-	-	-	-	0.6%	0.5%	0.5%	0.2%	1.1%	0.9%	0.2%	4.0%
疾病(精神疾患等)	0	1	4	7	17	23	31	24	7	4	2	8	1	129
	-	0.2%	0.6%	1.1%	2.6%	3.6%	4.8%	3.7%	1.1%	0.6%	0.3%	1.2%	0.2%	20.0%
個性	0	2	2	2	3	2	4	2	1	0	1	2	0	21
	-	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.6%	0.3%	0.2%	-	0.2%	0.3%	-	3.3%
事故や犯罪被害	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	-	-	-	-	0.2%	-	0.2%	-	-	-	-	-	-	0.3%
わからない	0	1	0	0	9	10	21	21	6	2	5	1	16	92
	-	0.2%	-	-	1.4%	1.5%	3.3%	3.3%	0.9%	0.3%	0.8%	0.2%	2.5%	14.2%
その他	0	0	5	2	6	4	8	7	1	0	1	11	2	47
	-	-	0.8%	0.3%	0.9%	0.6%	1.2%	1.1%	0.2%	-	0.2%	1.7%	0.3%	7.3%
計	0	32	71	43	83	89	108	107	24	14	23	30	22	646
	0.0%	5.0%	11.0%	6.7%	12.8%	13.8%	16.7%	16.6%	3.7%	2.2%	3.6%	4.6%	3.4%	100.0%

以下、各調査の集計結果。

● 当事者・家族

年齢 きっかけ	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わか らない	計
不登校(小学校)	0 -	1 1.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%
不登校(中学校)	0 -	0 -	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	1 1.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	5 6.1%
不登校(高等学校)	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	4 4.9%
いじめ	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	0 -	1 1.2%	0 -	0 -	2 2.4%
学業不振	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	0 -	2 2.4%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 3.7%
友人関係	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	1 1.2%	0 -	1 1.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 3.7%
家族関係	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	2 2.4%	0 -	2 2.4%	1 1.2%	0 -	0 -	1 1.2%	0 -	0 -	7 8.5%
高校・大学受験	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 3.7%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 3.7%
就職活動の挫折	0 -	0 -	0 -	0 -	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	1 1.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	7 8.5%
職場関係	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	0 -	2 2.4%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 3.7%
失業・退職	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	3 3.7%	1 1.2%	2 2.4%	0 -	1 1.2%	1 1.2%	0 -	0 -	9 11.0%
疾病(けが等)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	1 1.2%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 2.4%
疾病(精神疾患等)	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	1 1.2%	3 3.7%	9 11.0%	2 2.4%	2 2.4%	0 -	0 -	0 -	0 -	18 22.0%
個性	0 -	0 -	0 -	0 -	2 2.4%	0 -	2 2.4%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	4 4.9%
事故や犯罪被害	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
わからない	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	5 6.1%
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 2.4%	1 1.2%	3 3.7%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	6 7.3%
計	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	5 6.1%	13 15.9%	21 25.6%	19 23.2%	15 18.3%	3 3.7%	1 1.2%	3 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	82 100.0%

「40～49歳」の「疾病（精神疾患等）」11.0%が多く、全体から見てもきっかけは、「疾病（精神疾患等）」が多い。

## ● 民生・児童委員

年齢 きっかけ	6歳	6～	13～	16～	20～	30～	40～	50～	60～	65～	70～	80歳	わから ない	計
	未満	12歳	15歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	69歳	79歳	以上		
不登校(小学校)	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	4
	-	2.0%	-	-	-	-	4.0%	-	-	2.0%	-	-	-	8.0%
不登校(中学校)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	-	-	-	-	2.0%	2.0%	-	-	-	-	-	-	-	4.0%
不登校(高等学校)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0%	-	-	-	2.0%
学業不振	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
友人関係	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	-	2.0%	-	-	-	-	-	-	2.0%	-	-	-	-	4.0%
家族関係	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3
	-	-	-	-	-	2.0%	-	-	2.0%	-	-	2.0%	-	6.0%
高校・大学受験	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	-	-	-	-	-	-	2.0%	-	-	-	-	-	-	2.0%
就職活動の挫折	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
	-	-	-	-	-	4.0%	2.0%	2.0%	-	-	-	-	-	8.0%
職場関係	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	-	-	-	-	-	4.0%	-	-	2.0%	-	-	-	-	6.0%
失業・退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
疾病(けが等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0%	2.0%
疾病(精神疾患等)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	-	-	-	-	-	4.0%	-	-	-	-	-	-	-	4.0%
個性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0%	-	-	-	-	2.0%
事故や犯罪被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
わからない	0	0	0	0	1	4	7	3	2	0	2	0	3	22
	-	-	-	-	2.0%	8.0%	14.0%	6.0%	4.0%	-	4.0%	-	6.0%	44.0%
その他	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	4
	-	-	-	-	2.0%	2.0%	2.0%	-	2.0%	-	-	-	-	8.0%
計	0	2	0	0	3	13	12	4	7	2	2	1	4	50
	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	6.0%	26.0%	24.0%	8.0%	14.0%	4.0%	4.0%	2.0%	8.0%	100.0%

「わからない」が多い。地域からは、存在は把握できていても当事者の詳細な情報を収集するための信頼関係を構築するに至るまでには、時間と家族への配慮を要することが考えられる。

## ● 庁内職員

年齢 きっかけ	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
不登校(小学校)	0	16	9	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1	33
	-	4.7%	2.7%	1.5%	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	9.8%
不登校(中学校)	0	0	31	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	43
	-	-	9.2%	2.4%	0.9%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	12.7%
不登校(高等学校)	0	0	1	4	5	0	0	2	0	0	0	0	0	12
	-	-	0.3%	1.2%	1.5%	-	-	0.6%	-	-	-	-	-	3.6%
いじめ	0	0	1	1	2	3	2	0	0	0	0	0	0	9
	-	-	0.3%	0.3%	0.6%	0.9%	0.6%	-	-	-	-	-	-	2.7%
学業不振	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	-	0.3%	0.9%	0.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1%
友人関係	0	2	9	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	18
	-	0.6%	2.7%	1.2%	0.3%	0.3%	-	0.3%	-	-	-	-	-	5.3%
家族関係	0	5	5	1	9	6	1	4	1	0	0	0	0	32
	-	1.5%	1.5%	0.3%	2.7%	1.8%	0.3%	1.2%	0.3%	-	-	-	-	9.5%
高校・大学受験	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	-	-	-	-	0.3%	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	0.9%
就職活動の挫折	0	0	0	1	6	5	2	1	0	0	0	0	0	15
	-	-	-	0.3%	1.8%	1.5%	0.6%	0.3%	-	-	-	-	-	4.4%
職場関係	0	0	0	0	4	2	3	3	0	0	0	0	0	12
	-	-	-	-	1.2%	0.6%	0.9%	0.9%	-	-	-	-	-	3.6%
失業・退職	0	0	0	0	2	3	3	7	0	0	0	0	0	15
	-	-	-	-	0.6%	0.9%	0.9%	2.1%	-	-	-	-	-	4.4%
疾病(けが等)	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	4	2	0	10
	-	0.3%	-	-	-	-	0.6%	-	0.3%	-	1.2%	0.6%	-	3.0%
疾病(精神疾患等)	0	1	4	6	16	16	13	15	3	1	0	1	0	76
	-	0.3%	1.2%	1.8%	4.7%	4.7%	3.8%	4.4%	0.9%	0.3%	-	0.3%	-	22.5%
個性	0	2	2	2	1	2	0	1	0	0	0	1	0	11
	-	0.6%	0.6%	0.6%	0.3%	0.6%	-	0.3%	-	-	-	0.3%	-	3.3%
事故や犯罪被害	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	-	-	-	-	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
わからない	0	1	0	0	4	1	2	5	2	0	3	0	0	18
	-	0.3%	-	-	1.2%	0.3%	0.6%	1.5%	0.6%	-	0.9%	-	-	5.3%
その他	0	0	5	2	5	1	5	2	0	0	0	3	0	23
	-	-	1.5%	0.6%	1.5%	0.3%	1.5%	0.6%	-	-	-	0.9%	-	6.8%
計	0	29	70	37	62	43	33	41	7	1	7	7	1	338
	0.0%	8.6%	20.7%	10.9%	18.3%	12.7%	9.8%	12.1%	2.1%	0.3%	2.1%	2.1%	0.3%	100.0%

「13～15歳」の「不登校(中学校)」が9.2%で多い。「不登校」の小学校・中学校・高校を合わせると26.1%。「疾病(精神疾患)」が22.5%で多く、「不登校(中・小)」「家族関係」「友人関係」と続く。

## ● 関係機関

年齢 きっかけ	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
不登校(小学校)	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	4
	-	-	-	-	-	-	1.1%	1.1%	-	-	-	-	-	2.3%
不登校(中学校)	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	0	8
	-	-	-	-	-	0.6%	2.3%	1.1%	-	0.6%	-	-	-	4.5%
不登校(高等学校)	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	5
	-	-	-	-	-	0.6%	0.6%	1.7%	-	-	-	-	-	2.8%
いじめ	0	0	0	0	1	0	3	5	0	0	0	0	0	9
	-	-	-	-	0.6%	-	1.7%	2.8%	-	-	-	-	-	5.1%
学業不振	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	-	-	-	-	-	-	-	0.6%	-	0.6%	-	-	-	1.1%
友人関係	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
	-	-	-	-	-	-	0.6%	1.1%	-	-	-	-	-	1.7%
家族関係	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	6
	-	-	-	-	-	0.6%	1.1%	0.6%	-	-	0.6%	0.6%	-	3.4%
高校・大学受験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
就職活動の挫折	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	5
	-	-	-	0.6%	-	1.1%	0.6%	-	-	0.6%	-	-	-	2.8%
職場関係	0	0	0	0	1	0	2	4	0	1	1	0	0	9
	-	-	-	-	0.6%	-	1.1%	2.3%	-	0.6%	0.6%	-	-	5.1%
失業・退職	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	2	0	1	12
	-	-	-	-	-	0.6%	1.7%	2.3%	0.6%	-	1.1%	-	0.6%	6.8%
疾病(けが等)	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	3	4	0	13
	-	-	-	-	-	-	0.6%	1.1%	1.1%	0.6%	1.7%	2.3%	-	7.4%
疾病(精神疾患等)	0	0	0	0	0	2	9	7	2	3	2	7	1	33
	-	-	-	-	-	1.1%	5.1%	4.0%	1.1%	1.7%	1.1%	4.0%	0.6%	18.8%
個性	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	5
	-	-	-	-	-	-	1.1%	0.6%	-	-	0.6%	0.6%	-	2.8%
事故や犯罪被害	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	-	-	-	-	-	-	0.6%	-	-	-	-	-	-	0.6%
わからない	0	0	0	0	3	4	11	11	2	2	0	1	13	47
	-	-	-	-	1.7%	2.3%	6.3%	6.3%	1.1%	1.1%	-	0.6%	7.4%	26.7%
その他	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	8	2	14
	-	-	-	-	-	-	0.6%	1.1%	-	-	0.6%	4.5%	1.1%	8.0%
計	0	0	0	1	5	12	44	47	7	10	11	22	17	176
	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	2.8%	6.8%	25.0%	26.7%	4.0%	5.7%	6.3%	12.5%	9.7%	100.0%

きっかけの「わからない」を除くと「疾病(精神疾患)」で、「40～59歳」が多い。「疾病(精神疾患)」「疾病(けが等)」「失業・退職」がきっかけとなっているのが多い。

## (5) 「年齢」×「問題点を挙げるとしたら」

※複数回答のため、票の計数は調査対象人数とは一致しない。

問題点として、「その他」を除いて、「親族の高齢化」「経済的困窮」「就労先がない」が全体の約60%となっている。日野市も例に漏れず「8050問題」で専門家の方が警鐘を鳴らしている問題点と合致している。当事者は、親の年金などで生活している場合などもあり、親亡き後に無縁状態で孤立してしまうことや経済的に厳しい状況に追い込まれてしまう可能性なども考えられる。相談にたどり着けていない当事者や家族にひきこもり相談窓口へアプローチを行ない、相談のしやすい窓口に早期に繋げ、就労のみならず、より幅広い社会参加までの多様な支援を行う体制づくりの整備が必要である。

## ● まとめ（「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

問題点	年齢	6歳未満	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	わからない	計
親族の高齢化		0	0	0	1	8	19	40	36	4	6	5	3	7	129
		-	-	-	0.2%	1.7%	4.1%	8.5%	7.7%	0.9%	1.3%	1.1%	0.6%	1.5%	27.6%
経済的困窮		0	2	3	4	9	10	18	21	5	1	2	1	1	77
		-	0.4%	0.6%	0.9%	1.9%	2.1%	3.8%	4.5%	1.1%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	16.5%
就労先がない		0	0	2	4	19	21	14	11	0	2	0	0	1	74
		-	-	0.4%	0.9%	4.1%	4.5%	3.0%	2.4%	-	0.4%	-	-	0.2%	15.8%
家庭内暴力等が心配		0	3	2	1	2	6	3	3	0	0	1	1	0	22
		-	0.6%	0.4%	0.2%	0.4%	1.3%	0.6%	0.6%	-	-	0.2%	0.2%	-	4.7%
徘徊・騒音等不審な行動		0	1	0	0	3	1	4	5	0	2	1	0	0	17
		-	0.2%	-	-	0.6%	0.2%	0.9%	1.1%	-	0.4%	0.2%	-	-	3.6%
その他		0	10	22	9	15	13	12	20	9	2	11	22	4	149
		-	2.1%	4.7%	1.9%	3.2%	2.8%	2.6%	4.3%	1.9%	0.4%	2.4%	4.7%	0.9%	31.8%
計		0	16	29	19	56	70	91	96	18	13	20	27	13	468
		0.0%	3.4%	6.2%	4.1%	12.0%	15.0%	19.4%	20.5%	3.8%	2.8%	4.3%	5.8%	2.8%	100.0%

以下、各調査の集計結果。

● 民生・児童委員

問題点	年齢	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
親族の高齢化		0	0	0	0	0	4	10	1	2	1	1	0	2	21
		-	-	-	-	-	9.1%	22.7%	2.3%	4.5%	2.3%	2.3%	-	4.5%	47.7%
経済的困窮		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	2.3%	-	-	-	-	2.3%
就労先がない		0	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	7
		-	-	-	-	-	11.4%	2.3%	-	-	2.3%	-	-	-	15.9%
家庭内暴力等が心配		0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	4
		-	2.3%	-	-	-	2.3%	2.3%	-	-	-	2.3%	-	-	9.1%
徘徊・騒音等不審な行動		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		-	2.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3%
その他		0	0	0	0	2	3	0	0	1	0	1	1	2	10
		-	-	-	-	4.5%	6.8%	-	-	2.3%	-	2.3%	2.3%	4.5%	22.7%
計		0	2	0	0	2	13	12	1	4	2	3	1	4	44
		0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	29.5%	27.3%	2.3%	9.1%	4.5%	6.8%	2.3%	9.1%	100.0%

「30～49歳」の「親族の高齢化」と「30～39歳」の「就労先がない」が民生・児童委員の把握している問題点として捉えられている。

● 庁内職員

問題点	年齢	6歳 未満	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	わから ない	計
親族の高齢化		0	0	0	1	8	10	9	14	1	1	0	1	0	45
		-	-	-	0.4%	3.0%	3.8%	3.4%	5.3%	0.4%	0.4%	-	0.4%	-	17.0%
経済的困窮		0	2	3	3	9	7	8	10	2	0	1	0	0	45
		-	0.8%	1.1%	1.1%	3.4%	2.7%	3.0%	3.8%	0.8%	-	0.4%	-	-	17.0%
就労先がない		0	0	2	4	17	14	7	5	0	0	0	0	0	49
		-	-	0.8%	1.5%	6.4%	5.3%	2.7%	1.9%	-	-	-	-	-	18.6%
家庭内暴力等が心配		0	2	2	1	1	3	0	2	0	0	0	0	0	11
		-	0.8%	0.8%	0.4%	0.4%	1.1%	-	0.8%	-	-	-	-	-	4.2%
徘徊・騒音等不審な行動		0	0	0	0	3	1	1	3	0	0	0	0	0	8
		-	-	-	-	1.1%	0.4%	0.4%	1.1%	-	-	-	-	-	3.0%
その他		0	10	22	9	13	9	11	16	4	1	5	5	1	106
		-	3.8%	8.3%	3.4%	4.9%	3.4%	4.2%	6.1%	1.5%	0.4%	1.9%	1.9%	0.4%	40.2%
計		0	14	29	18	51	44	36	50	7	2	6	6	1	264
		0.0%	5.3%	11.0%	6.8%	19.3%	16.7%	13.6%	18.9%	2.7%	0.8%	2.3%	2.3%	0.4%	100.0%

「20～59歳」で幅広く、「親族の高齢化」「経済的困窮」「就労先がない」が問題点として捉えられている。

## ● 関係機関

問題点	年齢													計
	6歳 未満	6~ 12歳	13~ 15歳	16~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上	わから ない	
親族の高齢化	0	0	0	0	0	5	21	21	1	4	4	2	5	63
	-	-	-	-	-	3.1%	13.1%	13.1%	0.6%	2.5%	2.5%	1.3%	3.1%	39.4%
経済的困窮	0	0	0	1	0	3	10	11	2	1	1	1	1	31
	-	-	-	0.6%	-	1.9%	6.3%	6.9%	1.3%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	19.4%
就労先がない	0	0	0	0	2	2	6	6	0	1	0	0	1	18
	-	-	-	-	1.3%	1.3%	3.8%	3.8%	-	0.6%	-	-	0.6%	11.3%
家庭内暴力等が心配	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	1	0	7
	-	-	-	-	0.6%	1.3%	1.3%	0.6%	-	-	-	0.6%	-	4.4%
徘徊・騒音等不審な行動	0	0	0	0	0	0	3	2	0	2	1	0	0	8
	-	-	-	-	-	-	1.9%	1.3%	-	1.3%	0.6%	-	-	5.0%
その他	0	0	0	0	0	1	1	4	4	1	5	16	1	33
	-	-	-	-	-	0.6%	0.6%	2.5%	2.5%	0.6%	3.1%	10.0%	0.6%	20.6%
計	0	0	0	1	3	13	43	45	7	9	11	20	8	160
	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.9%	8.1%	26.9%	28.1%	4.4%	5.6%	6.9%	12.5%	5.0%	100.0%

「30～59歳」の中高年世代では、「親族の高齢化」「経済的困窮」「就労先がない」が問題として捉えられている。

## (6) 「期間」×「同居人の有無」

※複数回答のため、票の計数は調査対象人数とは一致しない。

「同居者あり」の方では、「1～5年」が23.0%で多い。次に多いのが「10～20年」(10.7%)「21年以上」(10.7%)。毎年この数字が移行しているわけではないが、今回のこの調査からは同居者がいる方は「1～5年」(23.0%)で「6～9年」(4.9%)と比較すると約4/5は解決に向かっていて、残りの約1/5は「21年以上」に長引く可能性が高い。また、一人暮らしの方も「1～5年」が9.0%、「6～9年」が4.1%で、期間が「1～5年」から「6～9年」になると1/2以上減少。「10～20年」になるとさらに1/2以上減少する。しかし「10～20年」は1.6%で、「21年以上」は3.0%で、1.4%増えているところも注目すべき点である。このことから「同居者あり」及び「一人暮らし」という環境は違っていても、ひきこもり期間が「1～5年」(33.4%)から「6～9年」(9.3%)への移行は約3/4の削減が見られるが、「10～20年」になると大きな減少はない。

## ● まとめ（「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

期間 同居人	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	計
同居者あり	21	84	18	39	39	61	262
	5.8%	23.0%	4.9%	10.7%	10.7%	16.7%	71.8%
一人暮らし	7	33	15	6	11	12	84
	1.9%	9.0%	4.1%	1.6%	3.0%	3.3%	23.0%
わからない	0	5	1	0	0	13	19
	-	1.4%	0.3%	-	-	3.6%	5.2%
計	28	122	34	45	50	86	365
	7.7%	33.4%	9.3%	12.3%	13.7%	23.6%	100.0%

以下、各調査集計結果

● 当事者・家族

同居人	期間						計
	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	
同居者あり	6	8	6	6	2	3	31
	15.8%	21.1%	15.8%	15.8%	5.3%	7.9%	81.6%
一人暮らし	2	1	2	2	0	0	7
	5.3%	2.6%	5.3%	5.3%	-	-	18.4%
わからない	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	0%
計	8	9	8	8	2	3	38
	21.1%	23.7%	21.1%	21.1%	5.3%	7.9%	100.0%

「同居者あり」は、「1～5年」21.1%が多く、全体の81.6%を占めている。家族でも7.9%がひきこもりの期間が「わからない」と回答している。「一人暮らし」の年数は、「1年未満」、「6～9年」、「10～20年」はそれぞれ5.3%となっている。

● 民生・児童委員

同居人	期間						計
	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	
同居者あり	0	2	3	7	8	10	30
	-	5.0%	7.5%	17.5%	20.0%	25.0%	75.0%
一人暮らし	0	0	1	0	2	2	5
	-	-	2.5%	-	5.0%	5.0%	12.5%
わからない	0	0	0	0	0	5	5
	-	-	-	-	-	12.5%	12.5%
計	0	2	4	7	10	17	40
	0.0%	5.0%	10.0%	17.5%	25.0%	42.5%	100.0%

民生・児童委員の調査では、当事者と思われる方に1年未満の方はおらず、1年以上を過ぎて徐々に地域の情報の中から、家族や当事者のひきこもりの状態について把握している。状況を把握するためには、時間がかかるのではないかと推測される。

## ● 庁内職員

同居人	期間						計
	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	
同居者あり	16	67	10	18	7	14	132
	8.2%	34.2%	5.1%	9.2%	3.6%	7.1%	67.3%
一人暮らし	5	25	12	4	3	8	57
	2.6%	12.8%	6.1%	2.0%	1.5%	4.1%	29.1%
わからない	0	5	1	0	0	1	7
	-	2.6%	0.5%	-	-	0.5%	3.6%
計	21	97	23	22	10	23	196
	10.7%	49.5%	11.7%	11.2%	5.1%	11.7%	100.0%

「同居者あり」の「1～5年」が34.2%で多い。全体で約7割であり、「一人暮らし」は3割となる。「同居者」も「一人暮らし」も各期間におり、同居者及び一人暮らしの方に対し、対策の導入におけるアプローチが異なることも予想されるため、相談の受け入れ体制にも配慮が必要である。

## ● 関係機関

同居人	期間						計
	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	
同居者あり	5	15	5	14	24	37	100
	3.9%	11.6%	3.9%	10.9%	18.6%	28.7%	77.5%
一人暮らし	2	8	2	2	6	2	22
	1.6%	6.2%	1.6%	1.6%	4.7%	1.6%	17.1%
わからない	0	0	0	0	0	7	7
	-	-	-	-	-	5.4%	5.4%
計	7	23	7	16	30	46	129
	5.4%	17.8%	5.4%	12.4%	23.3%	35.7%	100.0%

「同居者あり」の「21年以上」が18.6%で、多い。「一人暮らし」も17.1%あるが、「一人暮らし」で21年以上の方を相談関係機関で4.7%把握している。「一人暮らし」で長期ひきこもりの方の生活がどのように成り立っているのか、また、当事者は今後何を望んでいるのかを確認していくことが重要である。

---

### (7) 「期間」×「きっかけ」

※複数回答のため、票の計数は調査対象人数とは一致しない。

「きっかけ」で一番多いのは「疾病（精神疾患等）」であり、全体の20.0%を占めている。期間は「1～5年」が多く、疾病（精神疾患等）を発症してから、「1～5年」の間に医療機関で受診を受けている。次に「わからない」14.2%が続き、「中学校の不登校」9.0%、「家族関係」7.4%、「小学校の不登校」6.5%、「失業・退職」5.6%と続く。「ひきこもり期間」では、「1～5年」34.7%が多い。「きっかけ」は「不登校（小学校）」3.4%、「不登校（中学校）」4.8%となっていた。

このような「きっかけ」の対応として医療機関との連携によるアセスメントや支援者の相談技術の向上による家族も含めた多様なアプローチなども必要である。また不登校の根源となる要因について若年層の当事者が多様な発言のできる環境も大切である。そのためにも居場所のあり方やひきこもりへの周囲の理解による地域づくりなども課題となる。

また、若年層のきっかけとして、「不登校」など学校生活とのかかわりから生じた原因も多いことから、学校機関などや複数の関係機関と連携を取ながら「切れ目のない支援」にあたることも必要である。

● まとめ（「当事者・家族調査」「民生・児童委員調査」「庁内職員調査」「関係機関調査」の合算）

期間 きっかけ	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	計
不登校(小学校)	5 0.8%	22 3.4%	5 0.8%	2 0.3%	7 1.1%	1 0.2%	42 6.5%
不登校(中学校)	11 1.7%	31 4.8%	4 0.6%	5 0.8%	6 0.9%	1 0.2%	58 9.0%
不登校(高等学校)	3 0.5%	4 0.6%	5 0.8%	2 0.3%	5 0.8%	2 0.3%	21 3.3%
いじめ	0 -	5 0.8%	2 0.3%	3 0.5%	8 1.2%	3 0.5%	21 3.3%
学業不振	3 0.5%	5 0.8%	0 -	2 0.3%	2 0.3%	0 -	12 1.9%
友人関係	5 0.8%	9 1.4%	3 0.5%	2 0.3%	4 0.6%	3 0.5%	26 4.0%
家族関係	4 0.6%	23 3.6%	4 0.6%	7 1.1%	6 0.9%	4 0.6%	48 7.4%
高校・大学受験	0 -	1 0.2%	1 0.2%	4 0.6%	1 0.2%	0 -	7 1.1%
就職活動の挫折	0 -	14 2.2%	3 0.5%	8 1.2%	2 0.3%	4 0.6%	31 4.8%
職場関係	0 -	9 1.4%	5 0.8%	4 0.6%	6 0.9%	3 0.5%	27 4.2%
失業・退職	3 0.5%	14 2.2%	6 0.9%	5 0.8%	2 0.3%	6 0.9%	36 5.6%
疾病(けが等)	3 0.5%	12 1.9%	5 0.8%	4 0.6%	0 -	2 0.3%	26 4.0%
疾病(精神疾患等)	9 1.4%	46 7.1%	20 3.1%	17 2.6%	21 3.3%	16 2.5%	129 20.0%
個性	2 0.3%	10 1.5%	4 0.6%	1 0.2%	2 0.3%	2 0.3%	21 3.3%
事故や犯罪被害	0 -	1 0.2%	0 -	0 -	1 0.2%	0 -	2 0.3%
わからない	0 -	5 0.8%	7 1.1%	11 1.7%	11 1.7%	58 9.0%	92 14.2%
その他	9 1.4%	13 2.0%	6 0.9%	10 1.5%	5 0.8%	4 0.6%	47 7.3%
計	57 8.8%	224 34.7%	80 12.4%	87 13.5%	89 13.8%	109 16.9%	646 100.0%

以下、各調査集計結果

## ● 当事者・家族

期間 きっかけ	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	計
不登校(小学校)	1	0	0	0	0	0	1
	1.2%	-	-	-	-	-	1.2%
不登校(中学校)	2	1	1	0	1	0	5
	2.4%	1.2%	1.2%	-	1.2%	-	6.1%
不登校(高等学校)	1	0	2	1	0	0	4
	1.2%	-	2.4%	1.2%	-	-	4.9%
いじめ	0	1	0	0	1	0	2
	-	1.2%	-	-	1.2%	-	2.4%
学業不振	1	0	0	1	1	0	3
	1.2%	-	-	1.2%	1.2%	-	3.7%
友人関係	0	1	1	0	0	1	3
	-	1.2%	1.2%	-	-	1.2%	3.7%
家族関係	1	2	2	1	0	1	7
	1.2%	2.4%	2.4%	1.2%	-	1.2%	8.5%
高校・大学受験	0	0	1	2	0	0	3
	-	-	1.2%	2.4%	-	-	3.7%
就職活動の挫折	0	2	2	1	0	2	7
	-	2.4%	2.4%	1.2%	-	2.4%	8.5%
職場関係	0	0	1	1	0	1	3
	-	-	1.2%	1.2%	-	1.2%	3.7%
失業・退職	3	1	2	2	0	1	9
	3.7%	1.2%	2.4%	2.4%	-	1.2%	11.0%
疾病(けが等)	0	0	0	1	0	1	2
	-	-	-	1.2%	-	1.2%	2.4%
疾病(精神疾患等)	2	3	5	5	1	2	18
	2.4%	3.7%	6.1%	6.1%	1.2%	2.4%	22.0%
個性	0	1	2	0	0	1	4
	-	1.2%	2.4%	-	-	1.2%	4.9%
事故や犯罪被害	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	0.0%
わからない	0	1	2	1	0	1	5
	-	1.2%	2.4%	1.2%	-	1.2%	6.1%
その他	0	2	1	3	0	0	6
	-	2.4%	1.2%	3.7%	-	-	7.3%
計	11	15	22	19	4	11	82
	13.4%	18.3%	26.8%	23.2%	4.9%	13.4%	100.0%

疾病（精神疾患等）が多い。

## ● 民生・児童委員

期間 きっかけ	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	計
	不登校(小学校)	0 -	1 2.0%	0 -	0 -	3 6.0%	0 -
不登校(中学校)	0 -	0 -	1 2.0%	1 2.0%	0 -	0 -	2 4.0%
不登校(高等学校)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
いじめ	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.0%	0 -	1 2.0%
学業不振	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
友人関係	0 -	1 2.0%	0 -	0 -	1 2.0%	0 -	2 4.0%
家族関係	0 -	1 2.0%	0 -	1 2.0%	1 2.0%	0 -	3 6.0%
高校・大学受験	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.0%	0 -	1 2.0%
就職活動の挫折	0 -	0 -	0 -	4 8.0%	0 -	0 -	4 8.0%
職場関係	0 -	1 2.0%	0 -	0 -	1 2.0%	1 2.0%	3 6.0%
失業・退職	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
疾病(けが等)	0 -	0 -	1 2.0%	0 -	0 -	0 -	1 2.0%
疾病(精神疾患等)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 4.0%	2 4.0%
個性	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.0%	0 -	1 2.0%
事故や犯罪被害	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 0.0%
わからない	0 -	0 -	2 4.0%	1 2.0%	4 8.0%	15 30.0%	22 44.0%
その他	0 -	0 -	0 -	1 2.0%	2 4.0%	1 2.0%	4 8.0%
計	0 0.0%	4 8.0%	4 8.0%	8 16.0%	15 30.0%	19 38.0%	50 100.0%

きっかけは、「わからない」が多い。家族や当事者がひきこもりの状況を知られたいくないという現状やなかなか地域との信頼関係が構築できない社会背景による結果である。

## ● 庁内職員

期間 きっかけ	期間						計
	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	
不登校(小学校)	4	21	5	2	0	1	33
	1.2%	6.2%	1.5%	0.6%	-	0.3%	9.8%
不登校(中学校)	9	30	2	2	0	0	43
	2.7%	8.9%	0.6%	0.6%	-	-	12.7%
不登校(高等学校)	2	4	3	1	2	0	12
	0.6%	1.2%	0.9%	0.3%	0.6%	-	3.6%
いじめ	0	4	2	2	1	0	9
	-	1.2%	0.6%	0.6%	0.3%	-	2.7%
学業不振	2	5	0	0	0	0	7
	0.6%	1.5%	-	-	-	-	2.1%
友人関係	5	7	2	2	1	1	18
	1.5%	2.1%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	5.3%
家族関係	3	19	2	4	3	1	32
	0.9%	5.6%	0.6%	1.2%	0.9%	0.3%	9.5%
高校・大学受験	0	1	0	2	0	0	3
	-	0.3%	-	0.6%	-	-	0.9%
就職活動の挫折	0	11	0	2	1	1	15
	-	3.3%	-	0.6%	0.3%	0.3%	4.4%
職場関係	0	6	3	2	0	1	12
	-	1.8%	0.9%	0.6%	-	0.3%	3.6%
失業・退職	0	10	1	2	0	2	15
	-	3.0%	0.3%	0.6%	-	0.6%	4.4%
疾病(けが等)	0	8	2	0	0	0	10
	-	2.4%	0.6%	-	-	-	3.0%
疾病(精神疾患等)	5	35	13	10	6	7	76
	1.5%	10.4%	3.8%	3.0%	1.8%	2.1%	22.5%
個性	2	8	1	0	0	0	11
	0.6%	2.4%	0.3%	-	-	-	3.3%
事故や犯罪被害	0	1	0	0	0	0	1
	-	0.3%	-	-	-	-	0.3%
わからない	0	1	2	3	0	12	18
	-	0.3%	0.6%	0.9%	-	3.6%	5.3%
その他	5	6	4	6	0	2	23
	1.5%	1.8%	1.2%	1.8%	-	0.6%	6.8%
計	37	177	42	40	14	28	338
	10.9%	52.4%	12.4%	11.8%	4.1%	8.3%	100.0%

きっかけは「その他が多い」。個々の「きっかけ」は、多様であり、原因を細かく区分することは難しい。

## ● 関係機関

期間 きっかけ	期間						計
	1年未満	1～5年	6～9年	10～20年	21年以上	わからない	
不登校(小学校)	0	0	0	0	4	0	4
	-	-	-	-	2.3%	-	2.3%
不登校(中学校)	0	0	0	2	5	1	8
	-	-	-	1.1%	2.8%	0.6%	4.5%
不登校(高等学校)	0	0	0	0	3	2	5
	-	-	-	-	1.7%	1.1%	2.8%
いじめ	0	0	0	1	5	3	9
	-	-	-	0.6%	2.8%	1.7%	5.1%
学業不振	0	0	0	1	1	0	2
	-	-	-	0.6%	0.6%	-	1.1%
友人関係	0	0	0	0	2	1	3
	-	-	-	-	1.1%	0.6%	1.7%
家族関係	0	1	0	1	2	2	6
	-	0.6%	-	0.6%	1.1%	1.1%	3.4%
高校・大学受験	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	0.0%
就職活動の挫折	0	1	1	1	1	1	5
	-	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	2.8%
職場関係	0	2	1	1	5	0	9
	-	1.1%	0.6%	0.6%	2.8%	-	5.1%
失業・退職	0	3	3	1	2	3	12
	-	1.7%	1.7%	0.6%	1.1%	1.7%	6.8%
疾病(けが等)	3	4	2	3	0	1	13
	1.7%	2.3%	1.1%	1.7%	-	0.6%	7.4%
疾病(精神疾患等)	2	8	2	2	14	5	33
	1.1%	4.5%	1.1%	1.1%	8.0%	2.8%	18.8%
個性	0	1	1	1	1	1	5
	-	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	2.8%
事故や犯罪被害	0	0	0	0	1	0	1
	-	-	-	-	0.6%	-	0.6%
わからない	0	3	1	6	7	30	47
	-	1.7%	0.6%	3.4%	4.0%	17.0%	26.7%
その他	4	5	1	0	3	1	14
	2.3%	2.8%	0.6%	-	1.7%	0.6%	8.0%
計	9	28	12	20	56	51	176
	5.1%	15.9%	6.8%	11.4%	31.8%	29.0%	100.0%

「わからない」が多い。相談機関による当事者の相談を詳細に行なった中でも、きっかけを限定することは難しい。

## (8) 「親の年齢」×「当事者の年齢」

家族のアンケートよりクロス集計を行なった。

「当事者の年齢が20～29歳」で「親の年齢が50～59歳」であるのが23.5%が多い。次に多いのが「当事者の年齢が30～39歳」で「親の年齢が70～79歳」11.8%と「当事者の年齢が50～59歳」で「親の年齢が80歳以上」11.8%である。「親の年齢が70～79歳」と「親の年齢が80歳以上」がそれぞれ全体で17.6%と多く、日野市では「70歳代の親と30歳代の子ども」「80歳代の親と50歳代の子ども」の家族構成のひきこもり層が多い。

## ● 当事者・家族

当事者	父母年齢								
	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	計
6歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
6～12歳	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	-	-	5.9%	-	-	-	-	-	5.9%
13～15歳	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	-	-	-	5.9%	-	-	-	-	5.9%
16～19歳	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	-	-	5.9%	-	-	-	-	-	5.9%
20～29歳	0	0	0	4	1	0	0	0	5
	-	-	-	23.5%	5.9%	-	-	-	29.4%
30～39歳	0	0	0	1	1	1	2	0	5
	-	-	-	5.9%	5.9%	5.9%	11.8%	-	29.4%
40～49歳	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	-	-	-	-	-	-	5.9%	-	5.9%
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	-	-	-	-	-	-	-	11.8%	11.8%
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	-	-	-	-	-	-	-	5.9%	5.9%
80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
合計	0	0	2	6	2	1	3	3	17
	0.0%	0.0%	11.8%	35.3%	11.8%	5.9%	17.6%	17.6%	100.0%

## 2-2 自由意見から見える傾向と求められていること

### ・当事者家族から

●今後の先行きの不安が多く寄せられており、当事者の就労や親がいなくなった後の生活については、行政に援助を求めたいと考えられている方が多い。また、年齢によって内容は異なってくるが、子どもが小・中学校の親御さんからは、学校や教師の対応の在り方により不登校になってしまったことから、学校への改善を求める声もあった。中高年のひきこもりの方がいらっしゃる家族の方からは、ひきこもり当事者に対する行政からの公的生活補助制度などの要望もある。ひとり一人に向き合った当事者への対応やひきこもり問題を抱えている家族の精神的・経済的負担を少しでも軽くするための支援の必要性が浮き彫りとなった。

### ・支援者から

●ひきこもりの方を抱える家族からは、支援を拒否される傾向がある。そのため、支援者としての当事者と家族とのかかわり方が難しく支援の方法がわからないなどの意見が多かった。特に高齢の親の「ひきこもり」に対する意識を変えるのは難しく、まだまだ家族のひきこもりに対する理解が乏しいため、「家族にひきこもりがいるなんて恥ずかしい」「他人に知られたくない」「親の過保護が原因だと思われる」などの思いから、家族だけで苦しみ、時間だけ経過してしまうケースもある。ひきこもりの現状をもっと社会に周知し、理解を深めることが重要であるとのご意見もいただいている。

また、障害をお持ちの方や精神的問題を抱えている方に対し、支援に結びつけるシステムの構築が求められている。

●コロナ禍により、外出の機会が減り、高齢者のひきこもりが増えている実態があるため、高齢者の孤独・孤立を防ぐ工夫が必要である。

●家族との不和またはお互いに依存しているなどの家庭環境の中で、経済的・精神的な自立ができないケースが多い。

## 3 まとめ

## (1) 年代

項目		回答数	割合
合計		561	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳	22	3.9%
3	13～15歳	47	8.4%
4	16～19歳※	29	5.2%
5	20～29歳※	87	15.5%
6	30～39歳	74	13.2%
7	40～49歳	116	20.7%
8	50～59歳	82	14.6%
9	60～64歳	21	3.7%
10	65～69歳	12	2.1%
11	70～79歳	20	3.6%
12	80歳以上	28	5.0%
13	わからない	23	4.1%

## (2) 性別

項目		回答数	割合
合計		561	100.0%
1	男性	344	61.3%
2	女性	205	36.5%
3	その他	1	0.2%
4	わからない	11	2.0%

## (3) 同居

項目		回答数	割合
合計		561	100.0%
1	同居者あり	425	75.8%
2	同居者なし（一人暮らし）	107	19.1%
3	わからない	29	5.2%

## (3) -1 同居家族構成

項目		回答数	割合※
合計		796	-
1	父	213	50.1%
2	母	343	80.7%
3	兄姉	80	18.8%
4	弟妹	80	18.8%
5	祖父	5	1.2%
6	祖母	18	4.2%
7	子	24	5.6%
8	孫	1	0.2%
9	配偶者	26	6.1%
10	その他親族	6	1.4%
11	その他	0	0.0%

## (4) ひきこもり期間

項目		回答数	割合
合計		561	100.0%
1	1年未満	44	7.8%
2	1～5年	178	31.7%
3	6～9年	65	11.6%
4	10～20年	85	15.2%
5	21年以上	86	15.3%
6	わからない	103	18.4%

## (5) きっかけ

項目		回答数	割合※
合計		918	-
1	不登校(小学校)	56	10.0%
2	不登校(中学校)	76	13.5%
3	不登校(高等学校)	40	7.1%
4	いじめ	26	4.6%
5	学業不振	17	3.0%
6	友人関係	30	5.3%
7	家族関係	105	18.7%
8	高校・大学受験	15	2.7%
9	就職活動の挫折	48	8.6%
10	職場関係	43	7.7%
11	失業・退職	67	11.9%
12	疾病(けが等)	35	6.2%
13	疾病(精神疾患等)	179	31.9%
14	個性	24	4.3%
15	事故や犯罪被害	3	0.5%
16	わからない	102	18.2%
17	その他	52	9.3%

## (6) 問題点

項目		回答数	割合※
合計		615	-
1	親族の高齢化	185	30.1%
2	経済的困窮	104	16.9%
3	就労先がない	106	17.2%
4	家庭内暴力等が心配	30	4.9%
5	徘徊・騒音等不審な行動	22	3.6%
6	その他	168	27.3%

## (7) 関わり

項目		回答数	割合※
合計		510	-
1	当事者の情報が少ない	71	20.6%
2	公言されていないので見守りをつづけている	30	8.7%
3	当事者やご家族に声をかけている	145	42.2%
4	相談窓口を紹介したことがある	54	15.7%
5	会うことができない	42	12.2%
6	当事者やご家族の相談を受けている	121	35.2%
7	あまり関わりたくない	6	1.7%
8	その他	41	11.9%

## (8) 度合

項目		回答数	割合
合計		523	100.0%
1	外出はよくしている	53	10.1%
2	決まった目的の時だけ外出している	290	55.4%
3	見たことはないが、生活音は感じる	52	9.9%
4	窓も閉め切り、いる感じがしない	39	7.5%
5	わからない	69	13.2%
6	その他	20	3.8%

## (9) 地域

項目		回答数	割合
合計		523	100.0%
1	旭が丘	19	3.6%
2	新井	6	1.1%
3	石田	7	1.3%
4	大坂上	18	3.4%
5	落川	17	3.3%
6	上田	2	0.4%
7	川辺堀之内	2	0.4%
8	栄町	7	1.3%
9	さくら町	0	0.0%
10	下田	0	0.0%
11	新町	22	4.2%
12	神明	12	2.3%
13	高幡	7	1.3%
14	多摩平	46	8.8%
15	豊田	20	3.8%
16	西平山	18	3.4%
17	東豊田	11	2.1%
18	東平山	14	2.7%
19	日野	31	5.9%
20	日野台	13	2.5%
21	日野本町	15	2.9%
22	平山	42	8.0%
23	富士町	2	0.4%
24	程久保	25	4.8%
25	万願寺	19	3.6%
26	三沢	24	4.6%
27	南平	45	8.6%
28	宮	0	0.0%
29	百草	30	5.7%
30	わからない	49	9.4%

## 1 当事者・家族等調査

## III 資料編

## 1 集計結果

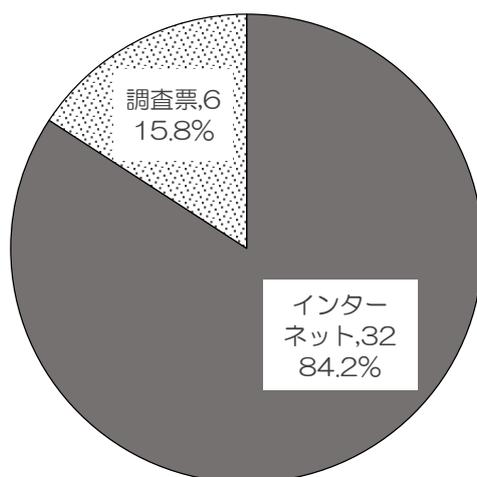
## 1-1 当事者・家族等調査

## (1) 回答方法

「インターネット」を利用しての回答が38件（84.2%）、「調査票」での回答が6件（15.8%）となった。

n = 38

項目		回答数	割合
合計		38	100.0%
1	インターネット	32	84.2%
2	調査票	6	15.8%



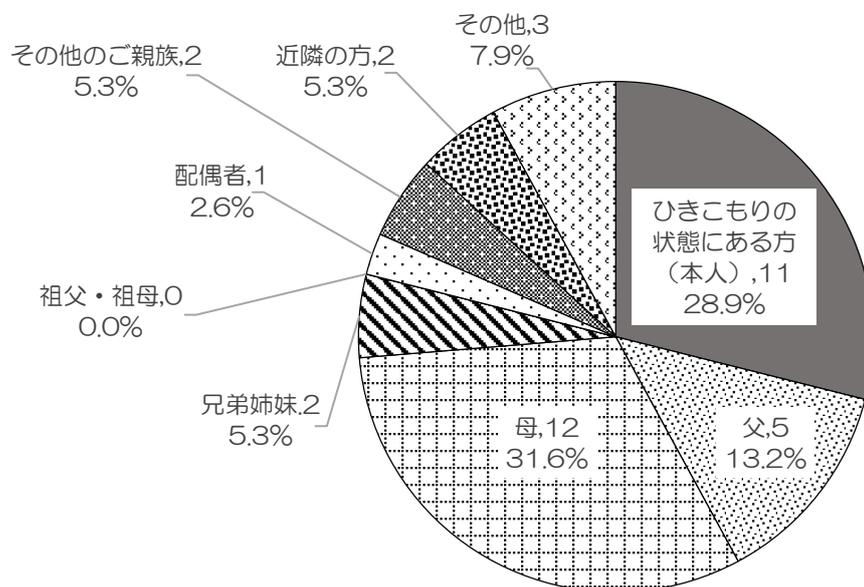
## 1 当事者・家族等調査

## (2) 回答者について (設問①)

「母」が最も多く12件(31.6%)であり、次いで「ひきこもりの状態にある方(本人)」が11件(28.9%)、「父」が5件(13.2%)となった。

n = 38

項目	回答数	割合
合計	38	100.0%
1 ひきこもりの状態にある方(本人)	11	28.9%
2 父	5	13.2%
3 母	12	31.6%
4 兄弟姉妹	2	5.3%
5 祖父	0	0.0%
6 祖母	0	0.0%
7 配偶者	1	2.6%
8 その他のご親族	2	5.3%
9 近隣の方	2	5.3%
10 その他	3	7.9%



その他：元当事者 (3)

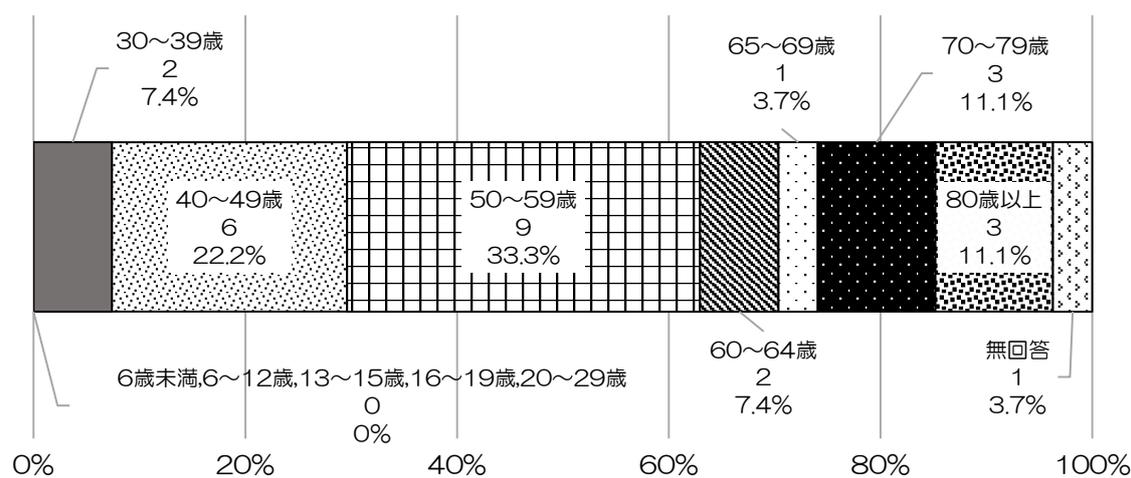
## 1 当事者・家族等調査

## (3) 家族等の年齢（設問②）

「50～59歳」が9件（33.3%）と最も多く、次いで「40～49歳」が6件（22.2%）となっている。

n（設問①で「ひきこもりの状態にある方（本人）」と回答した以外の方）=27

項目		回答数	割合
合計		27	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳	0	0.0%
3	13～15歳	0	0.0%
4	16～19歳	0	0.0%
5	20～29歳	0	0.0%
6	30～39歳	2	7.4%
7	40～49歳	6	22.2%
8	50～59歳	9	33.3%
9	60～64歳	2	7.4%
10	65～69歳	1	3.7%
11	70～79歳	3	11.1%
12	80歳以上	3	11.1%
13	無回答	1	3.7%



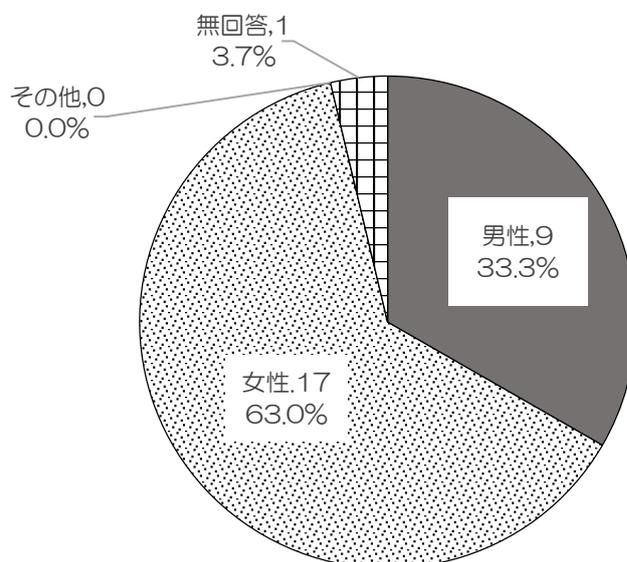
## 1 当事者・家族等調査

## (4) 家族等の性別（設問③）

「女性」が17件（63.0%）、「男性」が9件（33.3%）となっている。

n（設問①で「ひきこもりの状態にある方（本人）」と回答した以外の方）=27

項目		回答数	割合
合計		27	100.0%
1	男性	9	33.3%
2	女性	17	63.0%
3	その他	0	0.0%
4	無回答	1	3.7%



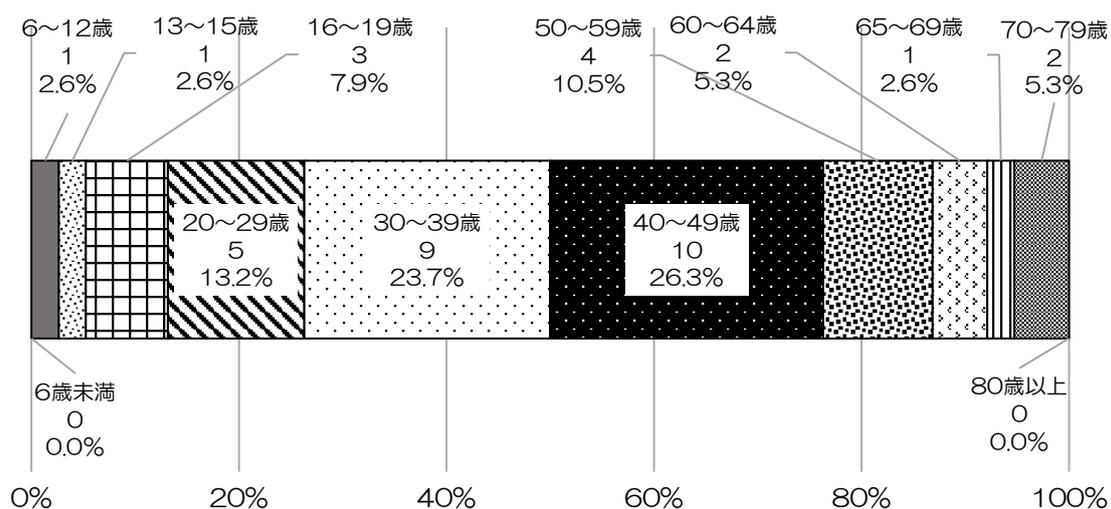
1 当事者・家族等調査

(5) ひきこもりの状態にある方の年齢（設問④）

「40～49歳」が10件（26.3%）と最も多く、次いで「30～39歳」が9件（23.7%）、「20歳～29歳」が5件（13.2%）、「50歳～59歳」が4件（10.5%）となった。

n = 38

項目		回答数	割合
合計		38	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳	1	2.6%
3	13～15歳	1	2.6%
4	16～19歳	3	7.9%
5	20～29歳	5	13.2%
6	30～39歳	9	23.7%
7	40～49歳	10	26.3%
8	50～59歳	4	10.5%
9	60～64歳	2	5.3%
10	65～69歳	1	2.6%
11	70～79歳	2	5.3%
12	80歳以上	0	0.0%



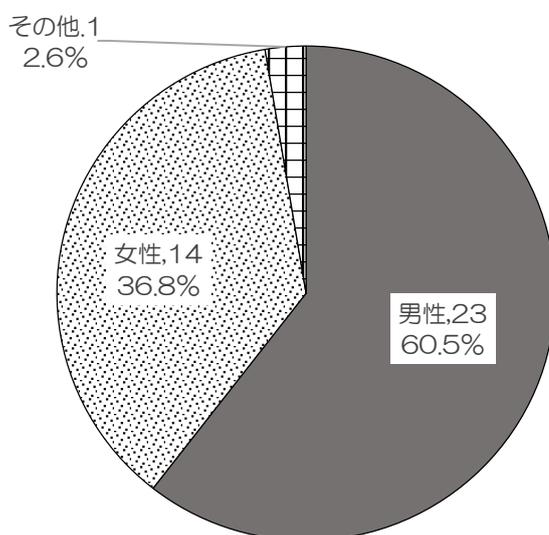
## 1 当事者・家族等調査

## (6) ひきこもりの状態にある方の性別（設問⑤）

「男性」が23件（60.5%）、「女性」が14件（36.8%）となった。

n = 38

項目		回答数	割合
合計		38	100.0%
1	男性	23	60.5%
2	女性	14	36.8%
3	その他	1	2.6%



その他：ゲイもしくはXジェンダー（1）

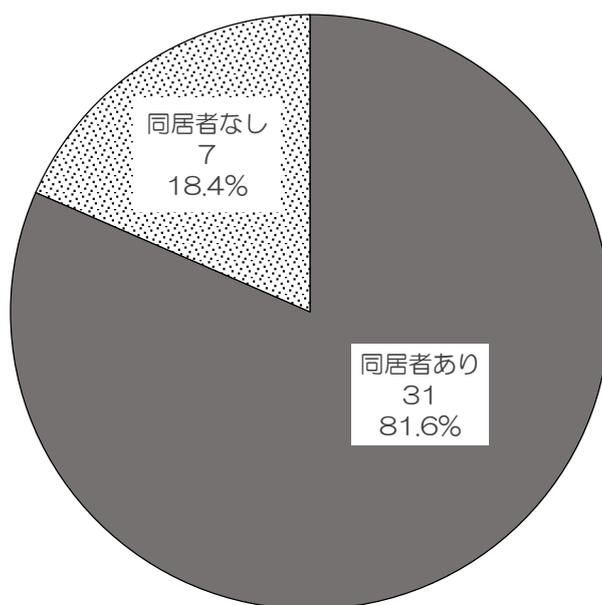
## 1 当事者・家族等調査

## (7) ひきこもりの状態にある方はご家族と同居されていますか（設問⑥）

「同居者あり」が31件（81.6%）、「同居者なし（一人暮らし）」が7件（18.4%）となった。また、「同居者あり」の31件のうち、「母」と同居しているという回答が最も多く19件（61.3%）、「父」が14件（45.2%）となった。

n=38

項目		回答数	割合
合計		38	100.0%
1	同居者あり	31	81.6%
2	同居者なし（一人暮らし）	7	18.4%



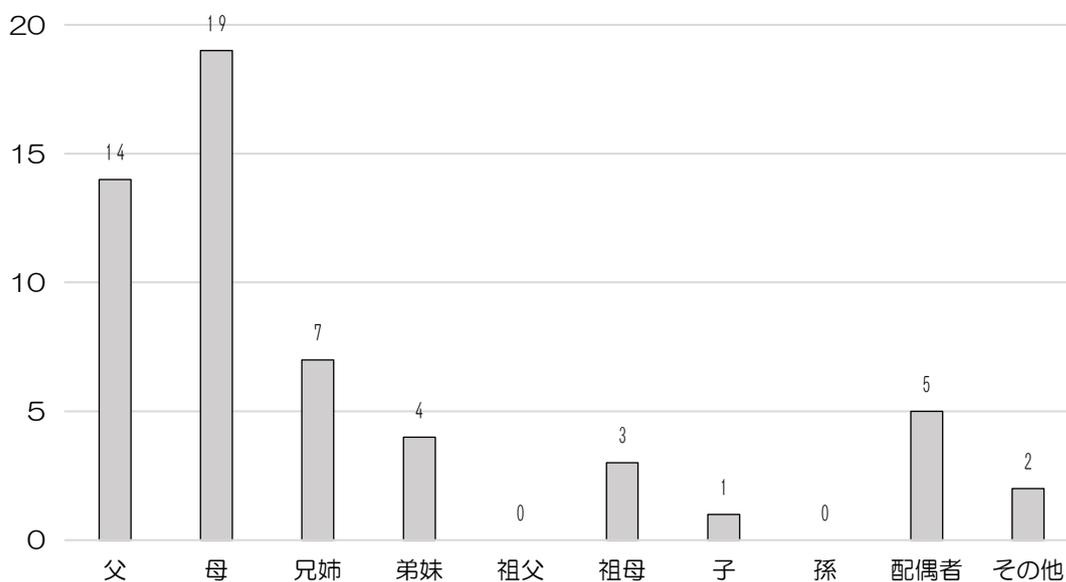
## 1 当事者・家族等調査

n（同設問で「同居者あり」と回答した方）=31

複数回答可

項目		回答数	割合※
合計		55	-
1	父	14	45.2%
2	母	19	61.3%
3	兄弟	7	22.6%
4	弟妹	4	12.9%
5	祖父	0	0.0%
6	祖母	3	9.7%
7	子	1	3.2%
8	孫	0	0.0%
9	配偶者	5	16.1%
10	その他	2	6.5%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



その他：おじ（1）、おば（1）

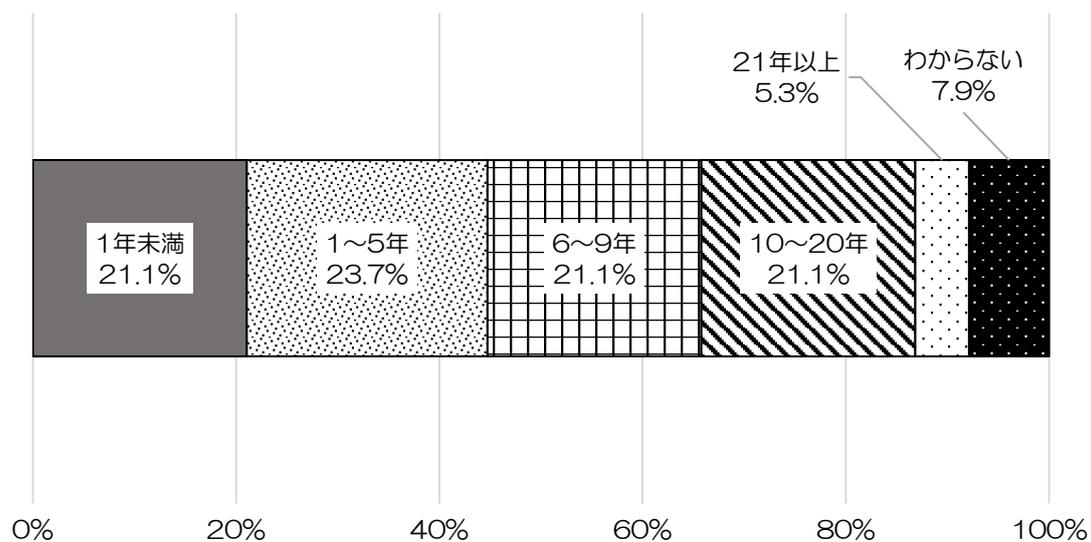
## 1 当事者・家族等調査

(8) ひきこもり状態になられてからどのくらい経っていますか（設問⑦）

「1～5年」が9件（23.7%）、「1年未満」「6～9年」「10～20年」がそれぞれ8件（21.1%）となった。

n = 38

項目		回答数	割合
合計		38	100.0%
1	1年未満	8	21.1%
2	1～5年	9	23.7%
3	6～9年	8	21.1%
4	10～20年	8	21.1%
5	21年以上	2	5.3%
6	わからない	3	7.9%



## 1 当事者・家族等調査

- (9) ひきこもり状態になったきっかけは何ですか（設問⑧、複数回答可）  
 当事者 38 人に対し、「疾病（精神疾患等）」が 18 件（47.4%）、「失業・退職」が 9 件（23.7%）、「家族関係」「就職活動の挫折」がそれぞれ 7 件（18.4%）となった。

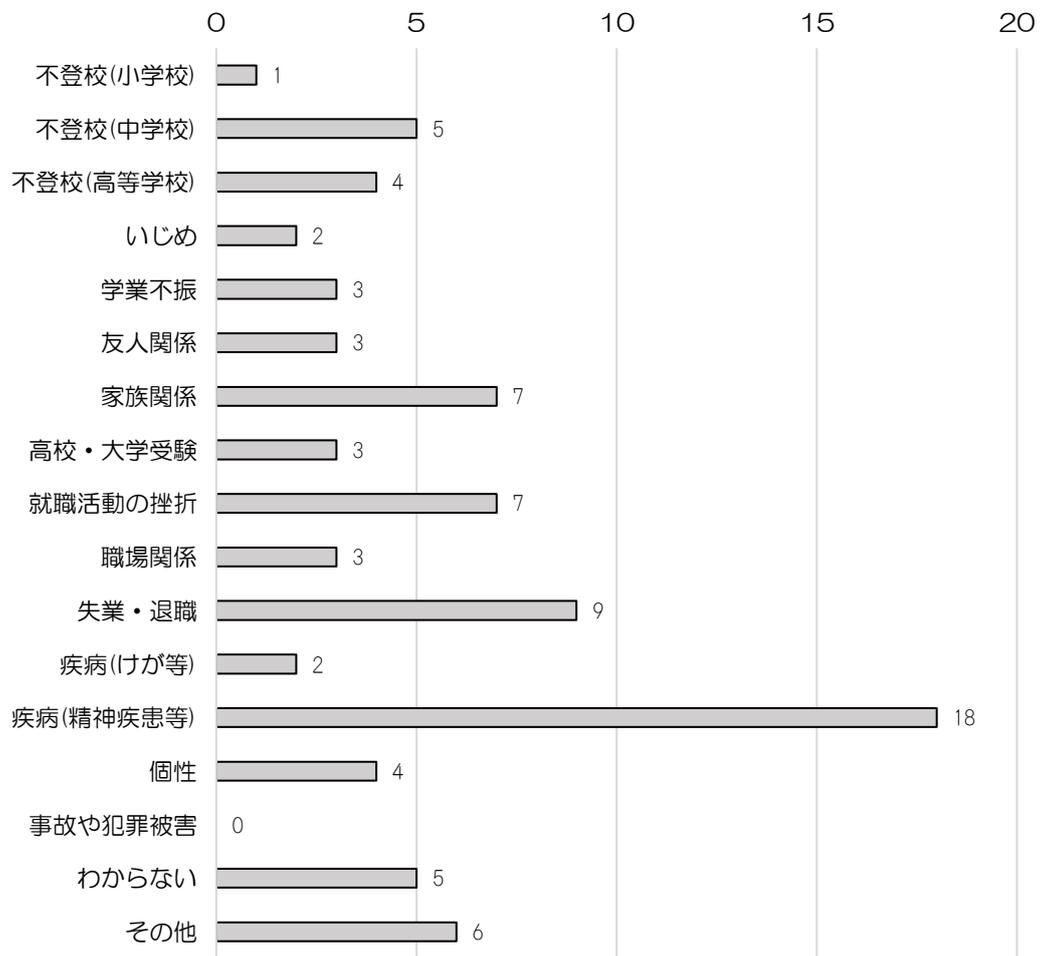
n = 38

項目		回答数	割合※
合計		82	-
1	不登校(小学校)	1	2.6%
2	不登校(中学校)	5	13.2%
3	不登校(高等学校)	4	10.5%
4	いじめ	2	5.3%
5	学業不振	3	7.9%
6	友人関係	3	7.9%
7	家族関係	7	18.4%
8	高校・大学受験	3	7.9%
9	就職活動の挫折	7	18.4%
10	職場関係	3	7.9%
11	失業・退職	9	23.7%
12	疾病(けが等)	2	5.3%
13	疾病(精神疾患等)	18	47.4%
14	個性	4	10.5%
15	事故や犯罪被害	0	0.0%
16	わからない	5	13.2%
17	その他	6	15.8%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合

その他：介護（2）、他人が怖い（1）、人間関係（1）、親の過保護・甘やかし（1）、離婚（1）

1 当事者・家族等調査



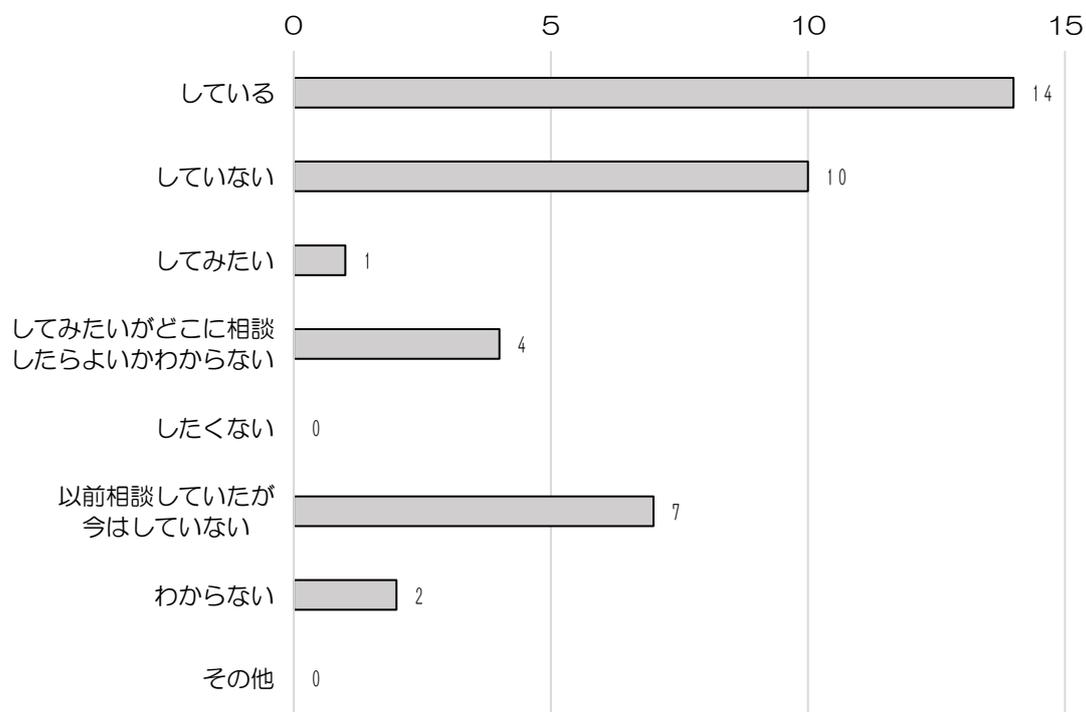
## 1 当事者・家族等調査

## (10) 現在相談をして（支援を受けて）いますか（設問⑨）

「している」が14件（36.8%）、「していない」が10件（26.3%）、「以前相談していたが今はしていない」が7件（18.4%）、「してみたいがどこに相談したらよいかわからない」が4件（10.5%）となった。

n = 38

項目		回答数	割合
合計		38	100.0%
1	している	14	36.8%
2	していない	10	26.3%
3	してみたい	1	2.6%
4	してみたいがどこに相談したらよいかわからない	4	10.5%
5	したくない	0	0.0%
6	以前相談していたが今はしていない	7	18.4%
7	わからない	2	5.3%
8	その他	0	0.0%



## 1 当事者・家族等調査

## (11) なぜ相談をやめましたか (設問⑩)

n (設問⑨で「以前はしていたが今はしていない」と回答した7件のうち回答者) = 3

- |  |
|--|
| ・地域若者サポートステーション、東京都ひきこもりサポートネット、NPOなどの支援機関<br>上記の機関が利益目的が過ぎる、また主宰者が育て上げてやるなどと上から目線だと感じるため。 |
| ・本人、両親ともになかなか現状を認められず、なんだかんだ言って行かなくなった。  |
| ・神経症、うつ病等の病気が完全になおり、精神科へ通院する必要が無くなったから。  |

## 1 当事者・家族等調査

(12) どのようなところで相談をされて（支援を受けて）いましたか。

(設問⑩、複数回答可)

設問⑨で「している」「以前相談していたが今はしていない」と回答した21件のうち、「医療機関」が11件（52.4%）、「市役所（セーフティネットコールセンター）」「市役所（障害福祉課）」がそれぞれ5件（23.8%）となった。

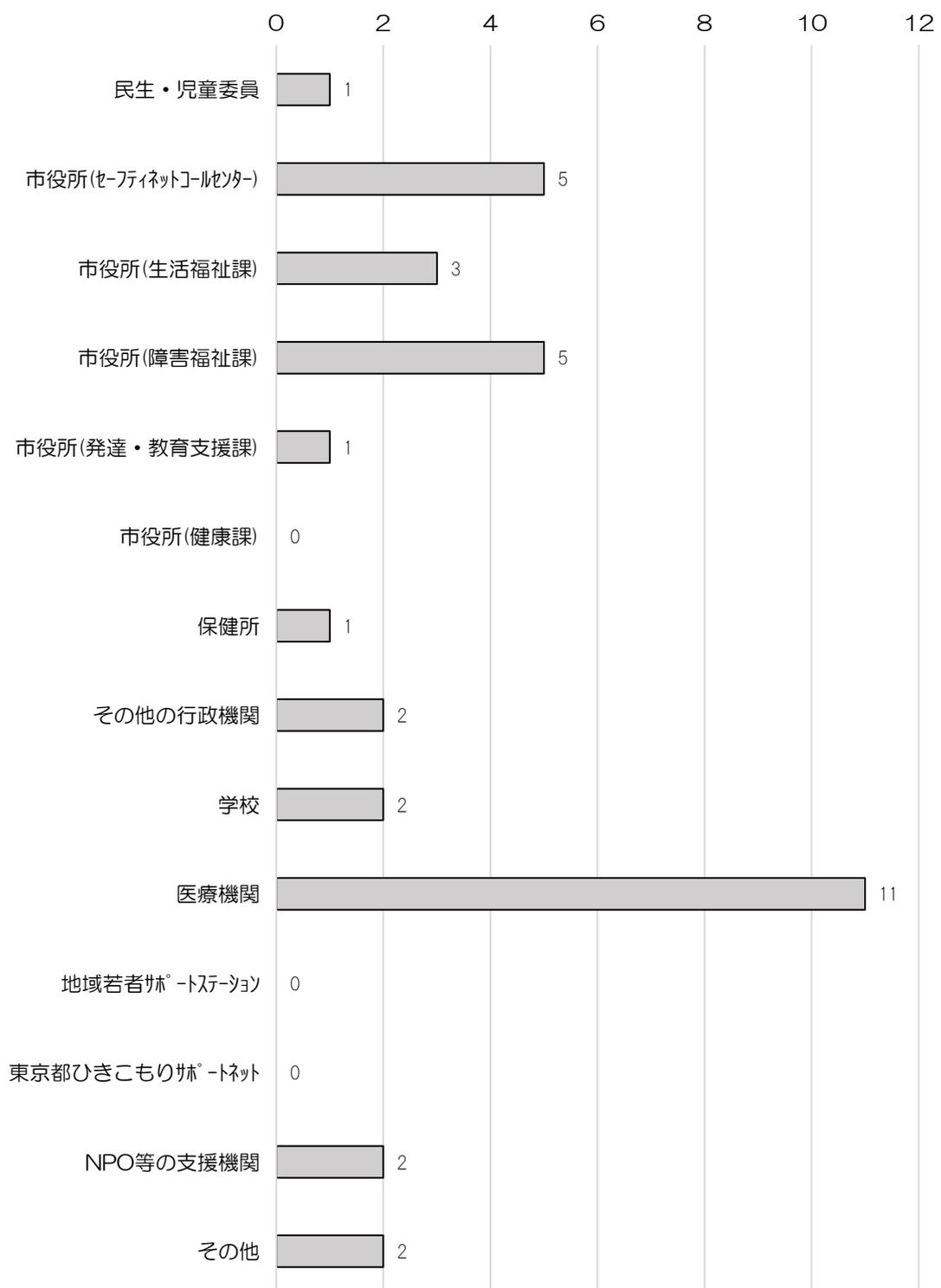
n（設問⑨で「している」「以前相談していたが今はしていない」と回答した方）=21

項目		回答数	割合※
合計		35	-
1	民生・児童委員	1	4.8%
2	市役所（セーフティネットコールセンター）	5	23.8%
3	市役所（生活福祉課）	3	14.3%
4	市役所（障害福祉課）	5	23.8%
5	市役所（発達・教育支援課）	1	4.8%
6	市役所（健康課）	0	0.0%
7	保健所	1	4.8%
8	その他行政機関	2	9.5%
9	学校	2	9.5%
10	医療機関	11	52.4%
11	地域若者サポートステーション	0	0.0%
12	東京都ひきこもりサポートネット	0	0.0%
13	NPO等の支援機関	2	9.5%
14	その他	2	9.5%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合

その他：多摩総合精神保健福祉センター（1）

## 1 当事者・家族等調査



## 1 当事者・家族等調査

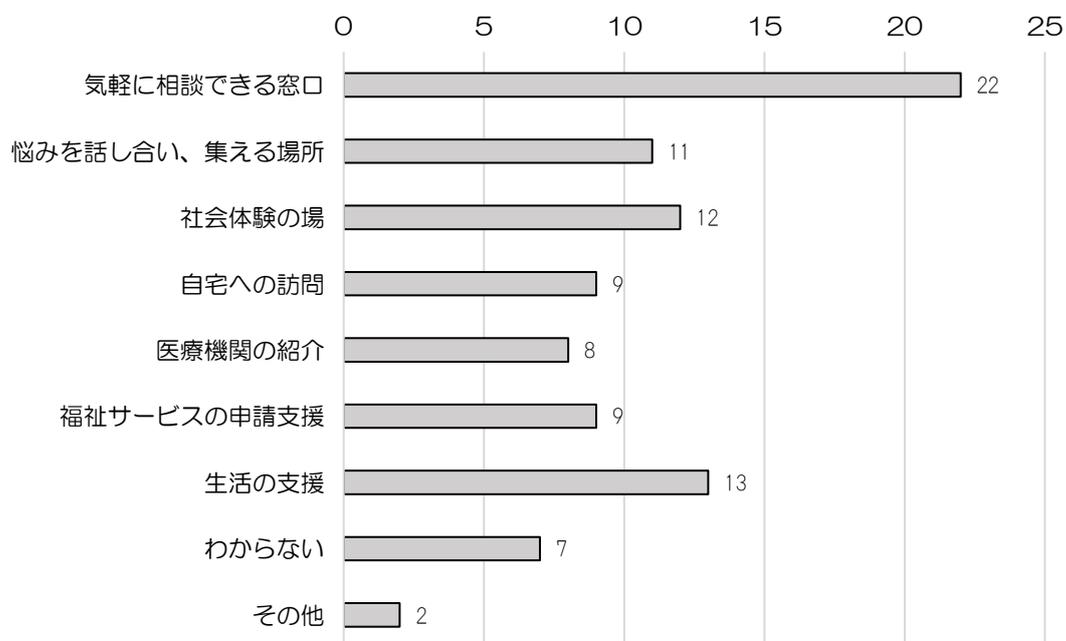
(13) ひきこもりの状態にある方へどのような場所や制度が必要ですか  
(設問⑫、複数回答あり)

「気軽に相談できる窓口」が22件(57.9%)、生活の支援が13件(34.2%)、「社会体験の場」が12件(31.6%)、「悩みを話し合い、集える場所」が11件(28.9%)となった。

n = 38

項目		回答数	割合※
合計		93	-
1	気軽に相談できる窓口	22	57.9%
2	悩みを話し合い、集える場所	11	28.9%
3	社会体験の場	12	31.6%
4	自宅への訪問	9	23.7%
5	医療機関の紹介	8	21.1%
6	福祉サービスの申請支援	9	23.7%
7	生活の支援	13	34.2%
8	わからない	7	18.4%
9	その他	2	5.3%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



その他：スマホやインターネット環境のない場所 (1)

## 1 当事者・家族等調査

## (14) 行政に対して意見

・引きこもりの原因はコロナ禍と関係もあるのであまり深くは考えたことが無いです。
・私は市が委託している職場で突然クビを言い渡されました。ショックでした。自分の住むまちがあんな会社に委託している事も残念極まりないです。市役所の業務を営利優先の派遣屋に丸投げするのはやめて、引きこもり、職にありつけない日野市民にシェアすることが、社会復帰の一助になるのではと感じます。
・外部の人との接触が全くありません。人とのコミュニケーションの機会を設けるようにして欲しいです。ゲームに没頭しています。興奮して大声を張りあげたり、物に当たっています。
・在宅仕事紹介支援が欲しい
・本当の解決策に蓋をしているような気がします。親が甘い人が引きこもっているように思うのですが…。
・8060 問題も怖いですが、親の介護が必要になり、死亡後の「きょうだいリスク」が怖い。同居していた時期は暴力も振るっており、親が機嫌をとる…というループだったので、正直今は全く関わり合いになりたくないし、今後も関わるつもりはないが、何かあった時に行政から連絡が来そうで、そこは心配である。
・今後どのようにしていけばいいかわかりません。
・親亡き後の支援体制が受けられるのか心配。
・コロナのことでなかなかアルバイトが見つからない
・行政からお金がもらえるような、オンラインで働く内職やバイトがあれば社会参加なるから安価で良いからなんらかの繋がりになる仕事を作って欲しい
・学校の対応には限界を感じる。コロナ禍がきっかけで不登校になっていることもある。
・親が隠したがっているのが問題なので、高齢の親の意識をどう変えていくか、そう言う場はないか、と思います。引きこもり家族との交流会などではなく、広報なので、こう言う状態が引きこもりです、と言うような周知活動的なもの。
・飲食業でしたがコロナで無くなり、次の仕事を探すよう言っていますが、意欲が湧かないようです。発達障害のグレーゾーンの特徴にも当てはまります。
・不調になった時、学校は全くあてにならなかった。無気力な担任、本人の個性もあるが、人間関係が苦手な子によりそう気配全くなかった。転任後2年ただけで又転任。どうして人に対して配慮が全くない人間を担任にしたのか。人生の大切な時期に接するに値しない人間を教師に合格させることじたいが間違いです。そんな人間に関わった子が気の毒です。良い先生に会っていたら人生かわっていたのかなと思うときがあります。どういう環境でもOKの子どももいれば、駄目な子どももいます。人によって受けとめ方許容量が違うことを念頭においてほしい。先生の仕事量が大変で先生も余裕がないとも思いますが、その子たちには関わられる唯一の他人の大人だということを肝に銘じて下さい。
・辛い思いもし、実に34年にも及ぶ、無職、ひきこもりの状態からようやく抜け出し、現在はプロの画家として活動するとともに、ひきこもり期間中に勉強を続けて取得した実用英語技能検定の英検準一級の資格を使って英語講師の仕事も今年から始めようと考えております。
・病院から退院して半年くらいになります。お薬が合わないのかだんだん話さなくなり、今は一日中家でラジオを聞いています。90代の高齢にもなり毎日なやんでいます。

## 1 当事者・家族等調査

・息子に少しでも公的生活費の補助があると経済的に助かります。それを期待しています。生きてゆくのに、毎月、細々と公的支援金をいただいても、生活をしてゆく飛躍の土台にはなりません。昨年の政府が国民一人当たり 10 万円を支給してくれたような、用途を問わない、まとまったお金の給付をしていただくと有り難いです。あるいは、無利子、無担保でまとまったお金を借りられると有り難いです。

・誰もひきこもりになりたくて、家から出られないわけではないのに何の支援もなく、家族が面倒を見て、この先の不安や親がなくなった時、病院にも行かれない状態の子をどうしていくのか、先が不安です。その子が自立できるような支援や、今後どうしていったらいいのか、相談できる窓口があれば良いと思います。

## 2 民生・児童委員調査

## 1-2 民生・児童委員調査

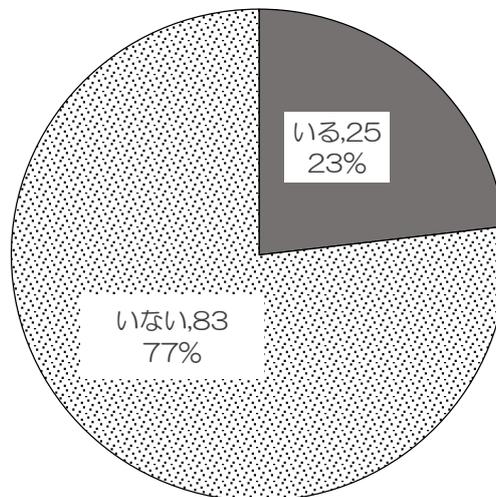
## (1) 把握の有無

問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。

「いる」が25件(23.1%)、「いない」が83件(76.9%)となった。

n = 108

項目		回答数	割合
合計		108	100.0%
1	いる	25	23.1%
2	いない	83	76.9%



2 民生・児童委員調査

---

(2) 人数

問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。

n (問1で「いる」と回答した方) =25

40人

## 2 民生・児童委員調査

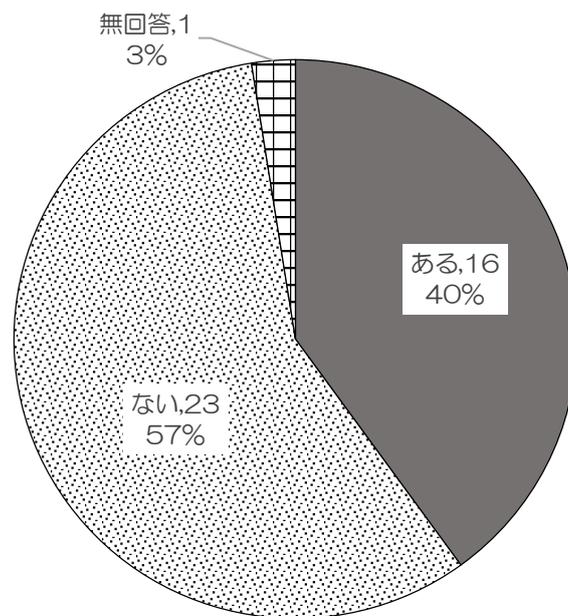
## (3) 現認

問3-1 (問2で回答した方それぞれについて) ご家族の方から相談を受けるなど、実際に確認したことがありますか。

「ある」が16件(40.0%)、「ない」が23件(57.5%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合
合計		40	100.0%
1	ある	16	40.0%
2	ない	23	57.5%
3	無回答	1	2.5%



## 2 民生・児童委員調査

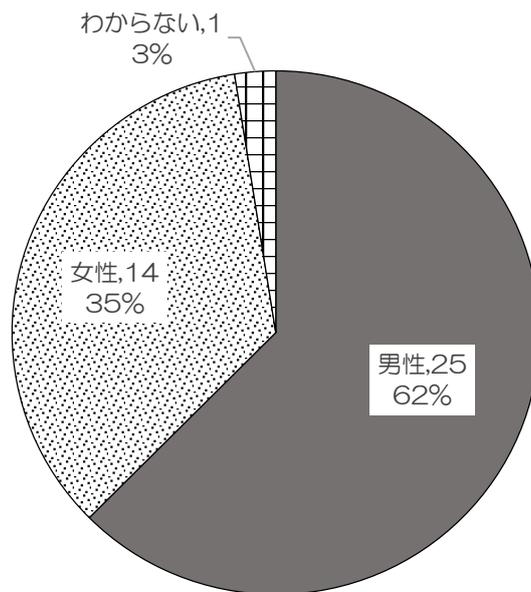
## (4) 当事者の性別

問3-2 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の性別

「男性」が25件(61.5%)、「女性」が14件(35.9%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合
合計		40	100.0%
1	男性	25	61.5%
2	女性	14	35.9%
3	わからない	1	2.6%



## 2 民生・児童委員調査

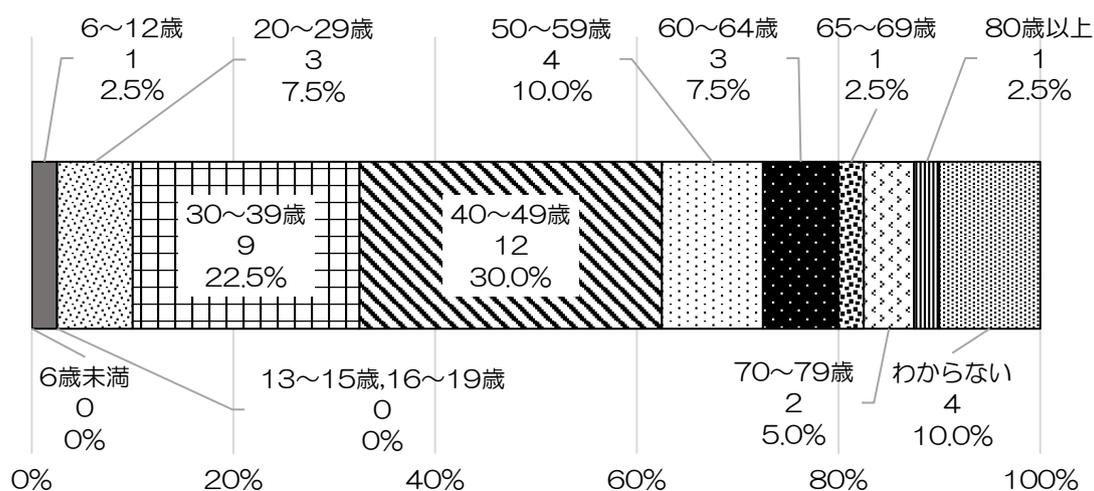
## (5) 当事者年代

問3-3 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の年代

「40～49歳」が12件(30.0%)と最も多く、次いで「30～39歳」が9件(22.5%)、「50～59歳」が4件(10.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合
合計		40	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳	1	2.5%
3	13～15歳	0	0.0%
4	16～19歳	0	0.0%
5	20～29歳	3	7.5%
6	30～39歳	9	22.5%
7	40～49歳	12	30.0%
8	50～59歳	4	10.0%
9	60～64歳	3	7.5%
10	65～69歳	1	2.5%
11	70～79歳	2	5.0%
12	80歳以上	1	2.5%
13	わからない	4	10.0%



## 2 民生・児童委員調査

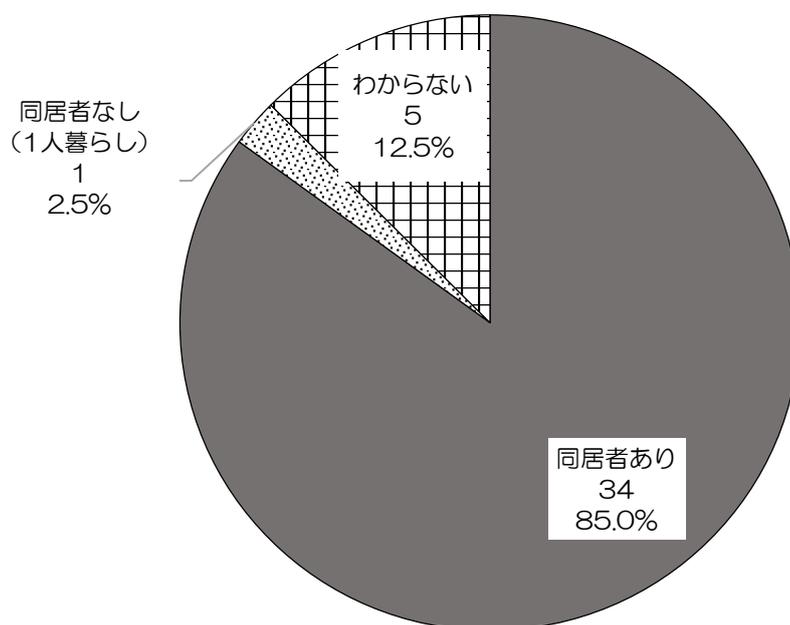
## (6) 同居家族

問3-4 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族

「同居者あり」が34件(85.0%)、「同居者なし(1人暮らし)」が1件(2.5%)となった。また、「同居者あり」の34件のうち、「母」と同居しているという回答が最も多く27件(79.4%)、「父」が22件(64.7%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合
合計		40	100.0%
1	同居者あり	34	85.0%
2	同居者なし(1人暮らし)	1	2.5%
3	わからない	5	12.5%

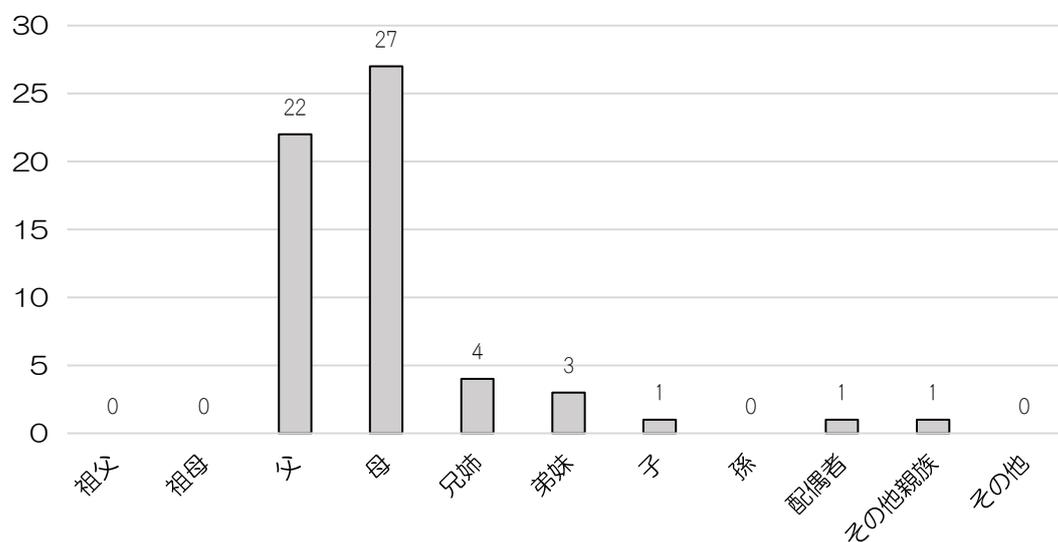


## 2 民生・児童委員調査

n（同設問で「同居者あり」と回答した方）=34  
複数回答可

項目		回答数	割合※
合計		59	-
1	祖父	0	0.0%
2	祖母	0	0.0%
3	父	22	64.7%
4	母	27	79.4%
5	兄弟	4	11.8%
6	弟妹	3	8.8%
7	子	1	2.9%
8	孫	0	0.0%
9	配偶者	1	2.9%
10	その他親族	1	2.9%
11	その他	0	0.0%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



## 2 民生・児童委員調査

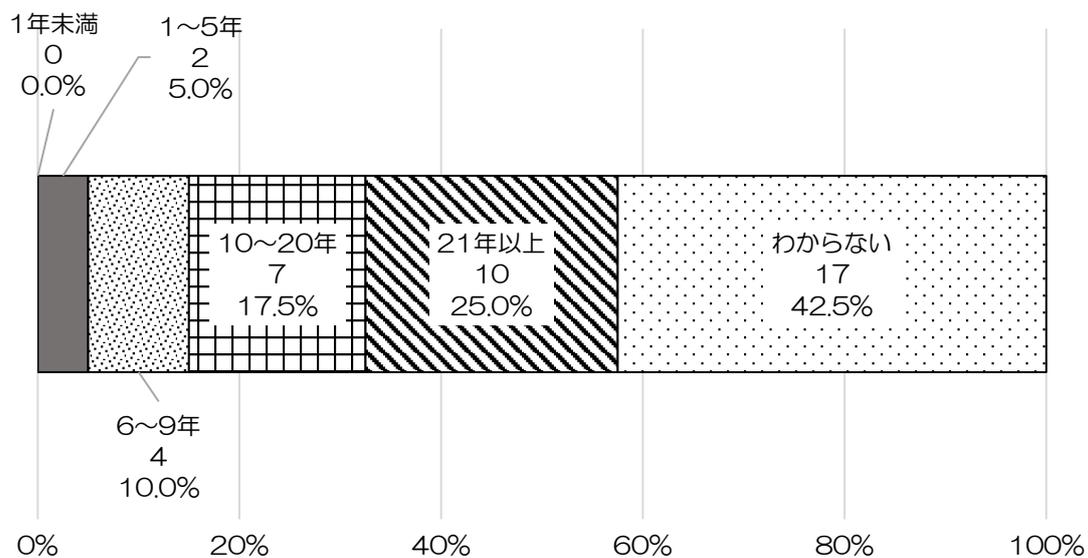
## (7) 期間

問3-5 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態の期間

「21年以上」が10件(25.0%)と多く、次いで「10~20年」が7件(17.5%)、「6~9年」が4件(10.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合
合計		40	100.0%
1	1年未満	0	0.0%
2	1~5年	2	5.0%
3	6~9年	4	10.0%
4	10~20年	7	17.5%
5	21年以上	10	25.0%
6	わからない	17	42.5%



## 2 民生・児童委員調査

## (8) きっかけ

問3-6 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態になったきっかけ(複数回答可)

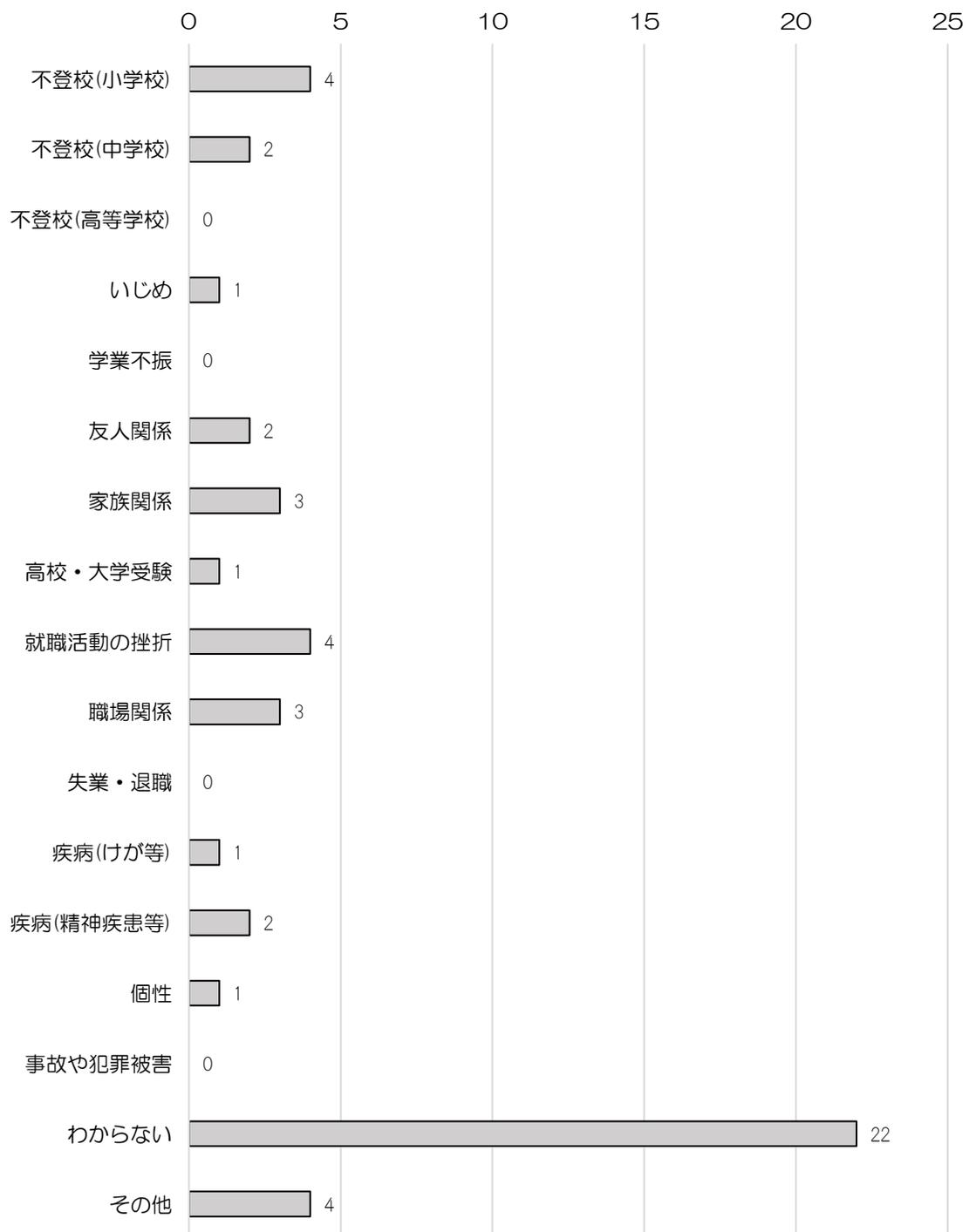
当事者数40人に対し、(複数回答可のため)50件の回答があった。半数以上である22件(55.0%)が「わからない」と回答。「不登校(小学校)」「就職活動の挫折」が8件(10.0%)という結果となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合※
合計		50	-
1	不登校(小学校)	4	10.0%
2	不登校(中学校)	2	5.0%
3	不登校(高等学校)	0	0.0%
4	いじめ	1	2.5%
5	学業不振	0	0.0%
6	友人関係	2	5.0%
7	家族関係	3	7.5%
8	高校・大学受験	1	2.5%
9	就職活動の挫折	4	10.0%
10	職場関係	3	7.5%
11	失業・退職	0	0.0%
12	疾病(けが等)	1	2.5%
13	疾病(精神疾患等)	2	5.0%
14	個性	1	2.5%
15	事故や犯罪被害	0	0.0%
16	わからない	22	55.0%
17	その他	4	10.0%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合

## 2 民生・児童委員調査



## 2 民生・児童委員調査

## (9) 問題点

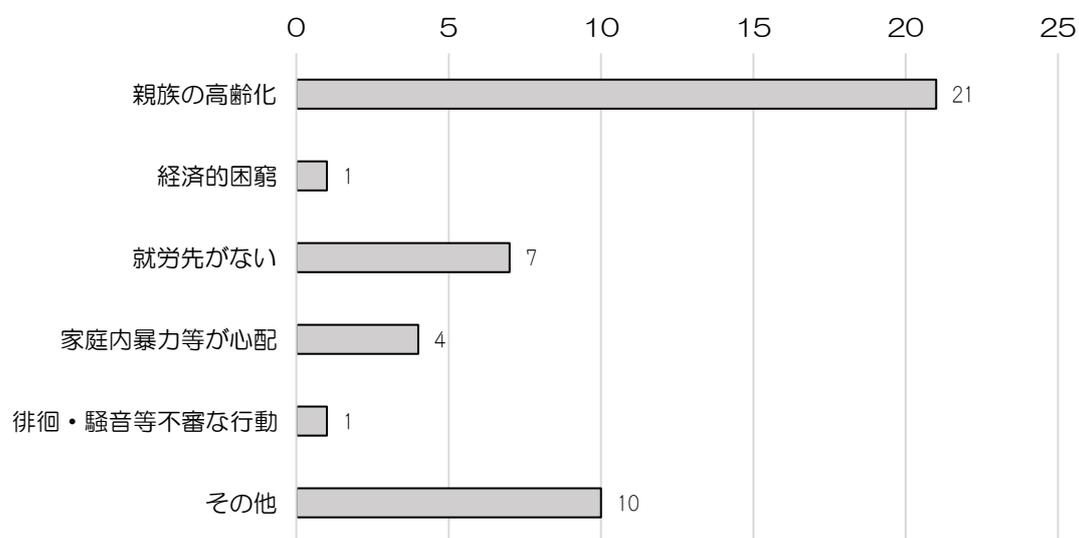
問3-7 (問2で回答した方それぞれについて) 問題点を挙げるとしたら(複数回答可)

「親族の高齢化」が21件(52.5%)と最も多く、次いで「就労先がない」が7件(17.5%)、「家庭内暴力等が心配」が4件(10.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合※
合計		44	-
1	親族の高齢化	21	52.5%
2	経済的困窮	1	2.5%
3	就労先がない	7	17.5%
4	家庭内暴力等が心配	4	10.0%
5	徘徊・騒音等不審な行動	1	2.5%
6	その他	10	25.0%

※n値のうち、選択肢を回答した割合



## 2 民生・児童委員調査

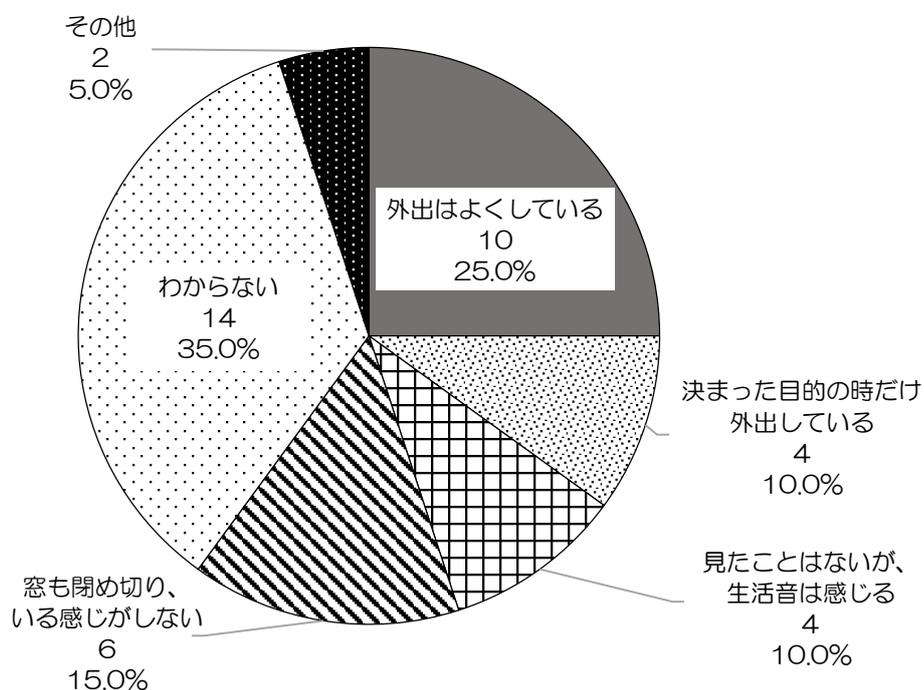
## (10) 度合い

問3-8 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態の度合い

「外出はよくしている」が10件(25.6%)、「窓も締め切り、いる感じがしない」が6件(17.9%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合
合計		40	100.0%
1	外出はよくしている	10	25.6%
2	決まった目的の時だけ外出している	4	7.7%
3	見たことはないが、生活音は感じる	4	10.3%
4	窓も閉め切り、いる感じがしない	6	17.9%
5	わからない	14	33.3%
6	その他	2	5.1%



## 2 民生・児童委員調査

## (11) 関わり

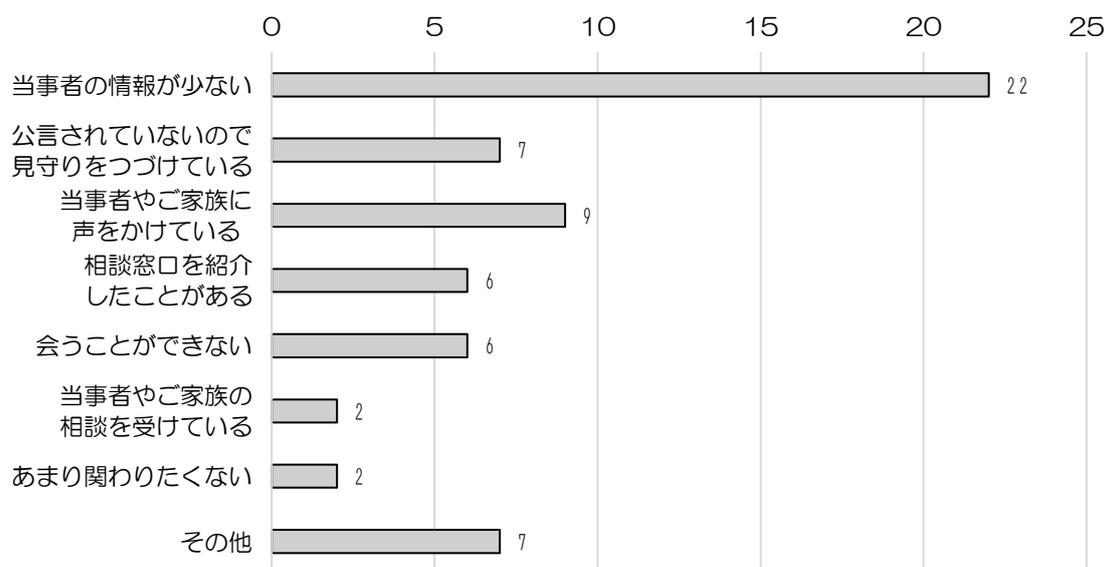
問3-9 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にある方への関わりについて  
(複数回答可)

当事者40人に対し、「当事者の情報が少ない」が22件(55.0%)、「当事者やご家族に声をかけている」が9件(22.5%)、「公言されていないので見守り続けている」が7件(17.5%)、「相談窓口を紹介したことがある」「会うことができない」がそれぞれ6件(15.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=40

項目		回答数	割合※
合計		61	-
1	当事者の情報が少ない	22	55.0%
2	公言されていないので見守りをつづけている	7	17.5%
3	当事者やご家族に声をかけている	9	22.5%
4	相談窓口を紹介したことがある	6	15.0%
5	会うことができない	6	15.0%
6	当事者やご家族の相談を受けている	2	5.0%
7	あまり関わりたくない	2	5.0%
8	その他	7	17.5%

※n値のうち、選択肢を回答した割合



## 2 民生・児童委員調査

## (12) 自由意見

問4 行政に対してご意見等ございましたらご自由にご記入ください。

<p>・ &lt;母子二人家庭での事例です&gt;ひきこもりの娘をかかえている母が現状維持を希望。子を何とかしなければという意欲もなく、こちらがはたらきかけすぎると拒否反応を示し、そっとしておいてほしいと懇願される。セーフティネットコールセンターを紹介しても迷惑そうで動きません。社協で生活福祉資金を借りているので社協と一緒に見守り中です。弁護士なども介入している難しい家庭です。</p>
<p>・ いないと判断しているが、見えてないだけかと案じている</p>
<p>・ 担当地区にはウワサでも聞いていませんのでいないと思います。</p>
<p>・ 知り合いに不登校ぎみのあるお子様（小学生）がいますが、全く登校しないということではなく、家族とも外出しています。今回地域の方からの情報などに、もっと気を配らなければ・・・と考えさせられた気がします。</p>
<p>・ 学校や包括支援センターが情報を持っていても民生委員に情報提供されることはほとんどない。民生委員が動くためには関係機関に間に入って顔つなぎをしてもらう必要があるが、相手がそれを承諾しなければ、つながることができない。</p>
<p>・ 通常の暮らしの中ではそういった情報は入ってきていないが、それが「いない」という事なのかは不明です。</p>
<p>・ Case by case なのだろうけれど、どこまで踏み込むか、「おせっかい」も訴えられかねないし。特にそのご家族は元々かたくなにガードが強いので、世間話以上のことはしゃべらない。「当事者」の部屋が見渡せる裏に住んでいる方から「普通ではない」という情報をもらってから一年近くなる。見守るしかできない。</p>
<p>・ R3.1 現在見守りの状態。セーフティの方が時々食料をドアにかけてくれています。それがなくなっているので食べていると思います。強制的な方法で安否確認も考えましたが、追い詰めて2階から飛び降りたり、家に戻ってこなかったりするのではとも考えられます。一度でいいので会って相続の事、保険証の手続きなど話したいのですが今は出来ていません。都内在住のお兄さんも限界、もう手放したいという気持ちになりつつあります。私としてはセーフティを始め包括、自治体、と情報を共有しているので、心強くは思っています。(大家さんについては状況を知りつつ対応なしです。)生活保護を受けなくても家賃の支払いは弁護士又はお兄さんから支払っているようです。</p>
<p>・ ご両親は近所なので、自治会であったりするが話題として取り上げにくい雰囲気があるので、他の事を話すにとどまる。</p>
<p>・ ひきこもりの当事者の状況について家族からの TEL で知りました。内容は母親が「予定入院の間、父親といつも家にいる子がけんかをするかも知れないので見守ってほしい」とのことであった。その間は特に問題はなかった。</p>
<p>・ 高齢の父母の訪問時に最初に玄関わきの小窓から応答してくれるのは当事者である。近隣の人達は気にとめている様子がある。</p>

## 2 民生・児童委員調査

<p>・きょうだいと同居。30年以上引きこもり。10年以上前に一度も話したことが無い近所の子どもさんから突然話しかけられきょうだいが初めて引きこもりしている事を打ち明けられた。このことを包括に連絡した所、リハビリに来ている母親に聞いていたが特に助けを求めてはいなかった。数年前に両親が相次いで亡くなりご本人がパニックになりましたが、声掛けすることによってやっと心を開いてくださり、ご近所の方とも話が出来るようになりましたが、きょうだいの様子は全くわかりません。ご本人は異性の方が苦手です。きょうだいの方は色々病気を抱えています。</p>
<p>・民生・児童委員として、ひきこもりの実態を把握できていませんでした。できれば、行政とも情報を共有させていただきたいと思います。自治会の方々にも聞いてみましたが、把握していない様子でした。見守りや相談にのれればと思っています。</p>
<p>・包括からの情報だけで詳しいことは、まったくわかりません。</p>
<p>・ご家族が近隣住民との関わりを拒否していらっしゃる様子があり、あまり関われない。</p>
<p>・家の中に居る事は知っているが会った事はない。親子関係は良好の様子。一度インターホン越しに話した。対応は丁寧で正常。社会になじめないでいたと話すが、ひきこもりとは認識していない。従ってひきこもりでの話・対応が出来ない。</p>

## 3 庁内職員調査

## 1-3 庁内職員調査

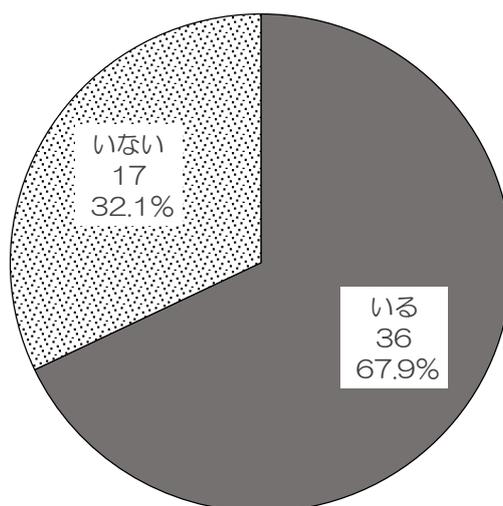
## (1) 把握の有無

問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。

「いる」が36件（67.9%）、「いない」が17件（32.1%）となった。

n = 53

項目		回答数	割合
合計		53	100.0%
1	いる	36	67.9%
2	いない	17	32.1%



対象課：生活福祉課、障害福祉課、健康課、子ども家庭支援センター、高齢福祉課、  
発達・教育支援課、在宅療養支援課、子育て課

## 3 庁内職員調査

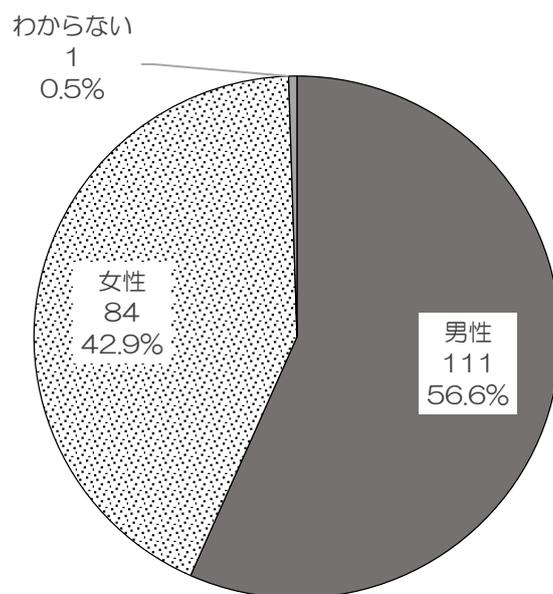
## (2) 当事者性別

問3-1 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の性別

「男性」が111件(56.6%)、「女性」が84件(42.9%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=196

項目		回答数	割合
合計		196	100.0%
1	男性	111	56.6%
2	女性	84	42.9%
3	わからない	1	0.5%



3 庁内職員調査

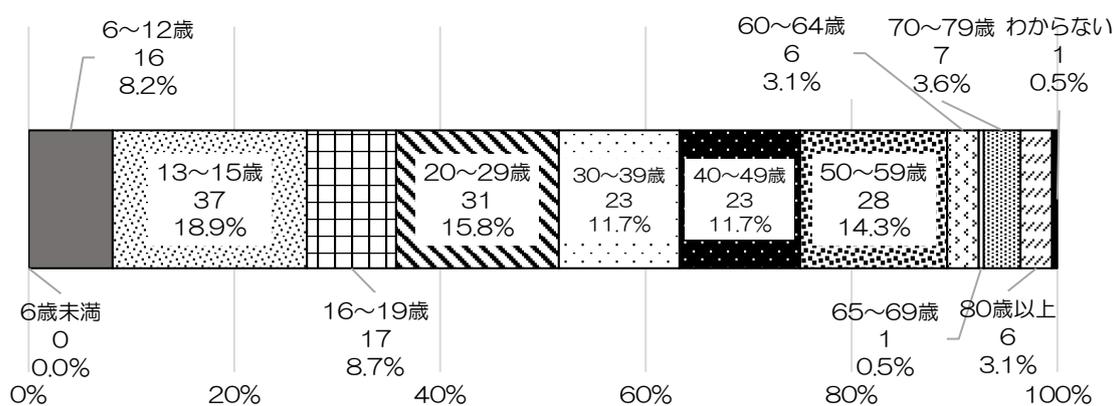
(3) 当事者年代

問3-2 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の年代

「13～15歳」が37件(18.9%)と最も多く、次いで「20～29歳」が31件(15.8%)、「50～59歳」が28件(14.3%)、「30～39歳」「40～49歳」がともに23件(11.7%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=196

項目		回答数	割合
合計		196	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳	16	8.2%
3	13～15歳	37	18.9%
4	16～19歳	17	8.7%
5	20～29歳	31	15.8%
6	30～39歳	23	11.7%
7	40～49歳	23	11.7%
8	50～59歳	28	14.3%
9	60～64歳	6	3.1%
10	65～69歳	1	0.5%
11	70～79歳	7	3.6%
12	80歳以上	6	3.1%
13	わからない	1	0.5%



## 3 庁内職員調査

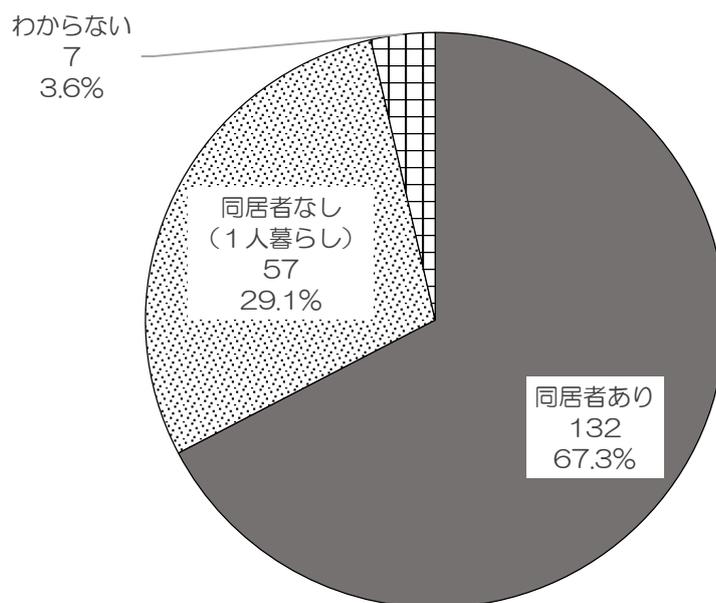
## (4) 同居家族

問3-3 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族

「同居者あり」が132件(67.3%)、「同居者なし(1人暮らし)」が57件(29.1%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=196

項目		回答数	割合
合計		196	100.0%
1	同居者あり	132	67.3%
2	同居者なし(1人暮らし)	57	29.1%
3	わからない	7	3.6%



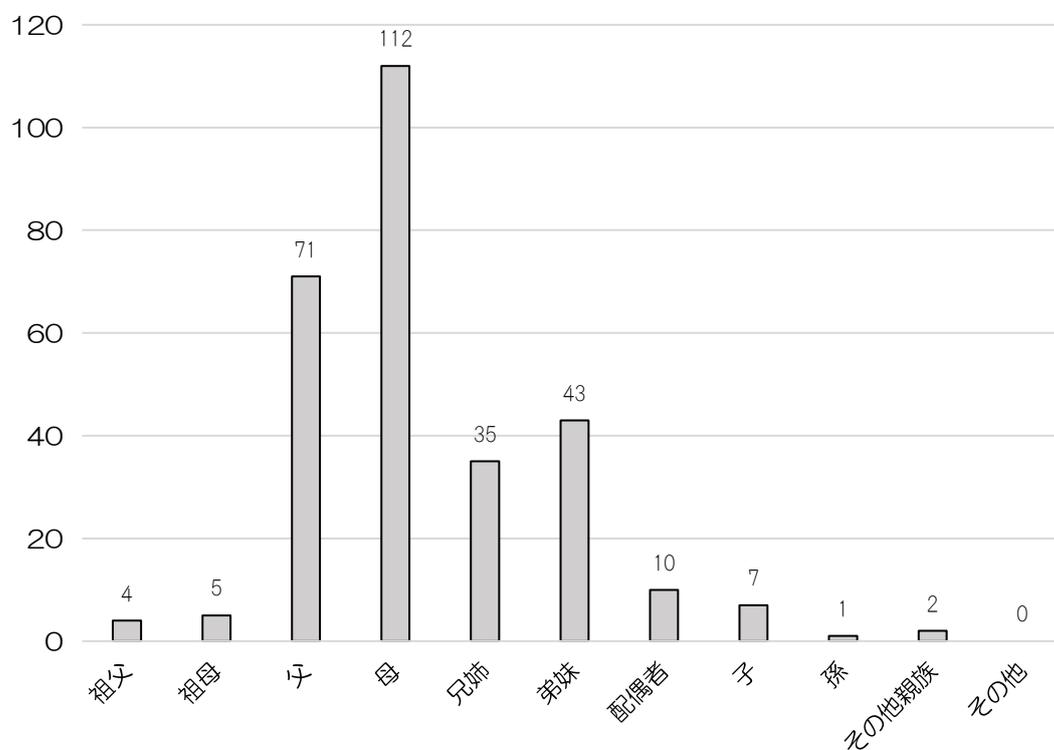
## 3 庁内職員調査

n（同設問で「同居者あり」と回答した方）=132

複数回答可

項目		回答数	割合※
合計		290	-
1	祖父	4	3.0%
2	祖母	5	3.8%
3	父	71	53.8%
4	母	112	84.8%
5	兄姉	35	26.5%
6	弟妹	43	32.6%
7	配偶者	10	7.6%
8	子	7	5.3%
9	孫	1	0.8%
10	その他親族	2	1.5%
11	その他	0	0.0%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



3 庁内職員調査

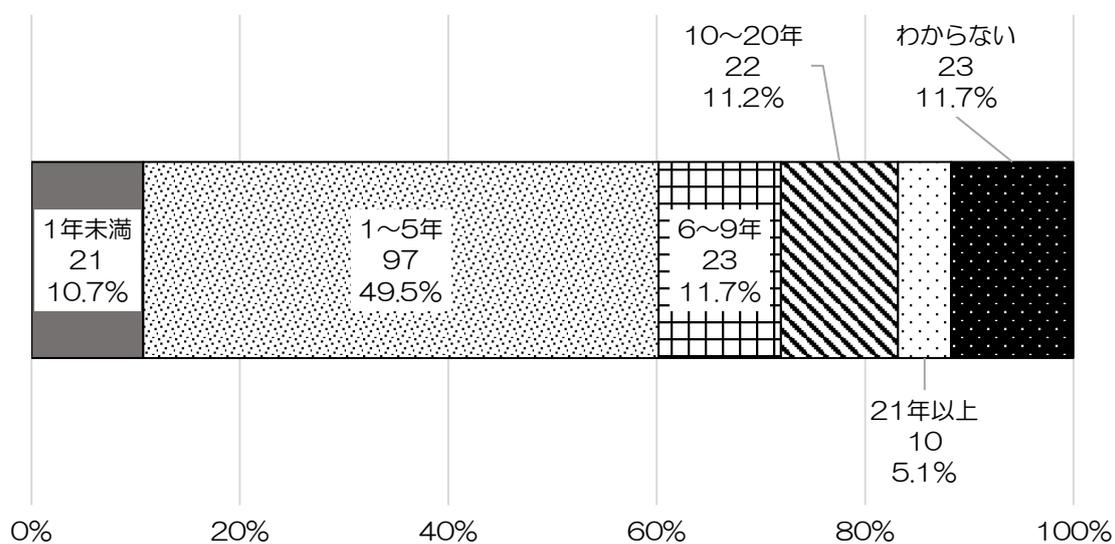
(5) 期間

問3-4 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態の期間

「1～5年」が97件(49.5%)と最も多く、次いで「6～9年」が23件(11.7%)、「10～20年」が22件(11.2%)、「1年未満」が21件(10.7%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=196

項目		回答数	割合
合計		196	100.0%
1	1年未満	21	10.7%
2	1～5年	97	49.5%
3	6～9年	23	11.7%
4	10～20年	22	11.2%
5	21年以上	10	5.1%
6	わからない	23	11.7%



## 3 庁内職員調査

## (6) きっかけ

問3-5 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態になったきっかけ(複数回答可)

当事者 196 名に対し、「疾病(精神疾患等)」が 76 件(38.8%)、「不登校(中学校)」が 43 件(21.9%)、「不登校(小学校)」が 33 件(16.8%)、「家族関係」が 32 件(16.3%)となった。

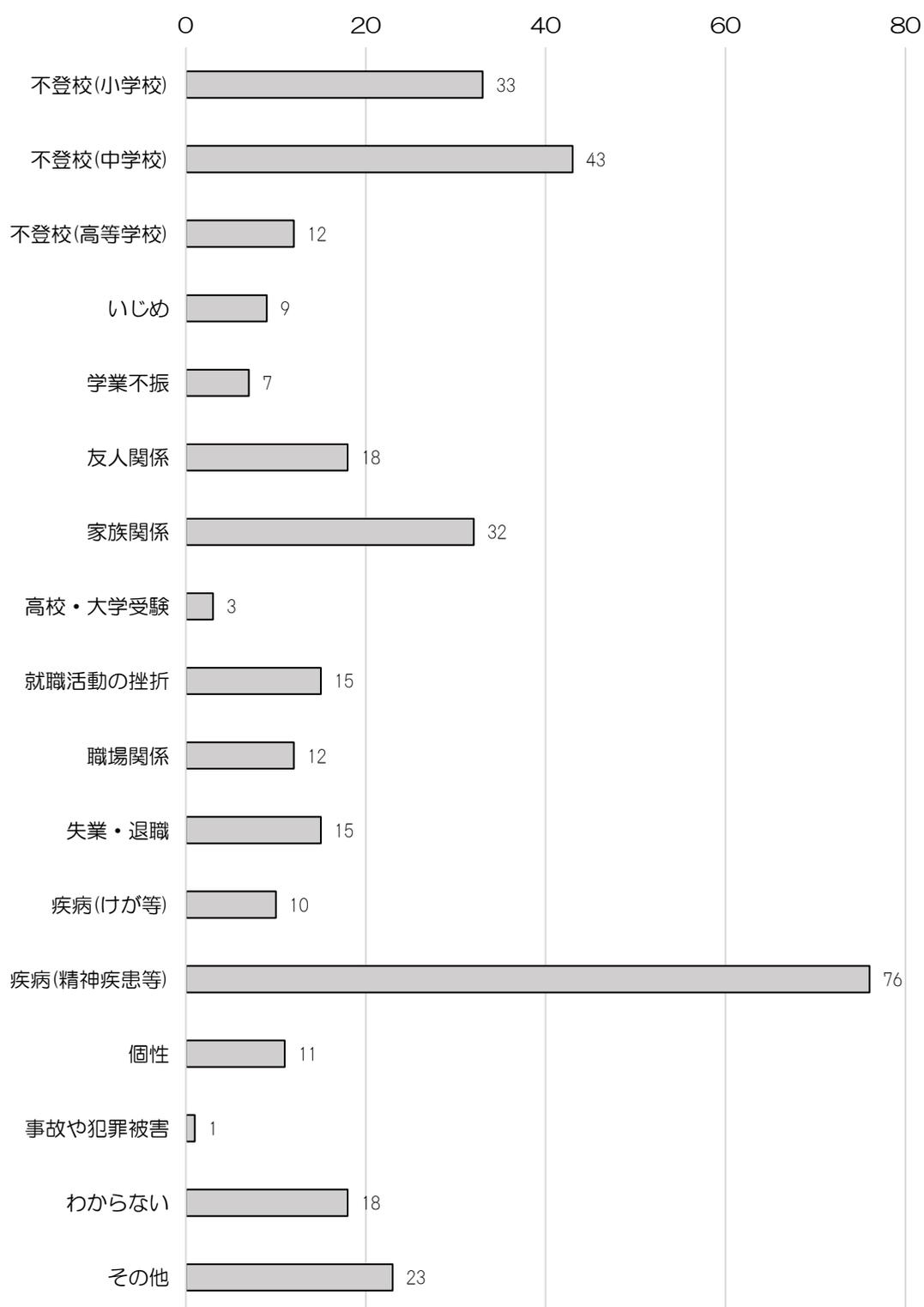
n(当事者数(問2の回答)) = 196

項目		回答数	割合※
合計		338	-
1	不登校(小学校)	33	16.8%
2	不登校(中学校)	43	21.9%
3	不登校(高等学校)	12	6.1%
4	いじめ	9	4.6%
5	学業不振	7	3.6%
6	友人関係	18	9.2%
7	家族関係	32	16.3%
8	高校・大学受験	3	1.5%
9	就職活動の挫折	15	7.7%
10	職場関係	12	6.1%
11	失業・退職	15	7.7%
12	疾病(けが等)	10	5.1%
13	疾病(精神疾患等)	76	38.8%
14	個性	11	5.6%
15	事故や犯罪被害	1	0.5%
16	わからない	18	9.2%
17	その他	23	11.7%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合

※「その他」については P 18 参照

## 3 庁内職員調査



## 3 庁内職員調査

## (7) 問題点

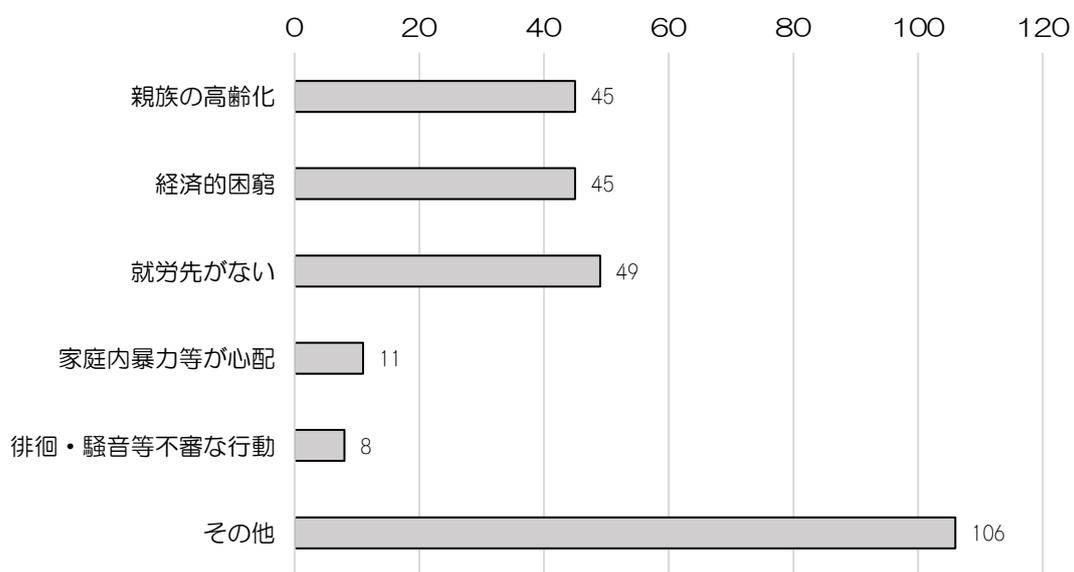
問3—6 (問2で回答した方それぞれについて) 問題点をあげるとしたら (複数回答可)

「就労先がない」が49件(28.0%)、「親族の高齢化」「経済的困窮」がそれぞれ45件(25.7%)となった。

n (当事者数(問2の回答)のうち回答があった方) = 175

項目		回答数	割合※
合計		264	-
1	親族の高齢化	45	25.7%
2	経済的困窮	45	25.7%
3	就労先がない	49	28.0%
4	家庭内暴力等が心配	11	6.3%
5	徘徊・騒音等不審な行動	8	4.6%
6	その他	106	60.6%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



## 3 庁内職員調査

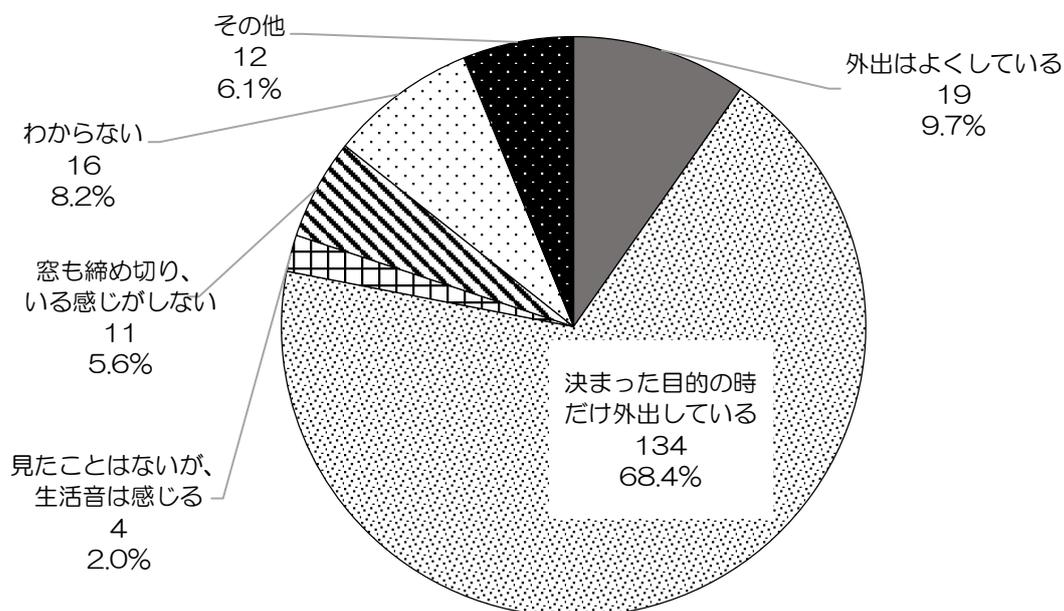
## (8) 状態

問3—7 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもり等の状態の度合い

「決まった目的の時だけ外出している」が134件(68.4%)と最も多くなった。

n (当事者数(問2の回答)) = 196

項目		回答数	割合
合計		196	100.0%
1	外出はよくしている	19	9.7%
2	決まった目的の時だけ外出している	134	68.4%
3	見たことはないが、生活音は感じる	4	2.0%
4	窓も締め切り、いる感じがしない	11	5.6%
5	わからない	16	8.2%
6	その他	12	6.1%



## 3 庁内職員調査

## (9) 関わり

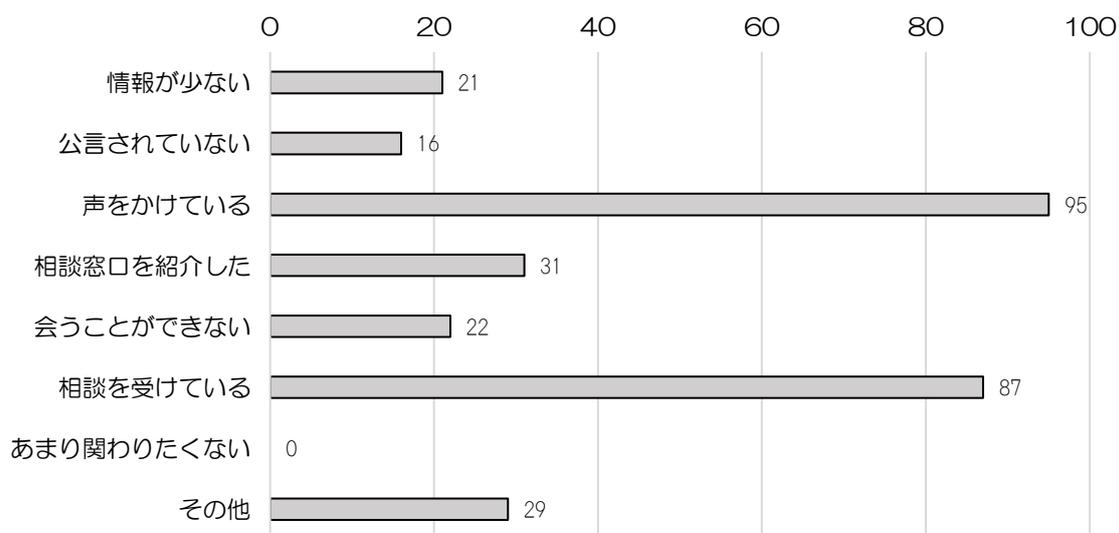
問3—8 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にある方への関わりについて  
(複数回答可)

当事者 196 名に対し、「当事者やご家族に声をかけている」が 95 件 (48.5%) と最も多く、次いで「当事者やご家族の相談を受けている」が 87 件 (44.4%)、「相談窓口を紹介したことがある」が 31 件 (15.8%)、「会うことができない」が 22 件 (11.2%)、「当事者の情報が少ない」が 21 件 (10.7%) となった。

n (当事者数(問2の回答)) = 196

項目		回答数	割合※
合計		301	-
1	当事者の情報が少ない	21	10.7%
2	公言されていないので見守りを続けている	16	8.2%
3	当事者やご家族に声をかけている	95	48.5%
4	相談窓口を紹介したことがある	31	15.8%
5	会うことができない	22	11.2%
6	当事者やご家族の相談を受けている	87	44.4%
7	あまり関わりたくない	0	0.0%
8	その他	29	14.8%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



## 3 庁内職員調査

## (10) 情報入手先

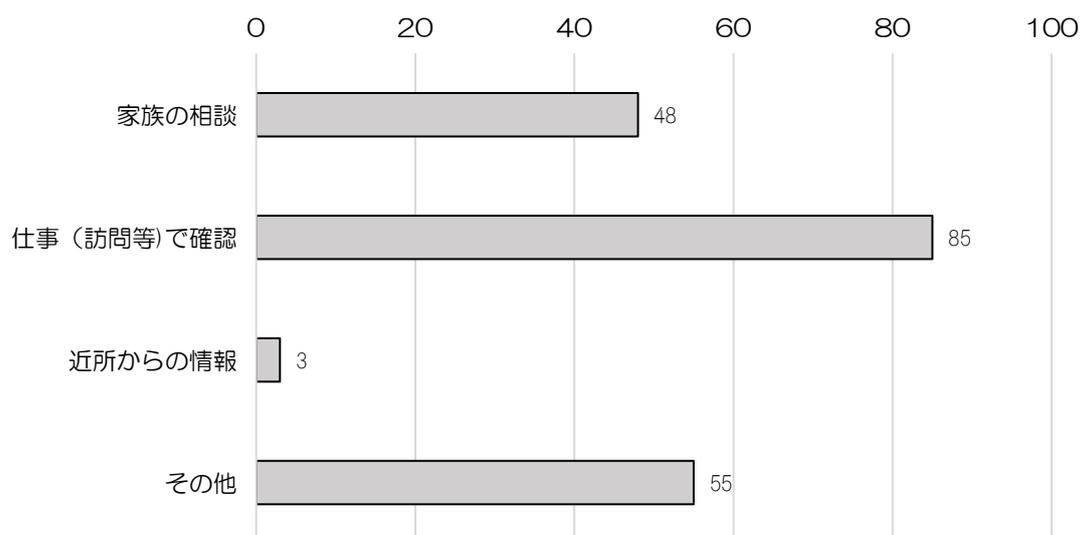
問3—9 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にある方をどこで知ったか  
(複数回答可)

「仕事(訪問等)で確認」が85件(46.7%)、「家族の相談」が48件(26.4%)となった。

n(当事者数(問2の回答)のうち回答があった方) = 182

項目		回答数	割合※
合計		191	-
1	家族の相談	48	26.4%
2	仕事(訪問等)で確認	85	46.7%
3	近所からの情報	3	1.6%
4	その他	55	30.2%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



その他：学校(6) 制度利用など

## 3 庁内職員調査

## (11) 住まい

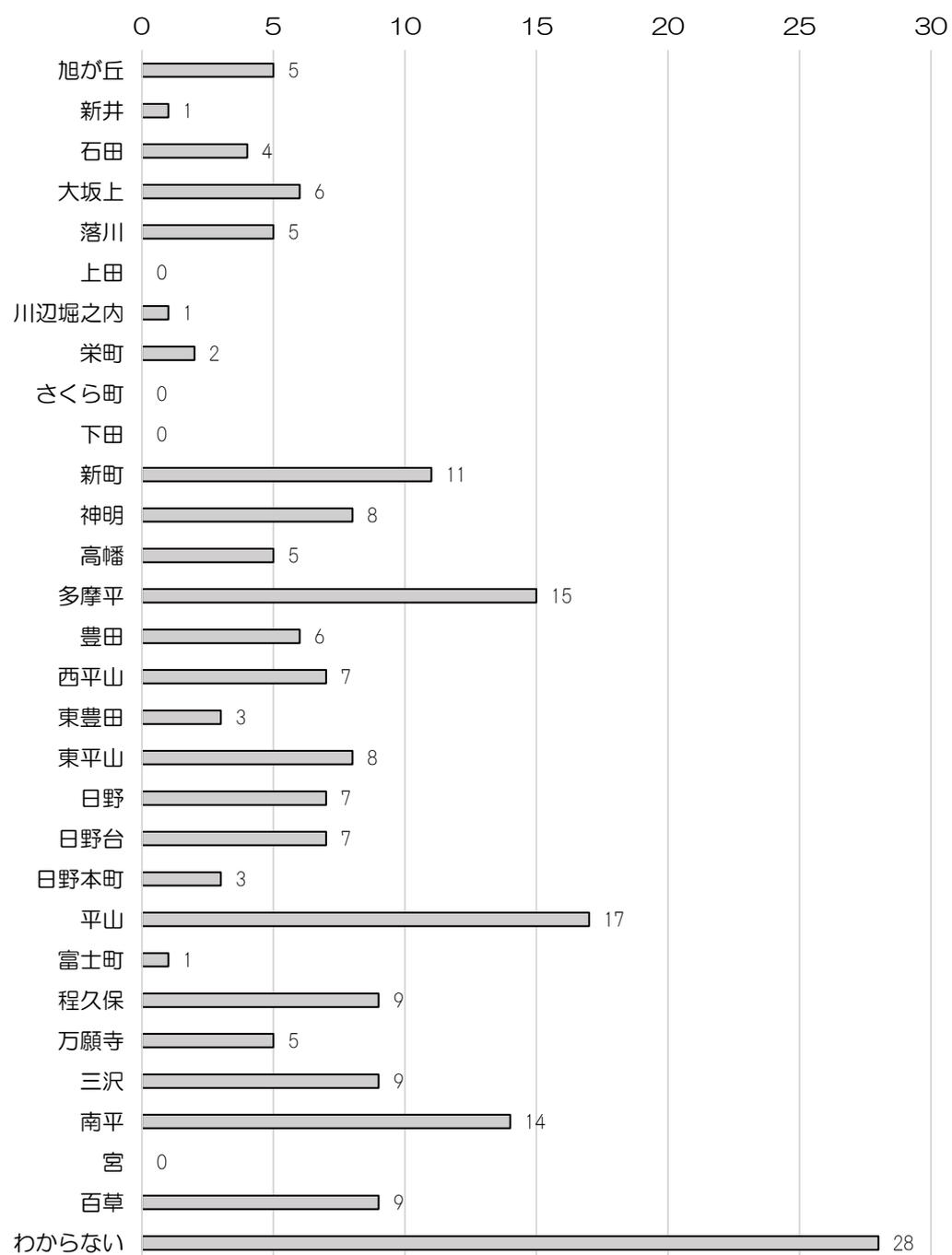
問3—10 (問2で回答した方それぞれについて) 住まいの場所

「平山」が17件(8.7%)、「多摩平」が15件(7.7%)、「南平」が14件(7.1%)、「新町」が11件(5.6%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=196

項目		回答数	割合
合計		196	100.0%
1	旭が丘	5	2.6%
2	新井	1	0.5%
3	石田	4	2.0%
4	大坂上	6	3.1%
5	落川	5	2.6%
6	上田	0	0.0%
7	川辺堀之内	1	0.5%
8	栄町	2	1.0%
9	さくら町	0	0.0%
10	下田	0	0.0%
11	新町	11	5.6%
12	神明	8	4.1%
13	高幡	5	2.6%
14	多摩平	15	7.7%
15	豊田	6	3.1%
16	西平山	7	3.6%
17	東豊田	3	1.5%
18	東平山	8	4.1%
19	日野	7	3.6%
20	日野台	7	3.6%
21	日野本町	3	1.5%
22	平山	17	8.7%
23	富士町	1	0.5%
24	程久保	9	4.6%
25	万願寺	5	2.6%
26	三沢	9	4.6%
27	南平	14	7.1%
28	宮	0	0.0%
29	百草	9	4.6%
30	わからない	28	14.3%

## 3 庁内職員調査



## 3 庁内職員調査

## (12) 自由意見

問4 「ひきこもり」についてご意見がお困りのことがあればご自由にご記入ください。

・ひきこもり相談会にて面談を実施。セクシャルマイノリティであることが判明したため、複数の視点からひきこもり対策支援を行っていく予定です。

・知的障害のあり不登校、現在はコロナが拍車をかけ登校拒否。自宅ではゲームに熱中している。

## 4 関係機関調査

## 1-4 関係機関調査

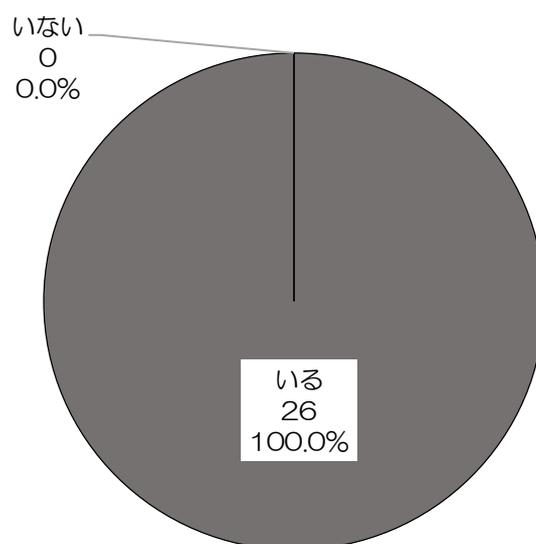
## (1) 把握の有無

問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。

「いる」が26件(100.0%)となった。

n=26

項目		回答数	割合
合計		26	100.0%
1	いる	26	100.0%
2	いない	0	0.0%



4 関係機関調査

---

(2) 人数

問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。

n (問1で「いる」と回答した方) =26

129人

## 4 関係機関調査

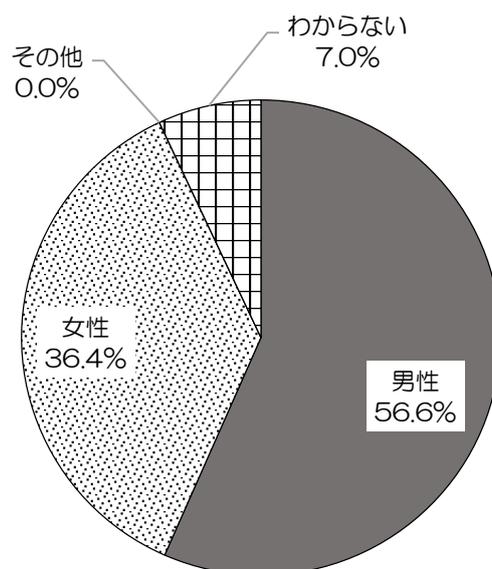
## (3) 当事者性別

問3-1 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の性別

「男性」が73件(56.6%)、「女性」が47件(36.4%)となった。

n(当事者数(問2の回答)) = 129

項目		回答数	割合
合計		129	100.0%
1	男性	73	56.6%
2	女性	47	36.4%
3	その他	0	0.0%
4	わからない	9	7.0%



4 関係機関調査

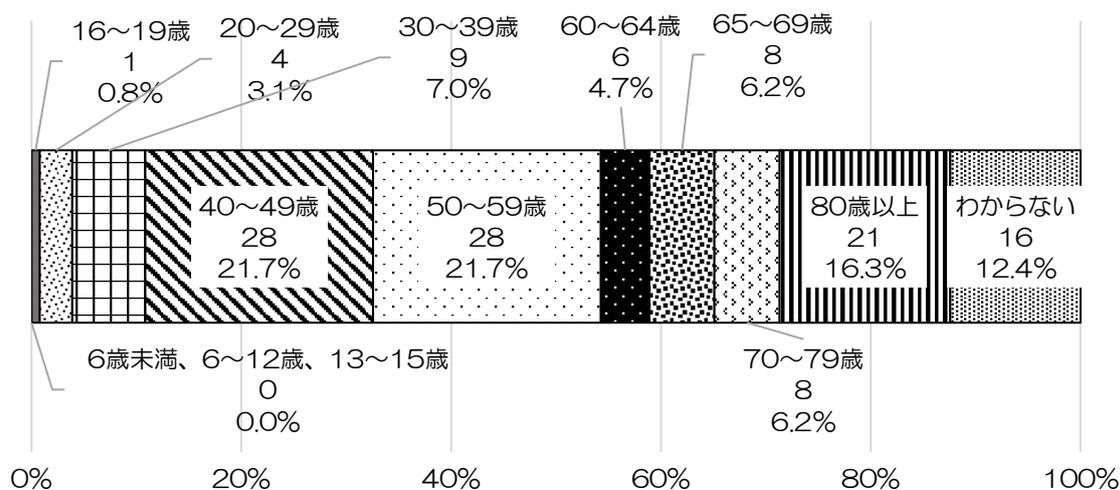
(4) 当事者年齢

問3-2 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の年代

「40～49歳」「50～59歳」がともに28件(21.7%)と最も多く、次いで「80歳以上」が21件(16.3%)となった。

n(当事者数(問2の回答)) = 129

項目		回答数	割合
合計		129	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳	0	0.0%
3	13～15歳	0	0.0%
4	16～19歳	1	0.8%
5	20～29歳	4	3.1%
6	30～39歳	9	7.0%
7	40～49歳	28	21.7%
8	50～59歳	28	21.7%
9	60～64歳	6	4.7%
10	65～69歳	8	6.2%
11	70～79歳	8	6.2%
12	80歳以上	21	16.3%
13	わからない	16	12.4%



## 4 関係機関調査

## (5) 地域

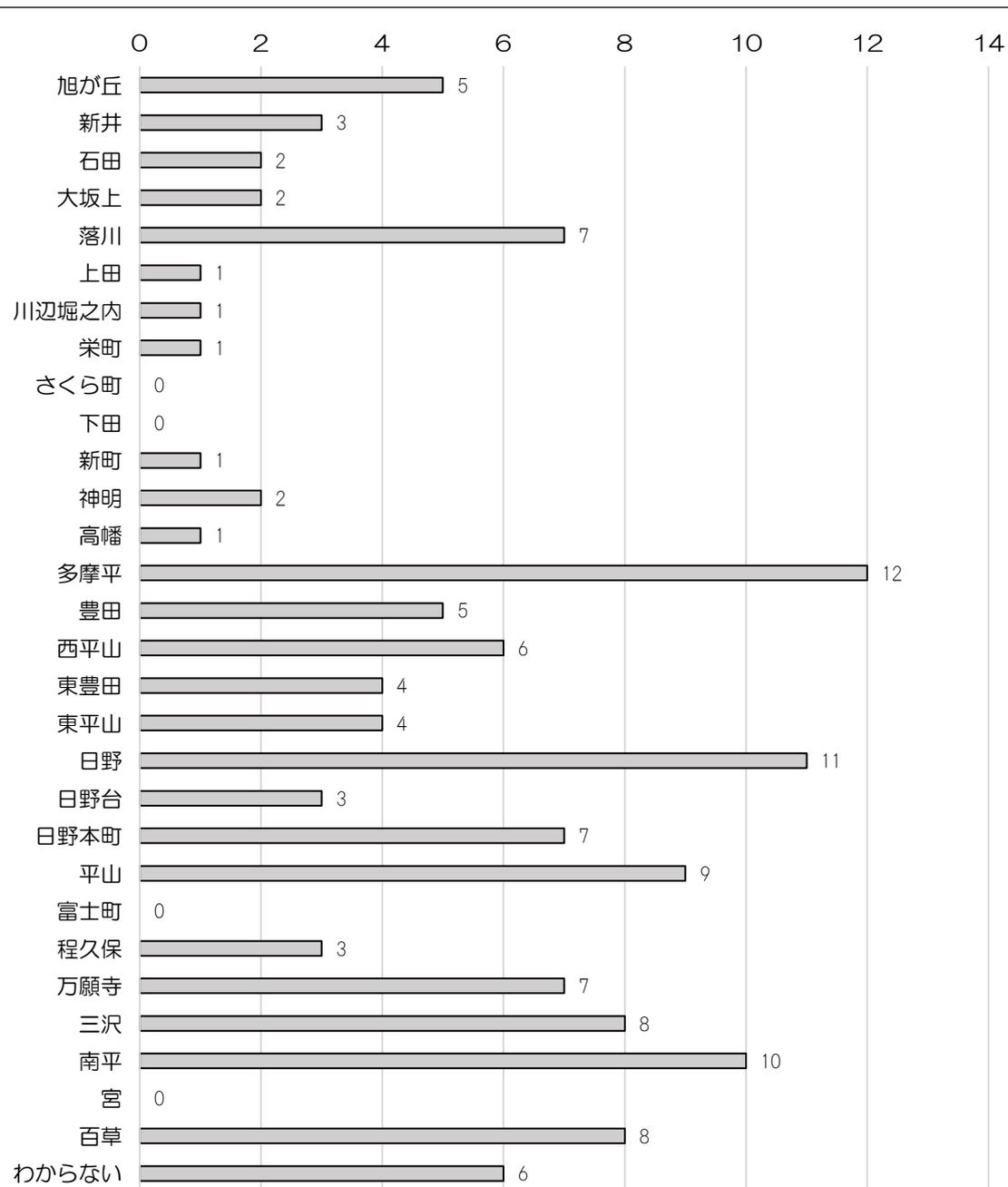
問3—3 (問2で回答した方それぞれについて) 住まいの場所

「多摩平」が12件(9.3%)と最も多く、次いで「日野」が11件(8.5%)、「南平」が10件(7.8%)、「平山」が9件(7.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=129

項目		回答数	割合
合計		129	100.0%
1	旭が丘	5	3.9%
2	新井	3	2.3%
3	石田	2	1.6%
4	大坂上	2	1.6%
5	落川	7	5.4%
6	上田	1	0.8%
7	川辺堀之内	1	0.8%
8	栄町	1	0.8%
9	さくら町	0	0.0%
10	下田	0	0.0%
11	新町	1	0.8%
12	神明	2	1.6%
13	高幡	1	0.8%
14	多摩平	12	9.3%
15	豊田	5	3.9%
16	西平山	6	4.7%
17	東豊田	4	3.1%
18	東平山	4	3.1%
19	日野	11	8.5%
20	日野台	3	2.3%
21	日野本町	7	5.4%
22	平山	9	7.0%
23	富士町	0	0.0%
24	程久保	3	2.3%
25	万願寺	7	5.4%
26	三沢	8	6.2%
27	南平	10	7.8%
28	宮	0	0.0%
29	百草	8	6.2%
30	わからない	6	4.7%

## 4 関係機関調査



## 4 関係機関調査

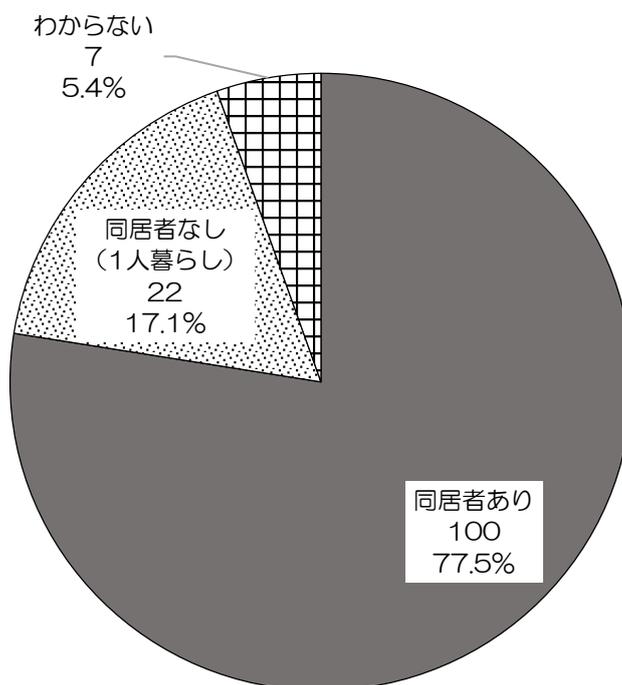
## (6) 同居家族

問3-4 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族

「同居者あり」が100件(77.5%)、「同居者なし(1人暮らし)」が22件(17.1%)となった。また、「同居者あり」と回答した100件のうち、「母」との同居が68件(68.0%)と最も多く、次いで「父」が39件(39.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答)) = 129

項目		回答数	割合
合計		129	100.0%
1	同居者あり	100	77.5%
2	同居者なし(1人暮らし)	22	17.1%
3	わからない	7	5.4%

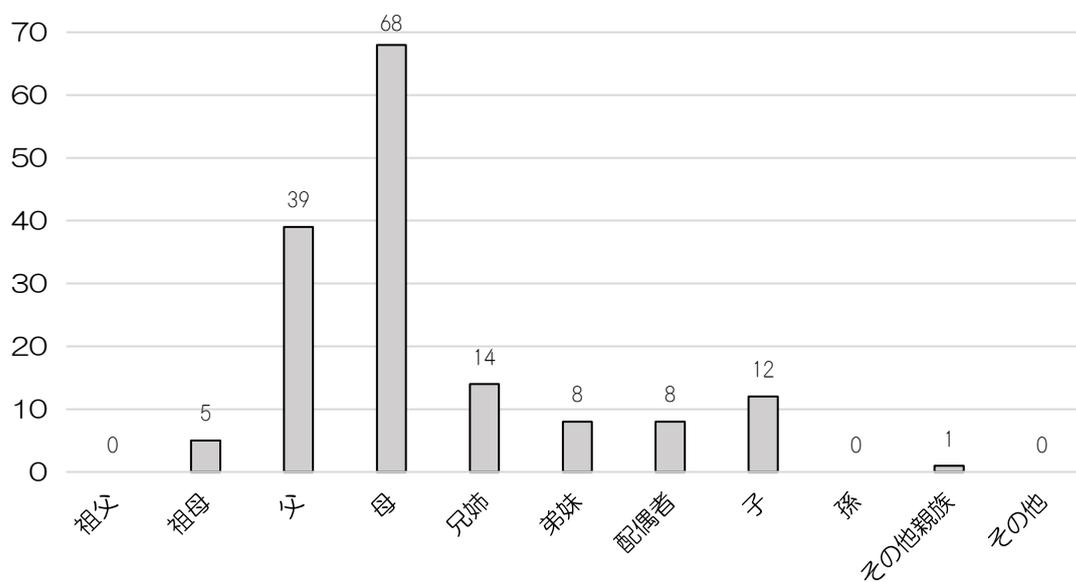


## 4 関係機関調査

n（同設問で「同居者あり」と回答した方）=100  
複数回答可

項目		回答数	割合※
合計		155	-
1	祖父	0	0.0%
2	祖母	5	5.0%
3	父	39	39.0%
4	母	68	68.0%
5	兄姉	14	14.0%
6	弟妹	8	8.0%
7	配偶者	8	8.0%
8	子	12	12.0%
9	孫	0	0.0%
10	その他親族	1	1.0%
11	その他	0	0.0%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



## 4 関係機関調査

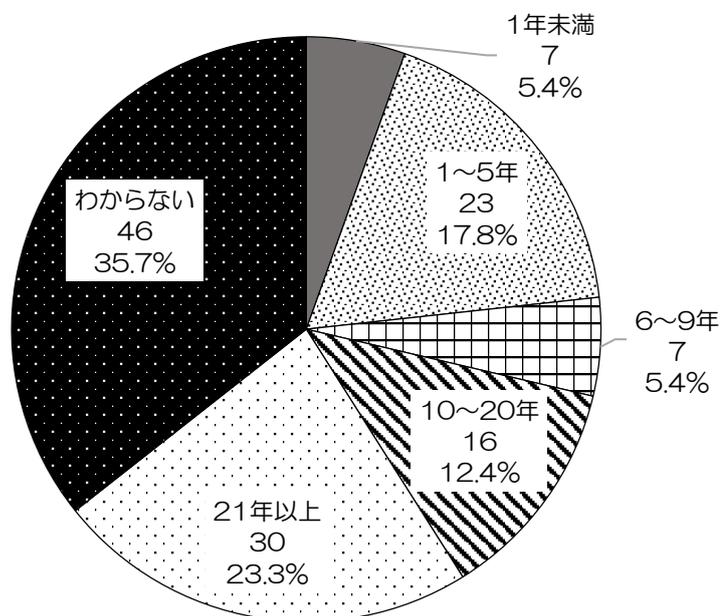
## (7) 期間

問3-5 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態の期間

「わからない」が46件(35.7%)と最も多くなった。また、「21年以上」が30件(23.3%)、「1~5年」が23件(17.8%)、「10~20年」が16件(12.4%)となった。

n(当事者数(問2の回答)) = 129

項目		回答数	割合
合計		129	100.0%
1	1年未満	7	5.4%
2	1~5年	23	17.8%
3	6~9年	7	5.4%
4	10~20年	16	12.4%
5	21年以上	30	23.3%
6	わからない	46	35.7%



## 4 関係機関調査

## (8) きっかけ

問3-6 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態になったきっかけ(複数回答可)

当事者129名に対し、「疾病(精神疾患等)」が33件(25.6%)、「疾病(けが等)」が13件(10.1%)となった。

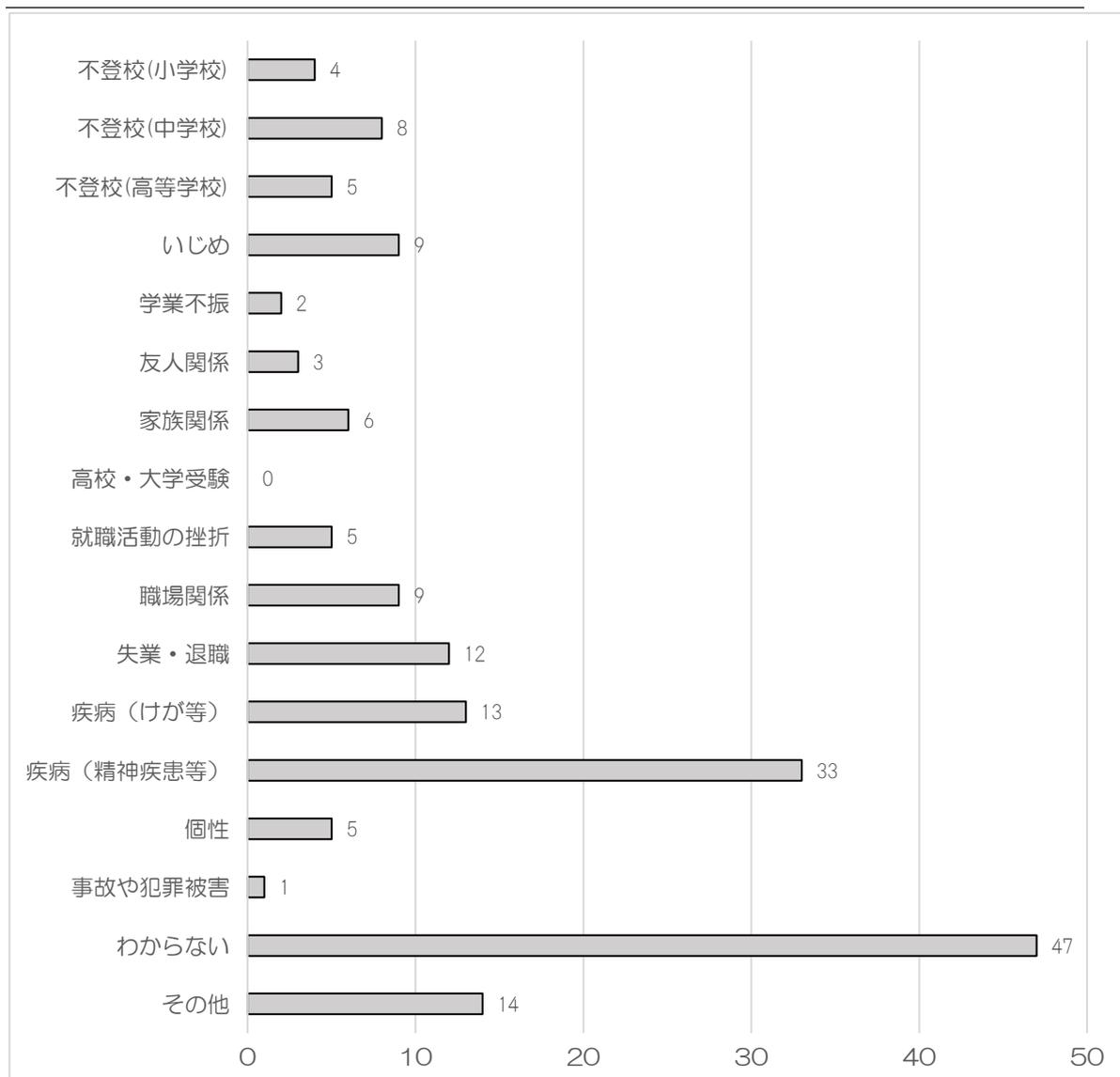
n(当事者数(問2の回答))=129

項目		回答数	割合※
合計		176	-
1	不登校(小学校)	4	3.1%
2	不登校(中学校)	8	6.2%
3	不登校(高等学校)	5	3.9%
4	いじめ	9	7.0%
5	学業不振	2	1.6%
6	友人関係	3	2.3%
7	家族関係	6	4.7%
8	高校・大学受験	0	0.0%
9	就職活動の挫折	5	3.9%
10	職場関係	9	7.0%
11	失業・退職	12	9.3%
12	疾病(けが等)	13	10.1%
13	疾病(精神疾患等)	33	25.6%
14	個性	5	3.9%
15	事故や犯罪被害	1	0.8%
16	わからない	47	36.4%
17	その他	14	10.9%

※n値のうち、選択肢を回答した割合

その他：友人の自死(1)、ネグレクト(1)、新型コロナウイルス感染症の影響によるデイサービスの終了(2)、ギャンブルによる借金の取り立て(1)

## 4 関係機関調査



## 4 関係機関調査

## (9) 問題点

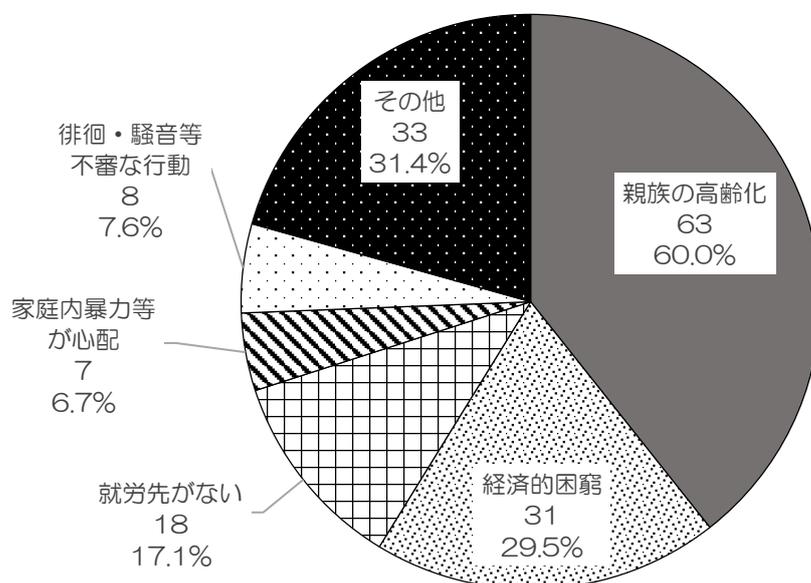
問3—7 (問2で回答した方それぞれについて) 問題点をあげるとしたら (複数回答可)

回答のあった105件のうち、「親族の高齢化」が63件(60.0%)と最も多く、次いで「わからない」が33件(31.4%)、「経済的困窮」が31件(29.5%)、「就労先がない」が18件(17.1%)となった。

n (当事者数(問2の回答)のうち回答があった方) = 105

項目		回答数	割合※
合計		160	-
1	親族の高齢化	63	60.0%
2	経済的困窮	31	29.5%
3	就労先がない	18	17.1%
4	家庭内暴力等が心配	7	6.7%
5	徘徊・騒音等不審な行動	8	7.6%
6	その他	33	31.4%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



その他：家族の無関心（1）、当事者が階段昇降ができない（1）、介護サービスの拒否（1）、社会とのかかわりの拒否（1）

## 4 関係機関調査

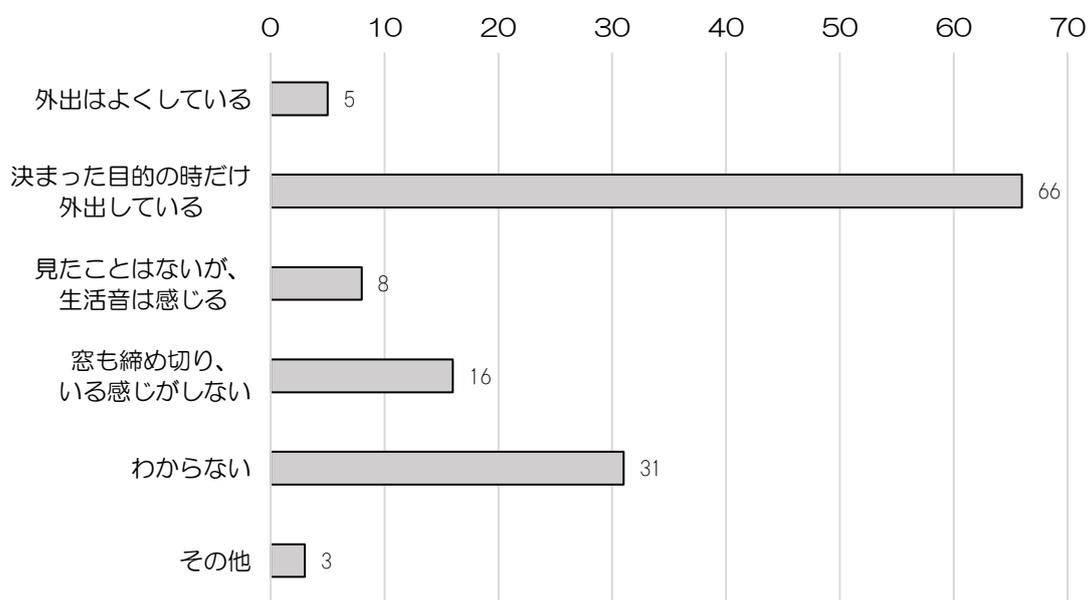
## (10) 度合い

問3—8 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態の度合い

「決まった目的の時だけ外出している」が66件(51.2%)と最も多く、次いで「わからない」が31件(24.0%)、「窓も締め切り、いる感じがしない」が16件(12.4%)となっている。

n(当事者数(問2の回答))=129

項目		回答数	割合
合計		129	100.0%
1	外出はよくしている	5	3.9%
2	決まった目的の時だけ外出している	66	51.2%
3	見たことはないが、生活音は感じる	8	6.2%
4	窓も締め切り、いる感じがしない	16	12.4%
5	わからない	31	24.0%
6	その他	3	2.3%



## 4 関係機関調査

## (11) 関わり

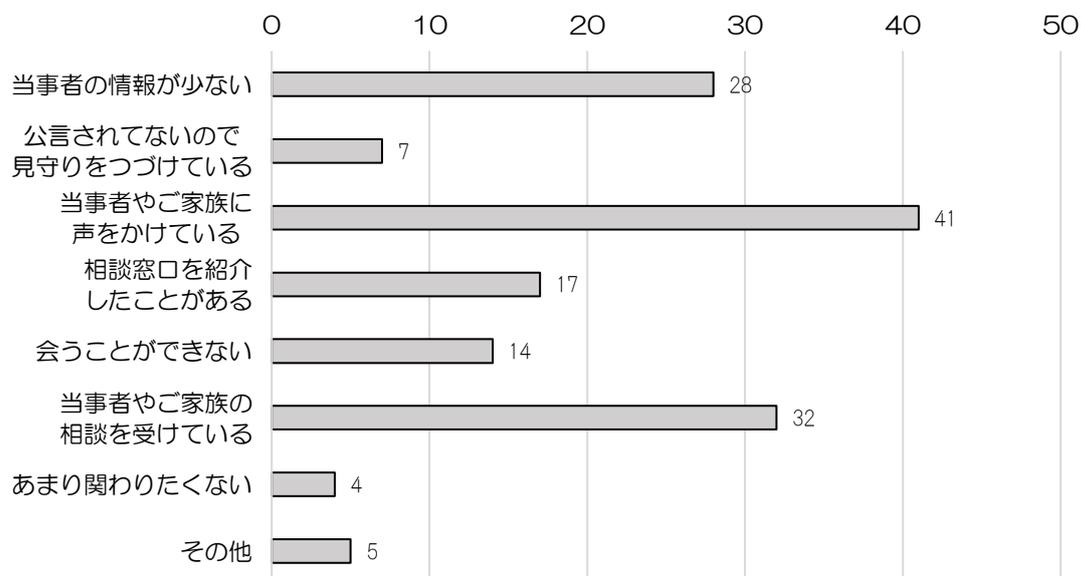
問3—9 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にある方への関わりについて  
(複数回答可)

「当事者やご家族に声をかけている」が41件(38.0%)と最も多く、「当事者やご家族の相談を受けている」が32件(29.6%)、「当事者の情報が少ない」が28件(25.9%)となった。

n (当事者数(問2の回答)のうち回答があった方) = 108

項目		回答数	割合※
合計		148	-
1	当事者の情報が少ない	28	25.9%
2	公言されてないので見守りをつづけている	7	6.5%
3	当事者やご家族に声をかけている	41	38.0%
4	相談窓口を紹介したことがある	17	15.7%
5	会うことができない	14	13.0%
6	当事者やご家族の相談を受けている	32	29.6%
7	あまり関わりたくない	4	3.7%
8	その他	5	4.6%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



## 4 関係機関調査

## (12) 情報入手先

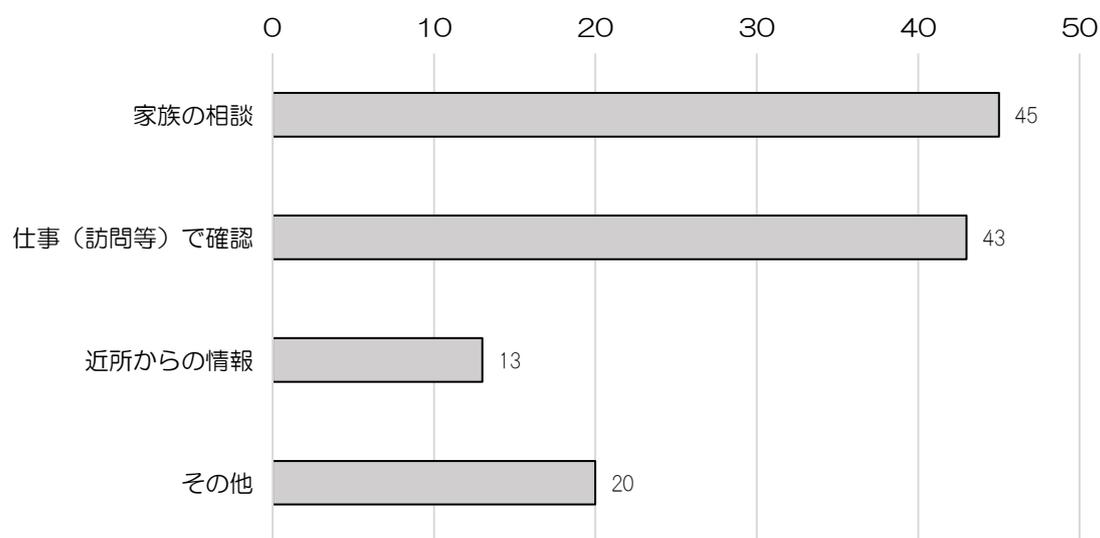
問3—10 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にある方をどこで知ったか  
(複数回答可)

回答のあった117件のうち、「家族の相談」が45件(38.5%)と最も多く、  
次いで「仕事(訪問等)で確認」が43件(36.8%)となった。

n(当事者数(問2の回答)のうち回答があった方)=117

項目		回答数	割合※
合計		121	-
1	家族の相談	45	38.5%
2	仕事(訪問等)で確認	43	36.8%
3	近所からの情報	13	11.1%
4	その他	20	17.1%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



その他：病院(1)、友人(1)、訪問事業所(1)

## 4 関係機関調査

## (13) 自由意見

問4 「ひきこもり」についてお困りのことやご意見などがございましたらご自由にご記入ください。

- |  |
|--|
| <p>・もともと一人暮らしに対して不安を感じていた高齢者が、コロナ禍により外出することへの恐怖を感じて以前にも増して外出をしなくなっている。</p>   |
| <p>・介護保険でご両親と関わるようになり実態を把握することが多いです。経済的な問題は親の年金で暮らしているので問題は今のところない。</p>  |
| <p>・直接家族からの相談は無く、ご家族のプライドも考えて、あえて触れないように配慮している。</p>  |
| <p>・コロナ感染症予防のため外出機会が減り、必要最低限の外出しかされない高齢者が増えています。中にはご家族や主治医から外出を控えるように言われ、結果筋力低下によって転倒や生活に支障をきたすこともあります。コロナ前と比較してひきこもり傾向にあるか、という視点で見ると人数はもっと増えてきます。</p> |
| <p>・老朽化の家でお風呂と洗濯機が壊れている。清潔保持のためにもお風呂と洗濯機が新しくされると良い。ペットの多頭飼育。健康状態不明。</p>  |

## 5 相談機関調査

## 1-5 相談機関調査

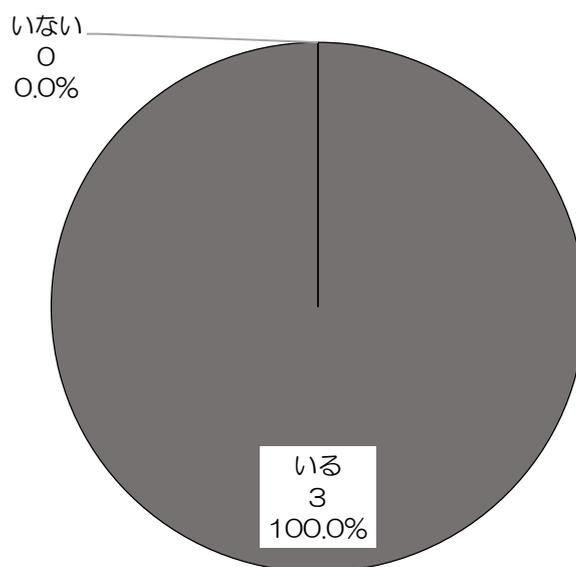
## (1) 把握の有無

問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。

「いる」が3件（100.0%）となった。

n = 3

	項目	回答数	割合
	合計	3	100.0%
1	いる	3	100.0%
2	いない	0	0.0%



5 相談機関調査

---

(2) 人数

問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。

n (問1で「いる」と回答した方) =3

158人

## 5 相談機関調査

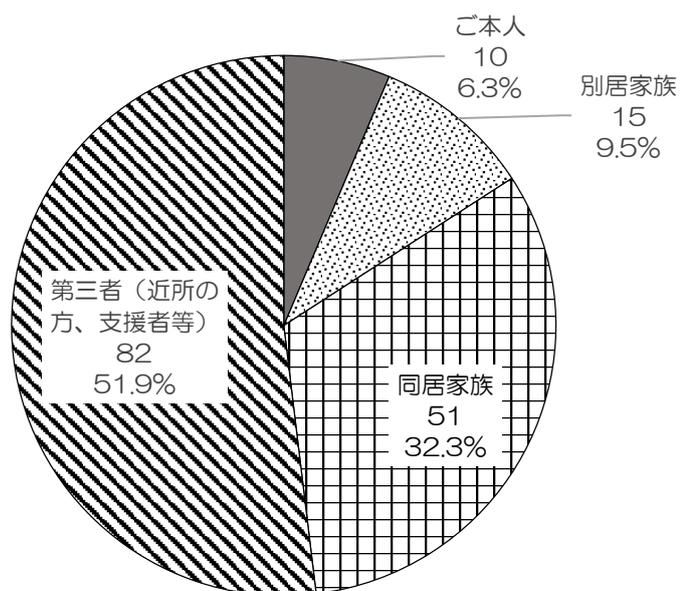
## (3) 相談の入り口

## 問3-1 相談の入り口は

「第三者（近所の方、支援者等）」が82件（51.9%）と最も多く、次いで「同居家族」が51件（32.3%）となった。

n（当事者数(問2の回答)）=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	ご本人	10	6.3%
2	別居家族	15	9.5%
3	同居家族	51	32.3%
4	第三者（近所の方、支援者等）	82	51.9%



## 5 相談機関調査

## (4) 当事者性別

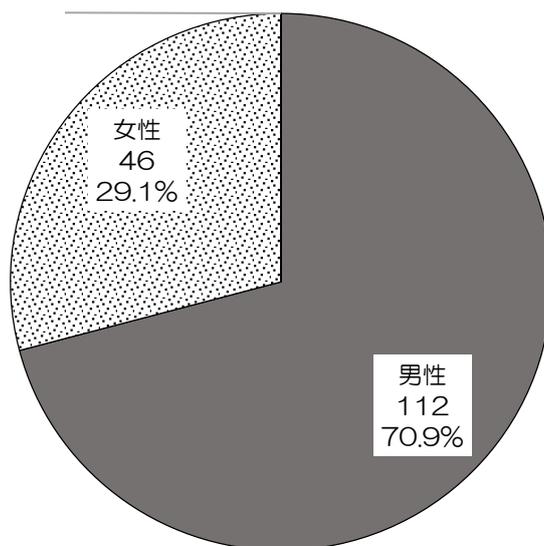
問3-2 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の性別

「男性」が112件(70.9%)、「女性」が46件(29.1%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	男性	112	70.9%
2	女性	46	29.1%
3	その他	0	0.0%
4	わからない	0	0.0%

その他、わからない  
0  
0.0%



## 5 相談機関調査

## (5) 当事者年齢

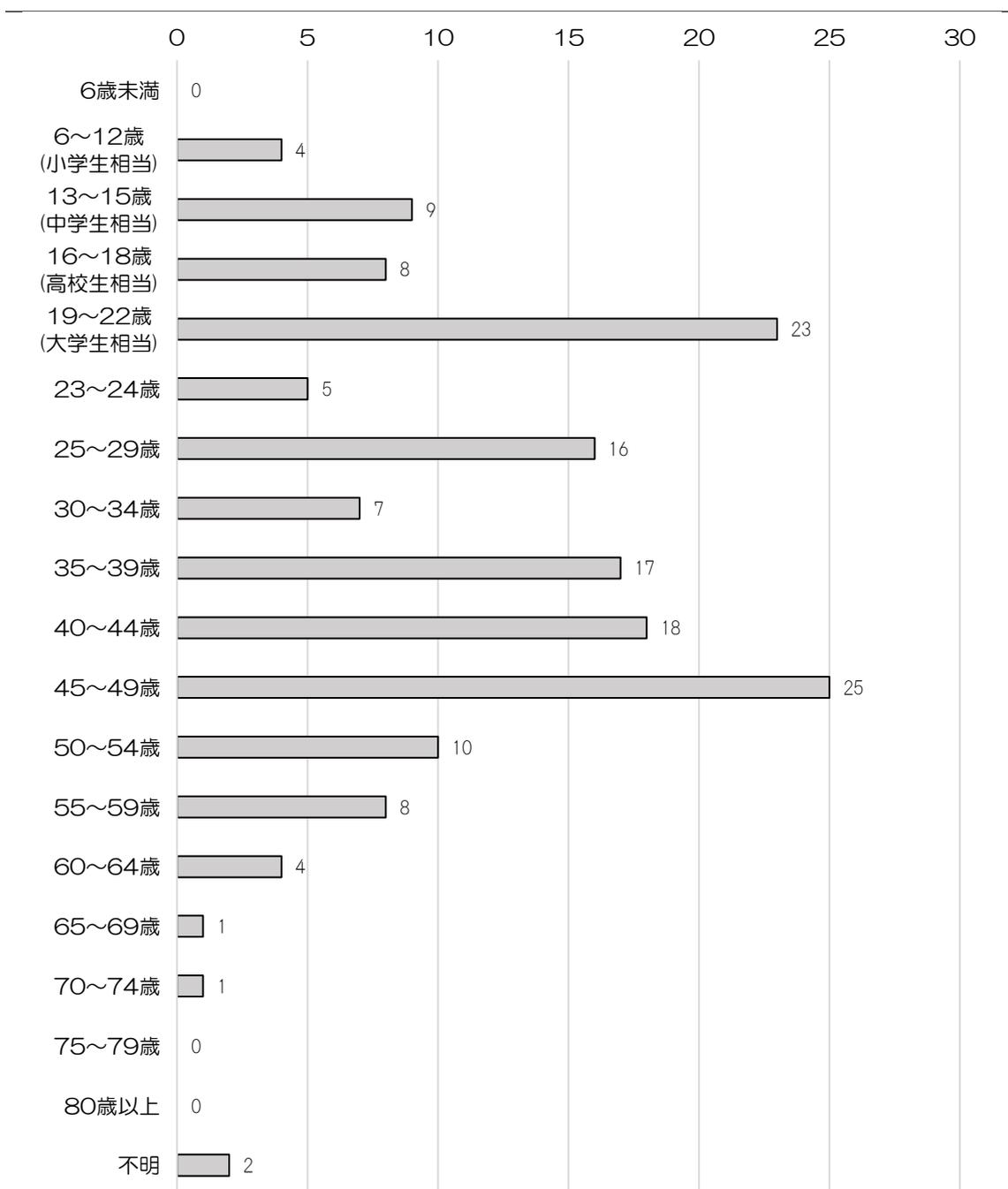
問3-3 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の年代

「45～49歳」が25件(15.8%)と最も多く、ついで「19～22歳(大学生相当)」が23件(14.6%)、「40～44歳」が18件(11.4%)、「35～39歳」が17件(10.8%)、「25～29歳」が16件(10.1%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	6歳未満	0	0.0%
2	6～12歳(小学生相当)	4	2.5%
3	13～15歳(中学生相当)	9	5.7%
4	16～18歳(高校生相当)	8	5.1%
5	19～22歳(大学生相当)	23	14.6%
6	23～24歳	5	3.2%
7	25～29歳	16	10.1%
8	30～34歳	7	4.4%
9	35～39歳	17	10.8%
10	40～44歳	18	11.4%
11	45～49歳	25	15.8%
12	50～54歳	10	6.3%
13	55～59歳	8	5.1%
14	60～64歳	4	2.5%
15	65～69歳	1	0.6%
16	70～74歳	1	0.6%
17	75～79歳	0	0.0%
18	80歳以上	0	0.0%
19	わからない	2	1.3%

## 5 相談機関調査



## 5 相談機関調査

## (6) 地域

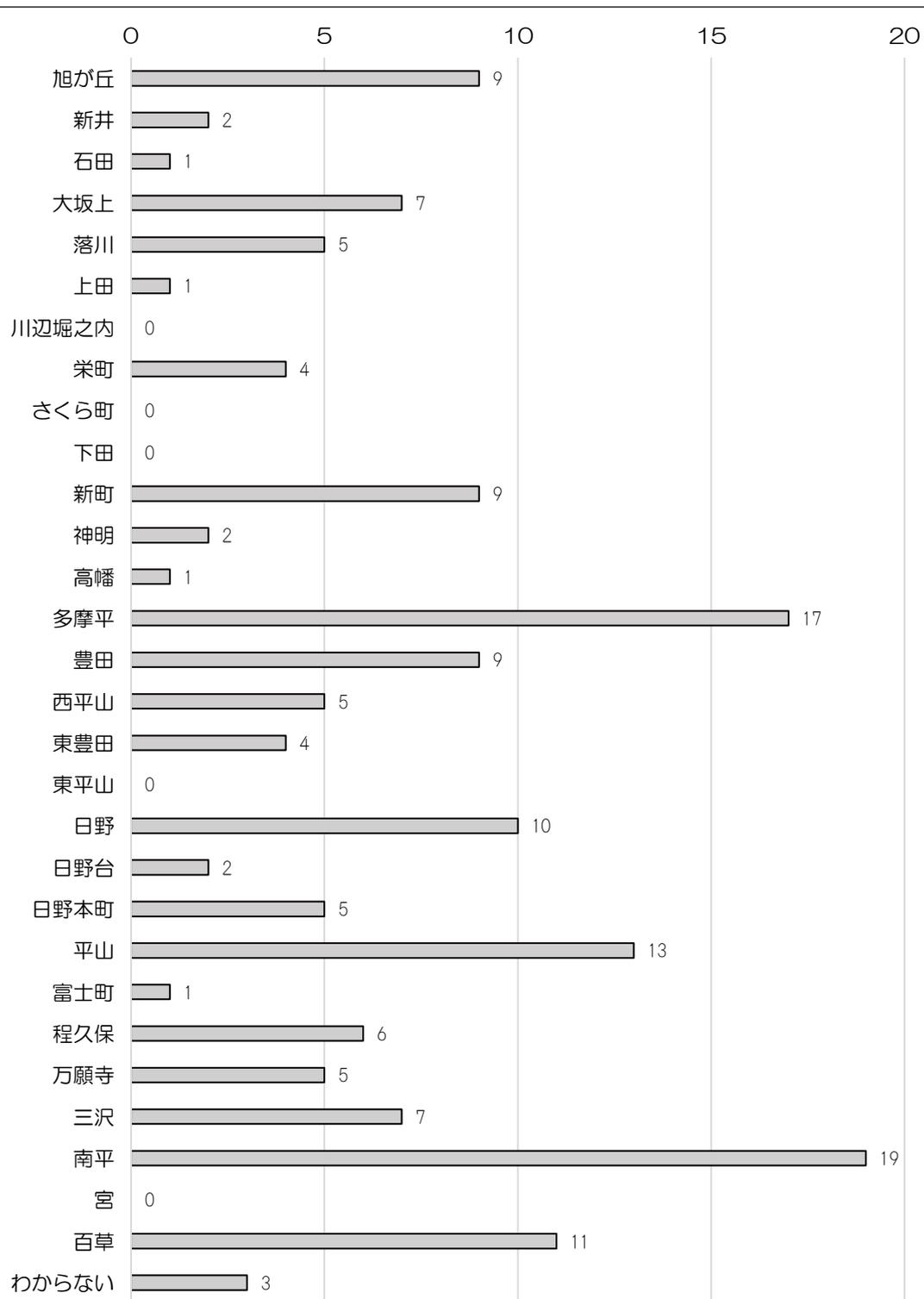
問3—4 (問2で回答した方それぞれについて) 住まいの場所

「南平」が19件(12.0%)と最も多く、次いで「多摩平」が17件(10.8%)、「平山」が13件(8.2%)、「百草」が11件(7.0%)、「日野」が10件(6.3%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	旭が丘	9	5.7%
2	新井	2	1.3%
3	石田	1	0.6%
4	大坂上	7	4.4%
5	落川	5	3.2%
6	上田	1	0.6%
7	川辺堀之内	0	0.0%
8	栄町	4	2.5%
9	さくら町	0	0.0%
10	下田	0	0.0%
11	新町	9	5.7%
12	神明	2	1.3%
13	高幡	1	0.6%
14	多摩平	17	10.8%
15	豊田	9	5.7%
16	西平山	5	3.2%
17	東豊田	4	2.5%
18	東平山	0	0.0%
19	日野	10	6.3%
20	日野台	2	1.3%
21	日野本町	5	3.2%
22	平山	13	8.2%
23	富士町	1	0.6%
24	程久保	6	3.8%
25	万願寺	5	3.2%
26	三沢	7	4.4%
27	南平	19	12.0%
28	宮	0	0.0%
29	百草	11	7.0%
30	わからない	3	1.9%

## 5 相談機関調査



## 5 相談機関調査

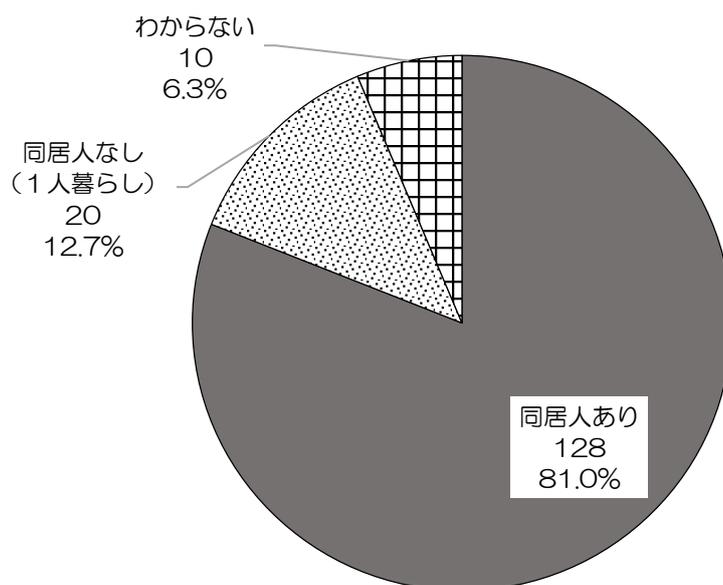
## (7) 同居家族

問3-5 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族

「同居人あり」が128件(81.0%)、「同居人なし(1人暮らし)」が20件(12.7%)となった。また、「同居あり」の128件のうち「母」と同居が117件(91.4%)と最も多く、次いで「父」が67件(52.3%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	同居人あり	128	81.0%
2	同居人なし(1人暮らし)	20	12.7%
3	わからない	10	6.3%

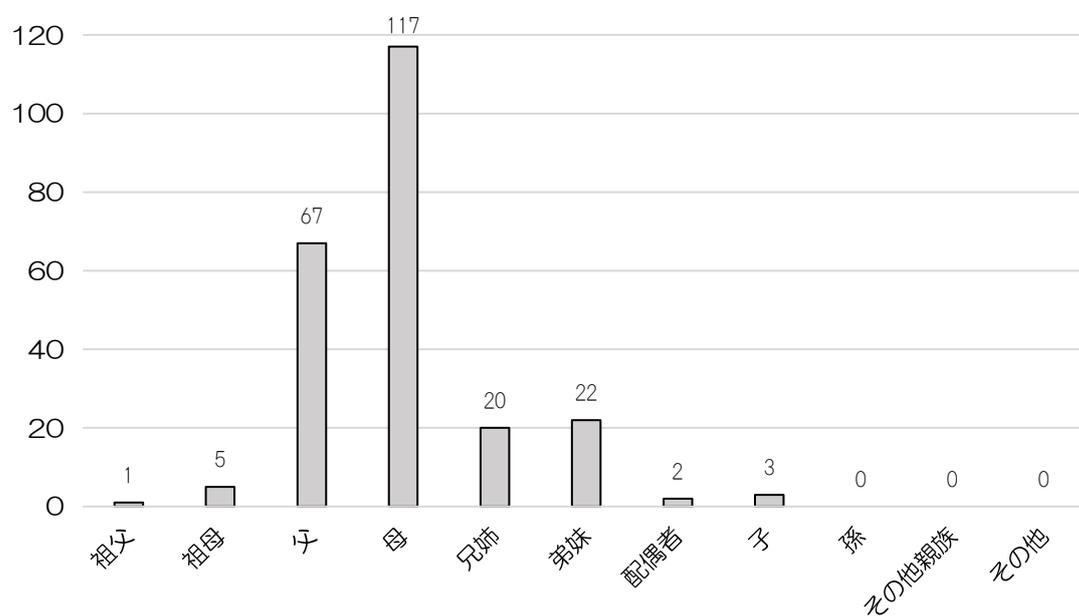


## 5 相談機関調査

n（同設問で「同居者あり」と回答した方）=128

複数回答可

項目		回答数	割合※
合計		237	-
1	祖父	1	0.8%
2	祖母	5	3.9%
3	父	67	52.3%
4	母	117	91.4%
5	兄姉	20	15.6%
6	弟妹	22	17.2%
7	配偶者	2	1.6%
8	子	3	2.3%
9	孫	0	0.0%
10	その他親族	0	0.0%
11	その他	0	0.0%



## 5 相談機関調査

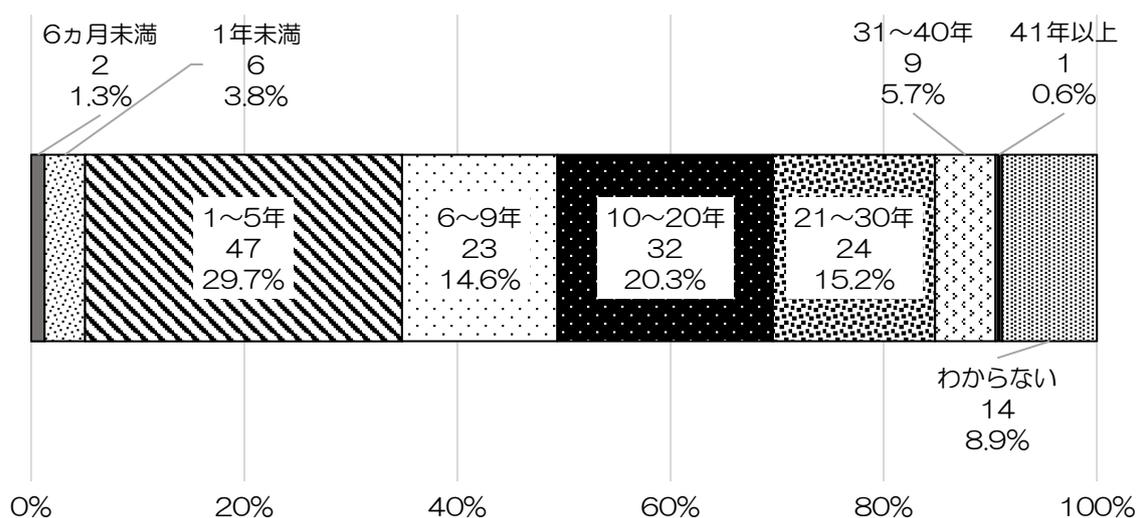
## (8) 期間

問3-6 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態の期間

「1～5年」が47件(29.7%)と最も多く、次いで「10～20年」が32件(20.3%)、「21～30年」が24件(15.2%)、「6～9年」が23件(14.6%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	6ヵ月未満	2	1.3%
2	1年未満	6	3.8%
3	1～5年	47	29.7%
4	6～9年	23	14.6%
5	10～20年	32	20.3%
6	21～30年	24	15.2%
7	31～40年	9	5.7%
8	41年以上	1	0.6%
9	わからない	14	8.9%



## 5 相談機関調査

## (9) きっかけ

問3-7 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもりの状態になったきっかけ(複数回答可)

当事者158名のうち、「家族関係」が57件と最も多く、次いで「疾病(精神疾患等)」が50件(31.6%)、「失業・退職」が31件(19.6%)となった。

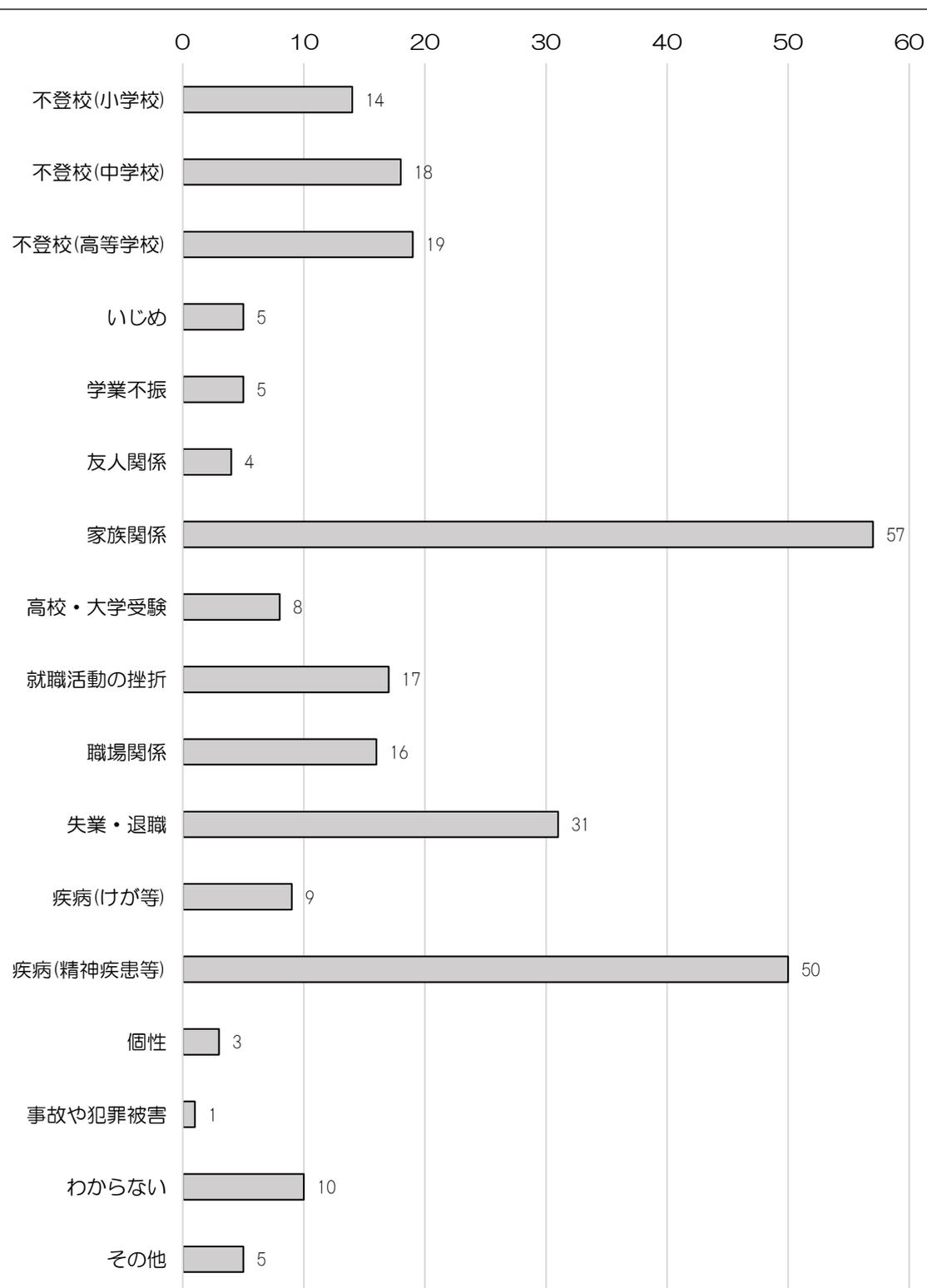
n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合※
合計		272	-
1	不登校(小学校)	14	8.9%
2	不登校(中学校)	18	11.4%
3	不登校(高等学校)	19	12.0%
4	いじめ	5	3.2%
5	学業不振	5	3.2%
6	友人関係	4	2.5%
7	家族関係	57	36.1%
8	高校・大学受験	8	5.1%
9	就職活動の挫折	17	10.8%
10	職場関係	16	10.1%
11	失業・退職	31	19.6%
12	疾病(けが等)	9	5.7%
13	疾病(精神疾患等)	50	31.6%
14	個性	3	1.9%
15	事故や犯罪被害	1	0.6%
16	わからない	10	6.3%
17	その他	5	3.2%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合

その他：離婚(1)、親族との死別(1)、飲酒問題(1)

## 5 相談機関調査



## 5 相談機関調査

## (10) 問題点

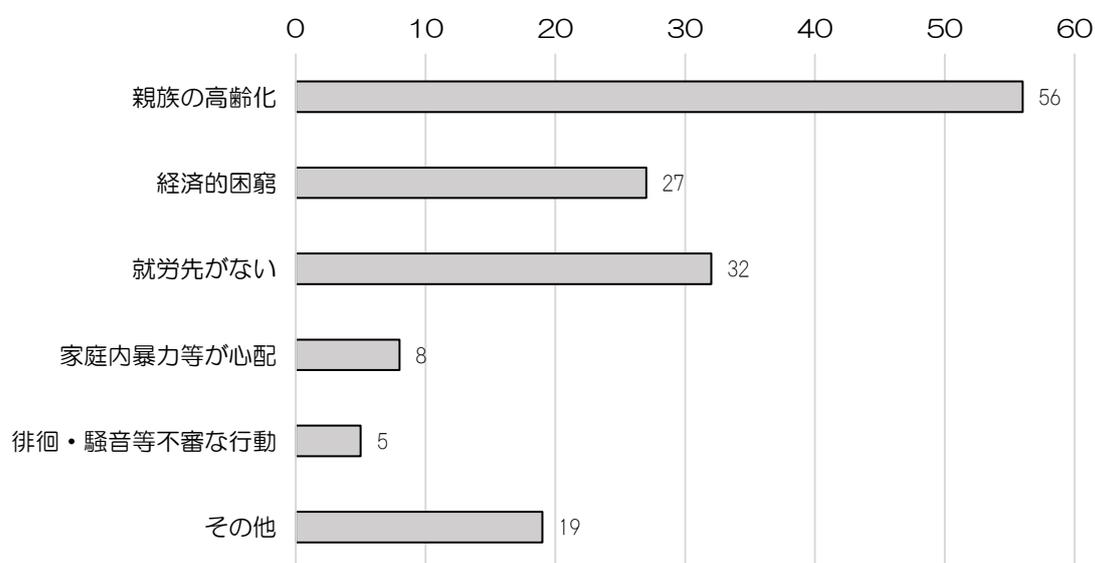
問3—8 (問2で回答した方それぞれについて) 問題点をあげるとしたら(複数回答可)

「親族の高齢化」が56件と最も多く、次いで「就労先がない」が32件、「経済的困窮」が27件となった。

n = 不明

項目		回答数	割合※
合計		147	-
1	親族の高齢化	56	-
2	経済的困窮	27	-
3	就労先がない	32	-
4	家庭内暴力等が心配	8	-
5	徘徊・騒音等不審な行動	5	-
6	その他	19	-

※設問の構造上、n値不明のため計算不可



その他：家族との和解が期待できない状況(1)、ひきこもりそのものが問題(1)、健康問題(1)

## 5 相談機関調査

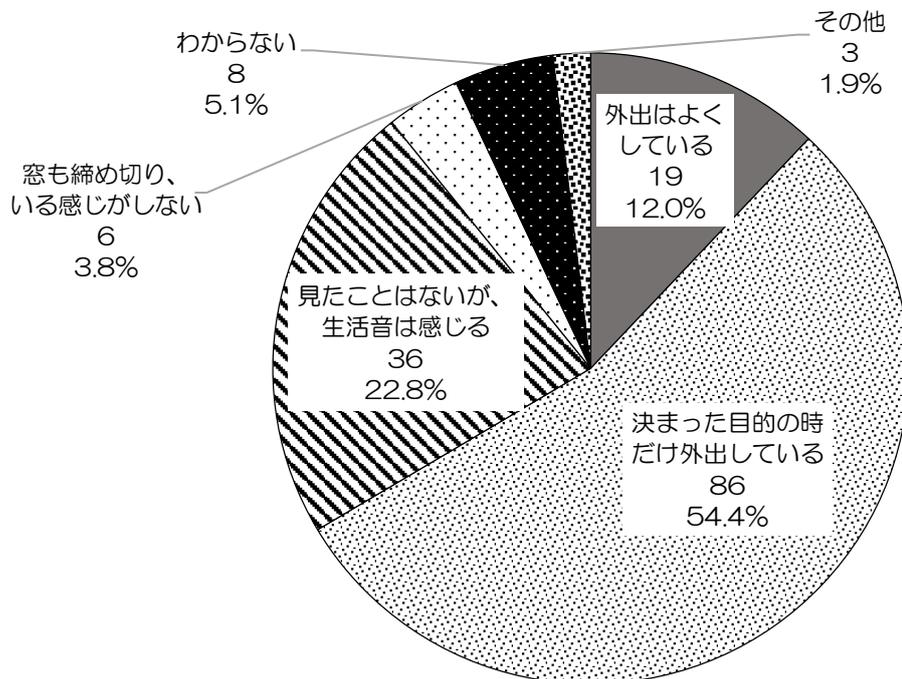
## (11) 度合い

問3—9 (問2で回答した方それぞれについて) ひきこもり等の状態の度合い

「決まった目的の時だけ外出している」が86件(54.4%)と最も多く、次いで「見たことはないが、生活音は感じる」が36件(22.8%)、「外出はよくしている」が19件(12.0%)となった。

n(当事者数(問2の回答))=158

項目		回答数	割合
合計		158	100.0%
1	外出はよくしている	19	12.0%
2	決まった目的の時だけ外出している	86	54.4%
3	見たことはないが、生活音は感じる	36	22.8%
4	窓も締め切り、いる感じがしない	6	3.8%
5	わからない	8	5.1%
6	その他	3	1.9%



その他：面談、医療機関等同行、就労先開拓、福祉支援機関同行、手紙、家族・関係者からの連絡ボランティア活動の提供、バイト先の提供

## 5 相談機関調査

## (12) アプローチ方法

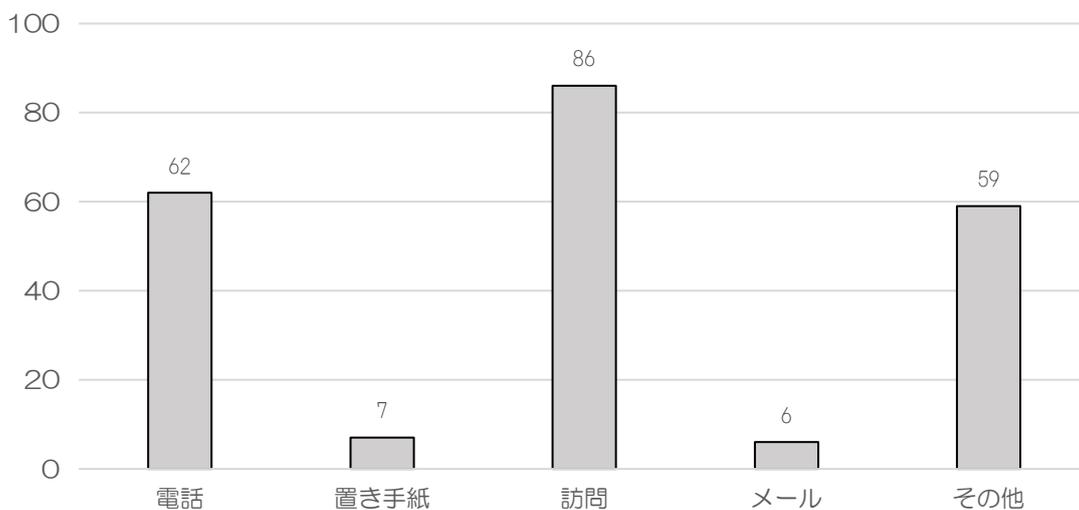
問3-10 (問2で回答した方それぞれについて) どのようなアプローチをこころみたか (複数回答可)

当事者 158 名に対し、「訪問」が 86 件 (54.4%)、「電話」が 62 件 (39.2%) となった。

n (当事者数(問2の回答)) = 158

項目		回答数	割合※
合計		220	-
1	電話	62	39.2%
2	置き手紙	7	4.4%
3	訪問	86	54.4%
4	メール	6	3.8%
5	その他	59	37.3%

※ n 値のうち、選択肢を回答した割合



その他：まったく外出しない

## 5 相談機関調査

## (13) 紹介した機関

問3—11 (問2で回答した方それぞれについて) 紹介した機関 (複数回答可)

「医療機関」が24件、「市役所(セーフティネットコールセンター)」が23件となった。

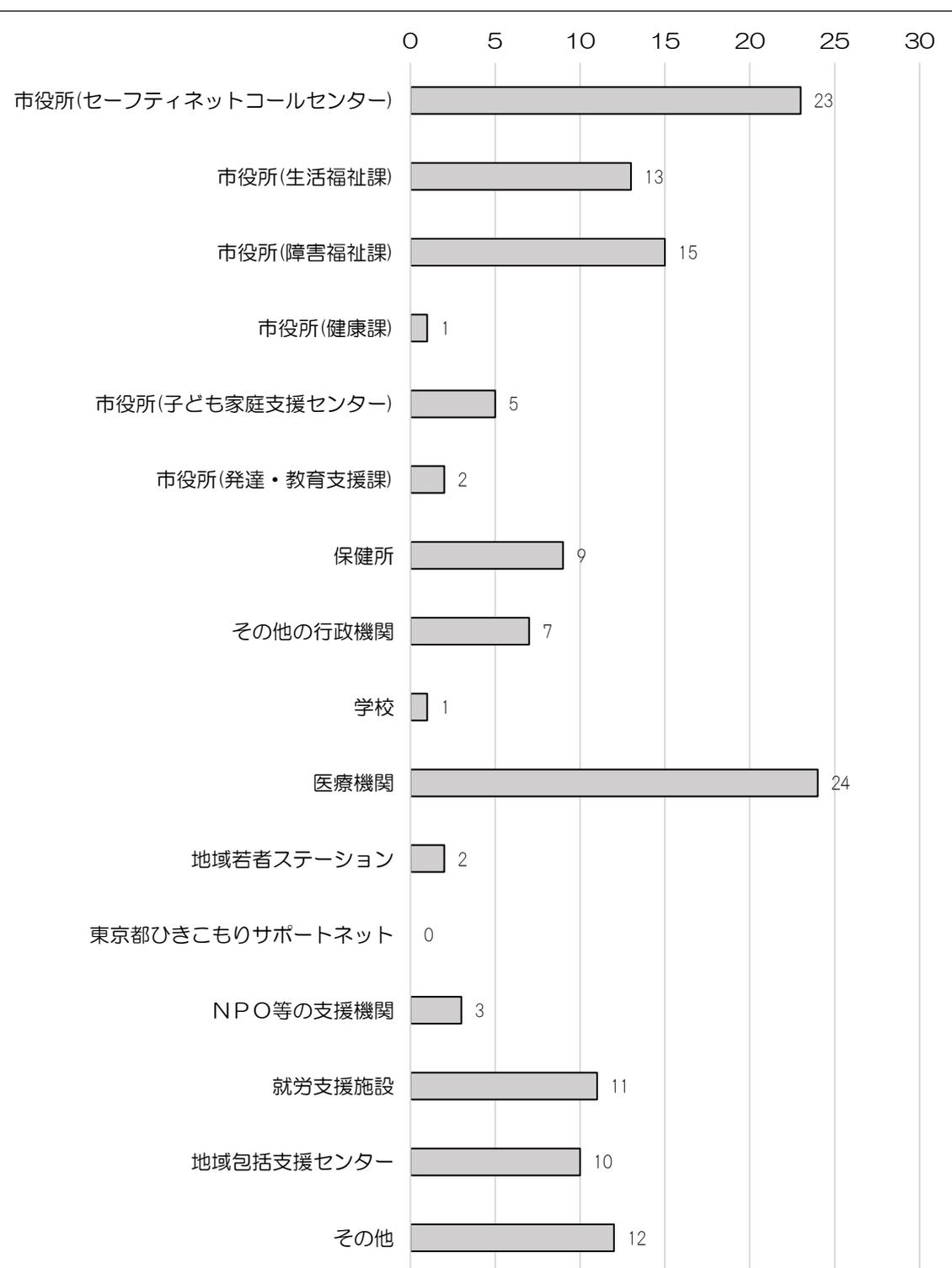
n = 不明

項目		回答数	割合
合計		138	-
1	市役所(セーフティネットコールセンター)	23	-
2	市役所(生活福祉課)	13	-
3	市役所(障害福祉課)	15	-
4	市役所(健康課)	1	-
5	市役所(子ども家庭支援センター)	5	-
6	市役所(発達・教育支援課)	2	-
7	保健所	9	-
8	その他の行政機関	7	-
9	学校	1	-
10	医療機関	24	-
11	地域若者ステーション	2	-
12	東京都ひきこもりサポートネット	0	-
13	NPO等の支援機関	3	-
14	就労支援施設	11	-
15	地域包括支援センター	10	-
16	その他	12	-

※設問の構造上、n値不明のため計算不可

その他：一般企業、訪問看護ステーション、シルバー人材センター

## 5 相談機関調査



## 5 相談機関調査

## (14) 自由意見

問4 「ひきこもり」についてお困りのことやご意見などがございましたらご自由にご記入ください。

- ・発達障害およびその疑いのあるケースの方が相当数いると思われる
- ・原因でもあり、問題点でもある最も大きな理由は家族との関係がうまくいっておらず、経済的・精神的自立の獲得が成されていないケースが多数。



## 1 当事者・家族調査票

12. 80歳以上

③ 回答者の性別（①で1と回答した以外の方）

1. 男性
2. 女性
3. その他（                      ）

④ ひきこもりの状態にある方の年齢

1. 6歳未満
2. 6～12歳
3. 13～15歳
4. 16～19歳
5. 20～29歳
6. 30～39歳
7. 40～49歳
8. 50～59歳
9. 60～64歳
10. 65～69歳
11. 70～79歳
12. 80歳以上

⑤ ひきこもりの状態にある方の性別

1. 男性
2. 女性
3. その他（                      ）

⑥ ひきこもりの状態にある方はご家族と同居されていますか

1. 父
2. 母
3. 兄姉
4. 弟妹
5. 祖父
6. 祖母
7. 子
8. 孫
9. 1人暮らし
10. その他（    ）

## 1 当事者・家族調査票

⑦ ひきこもり状態になられてからどのくらい経っていますか

1. 1年未満
2. 1～5年
3. 6～9年
4. 10～20年
5. 21年以上
6. わからない

⑧ ひきこもり状態になったきっかけは何ですか（複数回答可）

1. 不登校（小学校）
2. 不登校（中学校）
3. 不登校（高等学校）
4. いじめ
5. 学業不振
6. 友人関係
7. 家族関係
8. 高校・大学受験
9. 就職活動の挫折
10. 職場関係
11. 失業・退職
12. 疾病（けが等）
13. 疾病（精神疾患等）
14. 個性
15. 事故や犯罪被害
16. わからない
17. その他（ )

⑨ 現在相談をして（支援を受けて）いますか。（一番近いものに○）

1. している
2. していない
3. したくない
4. してみたい
5. してみたいがどこに相談したらよいかわからない
6. 以前相談していたが今はしていない
7. わからない
8. その他（ )



2 民生・児童委員調査票

2-2 民生・児童委員調査票

<b>【ひきこもり等に関する実態調査・調査票(民生委員・児童委員用)】</b>																																																																																																																													
担当地区名 (                      ) 民生委員・児童委員氏名 (                      )																																																																																																																													
各回答者において「ひきこもりと思われる方」を「ひきこもりの状態にある方」として回答をお願いします。																																																																																																																													
<p><b>問1</b> あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にある方と思われる方はいますか。  <b>該当する項目を○で囲んでください。</b></p> <p>ア.いる →問2へお進みください。                      イ.いない →質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。</p>																																																																																																																													
<p><b>問2</b> あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">人</p> <p>_____</p>																																																																																																																													
<p><b>問3</b> 問2で回答した方それぞれについて、該当する項目に○をしてください。                      わかる範囲内での回答で結構です。</p>																																																																																																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="5" style="text-align: center;">該当者</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">例</th> <th style="text-align: center;">Aさん</th> <th style="text-align: center;">Bさん</th> <th style="text-align: center;">Cさん</th> <th style="text-align: center;">Dさん</th> <th style="text-align: center;">Eさん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="width: 20%;"><b>1.ご家族の方から相談を受けるなど、実際に確認したことがありますか</b></td> <td style="width: 15%;">ある</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ない</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="width: 20%;"><b>2.ひきこもりの状態にあると思われる方の性別</b></td> <td style="width: 15%;">男性</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12" style="width: 20%;"><b>3.ひきこもりの状態にあると思われる方の年代</b></td> <td style="width: 15%;">6歳未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6~12歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13~15歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16~19歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20~29歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30~39歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>40~49歳</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50~59歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60~64歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>65~69歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>70~79歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>80歳以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				該当者					例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	<b>1.ご家族の方から相談を受けるなど、実際に確認したことがありますか</b>	ある						ない	○					<b>2.ひきこもりの状態にあると思われる方の性別</b>	男性	○					女性						わからない						<b>3.ひきこもりの状態にあると思われる方の年代</b>	6歳未満						6~12歳						13~15歳						16~19歳						20~29歳						30~39歳						40~49歳	○					50~59歳						60~64歳						65~69歳						70~79歳						80歳以上						わからない					
				該当者																																																																																																																									
		例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん																																																																																																																						
<b>1.ご家族の方から相談を受けるなど、実際に確認したことがありますか</b>	ある																																																																																																																												
	ない	○																																																																																																																											
<b>2.ひきこもりの状態にあると思われる方の性別</b>	男性	○																																																																																																																											
	女性																																																																																																																												
	わからない																																																																																																																												
<b>3.ひきこもりの状態にあると思われる方の年代</b>	6歳未満																																																																																																																												
	6~12歳																																																																																																																												
	13~15歳																																																																																																																												
	16~19歳																																																																																																																												
	20~29歳																																																																																																																												
	30~39歳																																																																																																																												
	40~49歳	○																																																																																																																											
	50~59歳																																																																																																																												
	60~64歳																																																																																																																												
	65~69歳																																																																																																																												
	70~79歳																																																																																																																												
	80歳以上																																																																																																																												
わからない																																																																																																																													

2 民生・児童委員調査票

		該当者				
		例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
4.ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族 (複数回答可)	祖父					
	祖母					
	父	○				
	母					
	兄弟	○				
	弟妹					
	子					
	孫					
	その他親族					
	1人暮らし					
	わからない					
その他						
5.ひきこもりの状態の期間	1年未満					
	1~5年					
	6~9年					
	10~20年	○				
	21年以上					
	わからない					
6.ひきこもりの状態になったきっかけ(複数回答可)	不登校(小学校)					
	不登校(中学校)					
	不登校(高等学校)					
	いじめ					
	学業不振					
	友人関係					
	家族関係					
	高校・大学受験					
	就職活動の挫折					
	職場関係					
	失業・退職					
	疾病(けが等)					
	疾病(精神疾患等)					
	個性					
	事故や犯罪被害					
	わからない	○				
その他						

2 民生・児童委員調査票

		該当者				
		例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
7.問題点を挙げる としたら (複数回答可)	親族の高齢化					
	経済的困窮					
	就労先がない					
	家庭内暴力等が心配	○				
	徘徊・騒音等不審な行動	○				
	その他					
8.ひきこもりの 状態の度合い	外出はよくしている					
	決まった目的の時だけ外出している					
	見たことはないが、生活音を感じる	○				
	窓も締め切り、いる感じがしない					
	わからない					
	その他					
9.ひきこもりの状 態にある方への 関わりについて (複数回答可)	当事者の情報が少ない	○				
	公言されていないので見守りをつづけている	○				
	当事者やご家族に声をかけている					
	相談窓口を紹介したことがある					
	会うことができない					
	当事者やご家族の相談を受けている					
	あまり関わりたくない					
	その他					
<p><b>問4 行政に対してご意見等ございましたらご自由にご記入ください。</b> (具体的な問題、心配ごと等なんでも構いません)</p> <p>例：どこに相談してよいかわからない、どのように対応すればよいか悩む等、 率直なご意見をお聞かせください。</p>						
<p>質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。</p>						

3 庁内職員調査票

2-3 庁内職員調査票

<p>問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">いる</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">いない</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">⇒問2へお進みください。 ⇒質問は以上です。ご協力ありがとうございました。</p>		いる		いない		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">担当地区名</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">氏名</td> <td></td> </tr> </table>	担当地区名		氏名			
いる												
いない												
担当地区名												
氏名												
<p>問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。</p> <p style="text-align: center; margin-left: 50px;">_____ 人</p>												
<p>問3 問2で回答した方それぞれについて、該当する項目に○をしてください。わかる範囲内での回答で結構です。</p>												
		該当者										
		例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10										
1.ひきこもりの状態にあると思われる方の性別	男性	○										
	女性											
	わからない											
2.ひきこもりの状態にあると思われる方の年代	6歳未満											
	6~12歳											
	13~15歳											
	16~19歳											
	20~29歳											
	30~39歳											
	40~49歳	○										
	50~59歳											
	60~64歳											
	65~69歳											
3.ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族(複数回答可)	祖父											
	祖母											
	父	○										
	母											
	兄弟	○										
	弟妹											
	配偶者											
	子											
	孫											
	その他親族											
4.ひきこもりの状態の期間	1年未満											
	1~5年											
	6~9年											
	10~20年	○										
	21年以上											
	わからない											





4 関係機関調査票

2-4 関係機関調査票

<p>問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。</p> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">いる</td> <td style="padding: 2px;">⇒問2へお進みください。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">いない</td> <td style="padding: 2px;">⇒質問は以上です。ご協力ありがとうございました。</td> </tr> </table>		いる	⇒問2へお進みください。	いない	⇒質問は以上です。ご協力ありがとうございました。	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">所属</td><td style="width: 50px;"></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">担当地区名</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">氏名</td><td></td></tr> </table>	所属		担当地区名		氏名	
いる	⇒問2へお進みください。											
いない	⇒質問は以上です。ご協力ありがとうございました。											
所属												
担当地区名												
氏名												
<p>問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。</p> <p style="text-align: center;">人</p> <p>_____</p>												
<p>問3 問2で回答した方それぞれについて、該当する項目に○をしてください。わかる範囲内での回答で結構です。</p>												
		該当者										
		例	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1.ひきこもりの状態にあると思われる方の性別	男性	○										
	女性											
	その他											
	わからない											
2.ひきこもりの状態にあると思われる方の年代	6歳未満											
	6~12歳											
	13~15歳											
	16~19歳											
	20~29歳											
	30~39歳											
	40~49歳	○										
	50~59歳											
	60~64歳											
	65~69歳											
3.住まいの場所	旭が丘	○										
	新井											
	石田											
	大坂上											
	落川											
	上田											
	川辺堀之内											
	栄町											
	さくら町											
	下田											
	新町											
	神明											
	高幡											
	多摩平											
	豊田											
	西平山											
	東豊田											
	東平山											
	日野											
	日野台											
日野本町												
平山												
富士町												
程久保												
万願寺												
三沢												
南平												
宮												
百草												
わからない												



4 関係機関調査票

9.ひきこもりの状態にある方への関わりについて (複数回答可)	当事者の情報が少ない	<input type="radio"/>										
	公言されていないので見守りをつけている	<input type="radio"/>										
	当事者やご家族に声をかけている											
	相談窓口を紹介したことがある											
	会うことができない											
	当事者やご家族の相談を受けている											
	あまり関わりたくない											
	その他											
10.ひきこもり状態にある人をどこで知ったか	家族の相談	<input type="radio"/>										
	仕事（訪問等）で確認											
	近所からの情報											
	その他											
<p>問4 問3で回答した「その他」の補足や、「ひきこもり」について、お困りのことやご意見などございましたらご自由にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。</p>												

5 相談機関調査票

2-5 相談機関調査票

**令和2年度日野市ひきこもり等実態調査 相談機関調査票**

厚生労働省はひきこもりについて、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに6か月以上続けて自宅に引きこもっている状態」と定義していますが、本調査においては、より多くの回答や多様な意見を得るために、上記の定義にとらわれず、各回答者において「ひきこもりと思われる人」を「ひきこもり状態にある人」として回答を募ります。すべての人が上述した定義に当てはまる必要はありません。各機関で「ひきこもり相談」として相談を受けているものに関してご回答をお願い致します。

相談を受ける際、各機関での「ひきこもり」の定義がありましたらお知らせください

**問1** あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方はいますか。  
当てはまるほうに○をつけてください。

いる		⇒問2へお進みください。
いない		⇒質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

**問2** あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数をご記入ください。  
\_\_\_\_\_人

**問3** 問2で回答した方について、それぞれの項目に何人該当するか、数字をご記入ください。  
わかる範囲内での回答で結構です。

<b>1.相談の入り口は</b>	ご本人	人
	別居家族	人
	同居家族	人
	第三者（近所の方、支援者等）	人
<b>2.ひきこもりの状態にある方の性別</b>	男性	人
	女性	人
	その他	人
	わからない	人

## 5 相談機関調査票

3.ひきこもりの状態にある方の年代	6歳未満	人
	6~12歳（小学生相当）	人
	13~15歳（中学生相当）	人
	16~18歳（高校生相当）	人
	19~22歳（大学生相当）	人
	23~24歳	人
	25~29歳	人
	30~34歳	人
	35~39歳	人
	40~44歳	人
	45~49歳	人
	50~54歳	人
	55~59歳	人
	60~64歳	人
	65~69歳	人
	70~74歳	人
	75~79歳	人
	80歳以上	人
わからない	人	
4.住まいの場所	旭が丘	人
	新井	人
	石田	人
	大坂上	人
	落川	人
	上田	人
	川辺堀之内	人
	栄町	人
	さくら町	人
	下田	人
	新町	人
	神明	人
	高幡	人
	多摩平	人
	豊田	人
	西平山	人
	東豊田	人
	東平山	人
	日野	人
	日野台	人
	日野本町	人
	平山	人
	富士町	人
	程久保	人
	万願寺	人
	三沢	人
	南平	人
宮	人	
百草	人	
わからない	人	

## 5 相談機関調査票

5.ひきこもりの状態にある方の同居家族 (複数回答可)	祖父	人
	祖母	人
	父	人
	母	人
	兄弟	人
	弟妹	人
	配偶者	人
	子	人
	孫	人
	その他親族	人
	1人暮らし	人
	わからない	人
	その他	人
	6.ひきこもりの状態の期間	6ヵ月未満
1年未満		人
1~5年		人
6~9年		人
10~20年		人
21~30年		人
31~40年		人
41年以上		人
わからない		人
7.ひきこもりの状態になったきっかけ (複数回答可)		不登校(小学校)
	不登校(中学校)	人
	不登校(高校)	人
	いじめ	人
	学業不振	人
	友人関係	人
	家族関係	人
	高校・大学受験	人
	就職活動の挫折	人
	職場関係	人
	失業・退職	人
	疾病(けが等)	人
	疾病(精神)	人
	個性	人
	事故や犯罪被害	人
	わからない	人
	その他※	人

## 5 相談機関調査票

8.問題点を挙げるとしたら (複数回答可)	親族の高齢化	人
	経済的困窮	人
	就労先がない	人
	家庭内暴力等が心配	人
	徘徊・騒音等不審な行動	人
	その他	人
9.ひきこもりの状態の度合い	外出はよくしている	人
	決まった目的の時だけ外出している	人
	見たことはないが、生活音は感じる	人
	窓も締め切り、いる感じがしない	人
	わからない	人
	その他	人
10.どのようなアプローチを試みたか (複数回答可)	電話	人
	置き手紙	人
	訪問	人
	メール	人
	その他※	人
11.紹介した機関 (複数回答可)	市役所（セーフティネットコールセンター）	人
	市役所（生活福祉課）	人
	市役所（障害福祉課）	人
	市役所（健康課）	人
	市役所（子ども家庭支援センター）	人
	市役所（発達・教育支援課）	人
	保健所	人
	その他の行政機関	人
	学校	人
	医療機関	人
	地域若者ステーション	人
	東京都ひきこもりサポートネット	人
	NPO等の支援機関	人
	就労支援施設	人
	地域包括支援センター	人
その他※	人	

